

連番	主管課	担当係	事務事業名	
1	総務課	生活安全係	消防施設整備事業	
2	政策推進課	財政経営係	「ふるさと納税制度」促進事業	
3		情報政策係	お知らせたかなべ発行業務	
4			広報番組放送事業	
5			たかなべ未来づくり事業	
6		総合政策係	企業立地奨励事務	
7			スポーツ合宿補助事業	
8	福祉課	わかば保育園	臨床心理士定期観察事業	
9		子ども支援係	保育の質向上委員会事業	
10			第9地区児童用プール管理業務事業	
11			放課後児童クラブ委託事業	
12			一時預かり保育事業	
13			子育て短期支援事業	
14			要保護児童対策協議会事業	
15			子育て応援フェスティバル事業	
16			乳幼児医療費助成事業	
17			幼稚園就園奨励費事業	
18			地域福祉係	社会福祉協議会運営補助事業
19		民生委員児童委員協議会運営支援事業		
20		各種団体補助事業(保護司会)		
21		高鍋町総合福祉センター管理運営事業		
22		シルバー人材センター運営補助事業		
23		健康保険課		介護・高齢者福祉係
24				高齢者等多世代交流拠点施設運営事業
25			健康推進係	健康づくりセンター保健施設管理運営事業
26				プール運営事業
27		産業振興課	産業企画係	美しい農地景観形成活動補助金
28				農村イベント開催費補助金
29				食育・地産地消推進事業
30	農業後継者育成対策事業			
31	商工観光係			商店街にぎわい創生事業
32			まちなかチャレンジショップ事業	
33			小規模事業者特別融資制度保証料補助事業	
34			高鍋町商店街まちなみ景観形成事業	
35			高鍋町PR事業	
36			高鍋町観光協会補助事業	
37			高鍋駅東側擁壁植栽木消毒管理事業	
38			大時計台保守点検事業	
39			農村整備係	防災ダム事業
40				農産物加工施設管理運営事業
41	総合交流ターミナル施設管理運営事業			
42	農村公園・広場管理運営事業			
43	農林畜産係			農業振興対策事業
44			高鍋町優良雌牛導入事業	
45			有害鳥獣捕獲班活動支援事業	
46			松くい虫薬剤防除委託事業	
47			松くい虫薬剤樹幹注入委託事業	
48			蚊口墓地枯れ松伐倒駆除事業	
49			小丸川魚種放流委託事業	
50	稚貝放流委託事業			
51	農業委員会		農地農政係	高鍋町農業後継者結婚相談事業
52	建設管理課		管理係	高鍋駅前自動車等駐車場管理事業
53				道路維持管理事業(沿道整備)
54			建築・都市計画係	景観づくり事業
55	上下水道課		下水道係	都市下水路事業
56	社会教育課		社会体育係	宮崎県市町村対抗駅伝競走大会出場補助事業
57		図書館	古文書データ化事業	
58		文化係		秋月墓地及び墓地周辺維持管理事業
59				芸能文化活動支援事業
60				高鍋湿原管理運営事業

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	541	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	消防施設整備事業				
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	鈴木敏寛	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	消防防災活動に対応する消防施設、消防団拠点施設、消防車両及び消防防災用備品の整備・点検及び維持管理を行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	—	中分類	—	施策方向
	2-3 災害に強く、生活の安全が守られているまち	—	(4) 消防体制の充実	—	消防施設の充実
		—		—	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●消防車両や機材の計画的な整備を図ります。 ●消火栓や防火水槽等の消防水利の整備、点検、修繕に努めます。
----------------	------	---

主要な成果	<p>防衛庁の補助事業により消防ポンプ自動車1台、県の補助事業により小型動力ポンプ2台を購入。また、その他の消防備品の整備・修繕を行い、維持管理に努めることで、災害活動時における効率化、安全性の確保を図ることができた。</p>
-------	---

決算額	款	消防費		項	消防費		目	消防施設費		細目	消防施設費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬	— 円	— 円		0 円	原材料費	— 円		0 円	公有財産購入費	— 円	
賃金	— 円	— 円		0 円	備品購入費	— 円		23,376,060 円	負担金補助・交付金	— 円		686,400 円
給料	— 円	— 円		0 円	扶助費	— 円		0 円	貸付金	— 円		0 円
職員手当等	— 円	— 円		0 円	補償補填・賠償金	— 円		0 円	償還金・利息・割引料	— 円		0 円
共済費	— 円	— 円		0 円	投資及び出資金	— 円		0 円	寄附金	— 円		0 円
報償費	— 円	— 円		0 円	積立金	— 円		0 円	公課費	— 円		380,400 円
旅費	— 円	— 円		33,000 円	繰出金	— 円		14,289,600 円	繰入金	— 円		0 円
公債費	— 円	— 円		0 円	合計	0 円		41,323,026 円				
需用費	— 円	— 円		2,058,897 円								
役務費	— 円	— 円		492,669 円								
委託料	— 円	— 円		0 円								
使用料・賃借料	— 円	— 円		6,000 円								
工事請負費	— 円	— 円		0 円								

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
ポンプ・車両更新基準遂行率	%	消防車両点検整備数	件
整備不良による災害時対応不具合件数	件	施設、機械機器修理数	件
		ポンプ・車両更新数	台

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	ポンプ・車両更新基準遂行率	%	目標値	100	100	100	
			実績値	88	83	83	
			目標達成率	87.5%	83.3%	83.3%	
整備不良による災害時対応不具合件数	件	目標値				0	※H26年度より新規設定
		実績値				0	
		目標達成率				#DIV/0!	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	消防車両点検整備数	件	計画値	10	5	10	
			実績値	10	5	10	
施設、機械機器修理数	件	計画値	5	5	34		
		実績値	8	43	22		
ポンプ・車両更新数	台	計画値			3		
		実績値			3		

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
年を追う毎に施設、設備の耐用年数が経過していくため、今後も持続的な整備、維持管理が必要と考える。様々な補助事業を活用し、計画的な設備購入等がコスト面での効率性の向上にも繋がると思われる。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・防災面での対応が求められており、消防力の基準にあわせた最低限の整備は年次的に進めていく必要がある。
 ・購入・整備対象によって金額の多寡はあるが、現状を維持し、年次的な整備を進めるべき。
 ・いくらでもコストを掛ければ施設整備はできるが、限りある財源の中で優先順位、年次計画を立てて進めることが必要。
 ・計画的な整備を。
 ・定期的な設備更新は必要

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	189	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	「ふるさと納税制度」促進事業				
担当課(局)・係	政策推進課	財政経営係	記入者	上妻 信一	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	町広報、HP等を通して全国にふるさと情報を発信し、「ふるさと納税」による寄付金を募る。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	5-2 効率的で信頼される行財政運営	(1) 効率的で信頼される行財政運営	持続可能な財政基盤の構築
	-	-	-

●行財政改革に継続して取り組み、人件費の抑制、財産の有効活用などによる経費節減・合理化に努めます。
 ●施設の維持管理費などの増大が見込まれる中、中長期的な視点から予算配分を行うため、中期財政計画を継続して策定するとともに、予算や総合計画実施計画と連動した計画となるよう検討を行います。
 ●受益者負担の原則に基づく、使用料・手数料・分担金などの適正化を進めます。
 ●事業の推進にあたっては、国・県の支援制度等の効果的な活用を図るとともに、一般財源の確保に努めます。
 ●現在実施しているホームページや広報紙、大時計台への有料広告のほか、新たな財源の確保に向けた施策の検討を行います。
 ●自主財源の根幹をなす町税や保険料・使用料等、町の債権の収納率向上を図るとともに、町の債権の適正な管理に資するため高鍋町債権管理条例に基づき事務処理を行います。
 ●納期内納付を推進するとともに、完納している納税（納付）者との公平性を確保する観点から、財産差押等の滞納処分を強力に推し進めます。

第五次高鍋町総合計画（後期）
基本方針
 平成26年度は、18人から延べ19件、327万円のふるさと納税をいただいた。
 （平成25年度比：6人、6件増。154万5千円増）
 平成25年度末受入分（3月補正後受入分）と合わせ、352万円の基金積立ができた。
 平成26年度末現在基金残高（ふるさとづくり基金（ふるさと納税分））：7,508,000円

款	総務費		項	総務管理費		目	財政管理費／財産		細目	財政管理費／基金管	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
決算額	報酬	-	円	0	円	原材料費	-	円	0	円	
	賃金	-	円	0	円	公有財産購入費	-	円	0	円	
	給料	-	円	0	円	備品購入費	-	円	0	円	
	職員手当等	-	円	0	円	負担金補助・交付金	-	円	0	円	
	共済費	-	円	0	円	扶助費	-	円	0	円	
	報償費	-	円	46,671	円	貸付金	-	円	0	円	
	旅費	-	円	0	円	補償補填・賠償金	-	円	0	円	
	公債費	-	円	0	円	償還金・利息・割引料	-	円	0	円	
	需用費	-	円	1,086	円	投資及び出資金	-	円	0	円	
	役務費	-	円	1,340	円	寄附金	-	円	0	円	
	委託料	-	円	0	円	積立金	-	円	3,520,000	円	
	使用料・賃借料	-	円	0	円	公課費	-	円	0	円	
	工事請負費	-	円	0	円	繰出金	-	円	0	円	
						合計	0	円	3,569,097	円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
ふるさと納税件数	件	「ふるさと高鍋だより」発行回数	回
ふるさと納税金額	円	ふるさと納税促進パンフレット配布数	部

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	ふるさと納税件数	件	目標値	11	13	14	
			実績値	10	13	19	
			目標達成率	90.9%	100.0%	135.7%	
ふるさと納税金額	円	目標値	1,300,000	1,500,000	2,000,000		
		実績値	1,346,000	1,725,000	3,270,000		
		目標達成率	103.5%	115.0%	163.5%		
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	「ふるさと高鍋だより」発行回数	回	計画値	4	4	4	
			実績値	4	4	4	
	ふるさと納税促進パンフレット配布数	部	計画値	100	200	1,000	
			実績値	100	183	672	
			計画値				
		実績値					

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
ふるさと納税制度は、ふるさとを応援したいという思いを寄付というかたちにしたもので、貴重な財源として大変ありがたい。今後は、高鍋町のPRや特産品のPRを行い、さらに多くの方に寄付していただけるよう研究していく必要がある。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	拡充	拡充	

・全国の傾向、町の方向性からも拡充すべき。
 ・地場産業振興会と町屋本店の詰め合わせを返礼品にする予定だが、ネームバリューやインパクトなど宣伝力が求められる。
 ・この制度を活かし、町のPRや特産品のPRを行う必要がある
 ・お返し品の、選定を急ぐこと

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	136	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	お知らせたかなべ発行業務					
担当課(局)・係	政策推進課	情報政策係	記入者	鶴田 詠子		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	広報紙を月2回発行し、行政事務連絡員を通じての全戸配布、関係自治体や報道機関への郵送、町内各公共施設での備え置きを行うことで、町内の行事・各種届出・申請の案内等を広く町民に周知する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	5-1 町民との協働の推進	-	(1) 町民参画によるまちづくりの推進	-	広報・広聴活動の充実
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な広報媒体を活用し、ニーズに応じた情報を的確に分かりやすく提供します。 ●さらなる情報発信に向けた広報紙の作成方法等の抜本的な見直しを行います。 ●インターネットの活用等による新たな広報広聴手段を検討します。 ●パブリックコメント制度の積極的な活用をはじめとする広聴機能の充実を図ります。
----------------	------	--

主要な成果	お知らせたかなべを第1、第3金曜日の月2回、年24回発行し、行政事務連絡員を通じて約8800世帯に全戸配布、関係自治体や報道機関への郵送、町内各公共施設での備え置きを行った。 町民にとって重要かつ有益な情報を伝達するための広報手段として大きな役割を果たした。
-------	--

決算額	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	細目	文書広報費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-		0	原材料費		-
賃金		-		0	公有財産購入費		-	0
給料		-		0	備品購入費		-	0
職員手当等		-		0	負担金補助・交付金		-	0
共済費		-		0	扶助費		-	0
報償費		-		0	貸付金		-	0
旅費		-		0	補償補填・賠償金		-	0
公債費		-		0	償還金・利息・割引料		-	0
需用費		-		658,140	投資及び出資金		-	0
役務費		-		0	寄附金		-	0
委託料		-		0	積立金		-	0
使用料・賃借料		-		0	公課費		-	0
工事請負費		-		0	繰出金		-	0
					合計		0	658,140

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
配布率	%	発行回数	回
掲載率	%	掲載依頼数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	配布率	%	目標値	100	100	
実績値			100	100	100	
目標達成率			100.0%	100.0%	100.0%	
掲載率	%	目標値	100	100	100	
		実績値	99	99	99	
		目標達成率	99.0%	99.0%	99.0%	
			目標値			
			実績値			
			目標達成率			
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	発行回数	回	計画値	24	24	
実績値			24	24	24	
掲載依頼数	件	計画値	840	840	840	
		実績値	835	835	835	
			計画値			
			実績値			

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は可能	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合性は低いが高重要性が高い	
	すでに目標を達成していないか						

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
町政情報等の発信手段として必要不可欠で、町民にとって最も身近な情報収集手段である。現在、ホームページ上で見ることができるが、パソコン等で見ることができない方々にとっては、紙媒体の「お知らせたかなべ」はなくてはならない存在である。情報の正確さももちろんのこと、簡単明瞭な情報発信が引き続き求められる。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・お知らせたかなべの今後の方向性がきちんと検証されるまでは、現状維持で。
 ・「町広報」と「お知らせたかなべ」を合体させて一回当たりの頁数を増やすことを検討しても良い時期かもしれないが、、イベント・行事お知らせなど事前に掲載しなければならない内容を如何に周知できるか、その方法を併せて検討して欲しい。
 ・発行方法等検討を要す。
 ・発行の在り方を検討する

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	138	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	広報番組放送事業					
担当課(局)・係	政策推進課	情報政策係	記入者	守部 有美子		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	高鍋町の魅力をテレビやラジオを通じて県内を中心に発信し、町外から観光客を呼び込む。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	5-1 町民との協働の推進	-	(1) 町民参画によるまちづくりの推進	-	広報・広聴活動の充実
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な広報媒体を活用し、ニーズに応じた情報を的確に分かりやすく提供します。 ●さらなる情報発信に向けた広報紙の作成方法等の抜本的な見直しを行います。 ●インターネットの活用等による新たな広報広聴手段を検討します。 ●パブリックコメント制度の積極的な活用をはじめとする広聴機能の充実を図ります。
----------------	------	--

主要な成果	<p>町外の方を高鍋町に呼び込むことを目的にMRT宮崎放送とFM宮崎から、テレビとラジオを活用して高鍋町の最新の情報を発信した。</p> <p>それぞれの番組を通じて町民の方を紹介することにより、「出演して良かった」「出演後にたくさんの人たちから連絡が来て、応援してもらえた」など番組に出演することにより、自分たちの活動を再認識し、自信や誇りにつなげることができた。</p> <p>また、MRT宮崎放送のホームページ内では平成25年度に放送した「いいね高鍋！大使くんが行く」の再放送を閲覧することができるため、その時の放送を見たいと言われる方や再度見たいと言われる方にも好評を得ることができた。</p> <p>MRTテレビ放送回数 5月～H27.3月まで11回 FMラジオ放送回数 27回</p>
-------	--

決算額	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	細目	文書広報費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-	円	0	原材料費	-	円
	賃金	-	円	0	公有財産購入費	-	円	0
	給料	-	円	0	備品購入費	-	円	0
	職員手当等	-	円	0	負担金補助・交付金	-	円	0
	共済費	-	円	0	扶助費	-	円	0
	報償費	-	円	0	貸付金	-	円	0
	旅費	-	円	0	補償補填・賠償金	-	円	0
	公債費	-	円	0	償還金・利息・割引料	-	円	0
	需用費	-	円	0	投資及び出資金	-	円	0
	役務費	-	円	0	寄附金	-	円	0
	委託料	-	円	1,999,999	積立金	-	円	0
	使用料・賃借料	-	円	0	公課費	-	円	0
	工事請負費	-	円	0	繰出金	-	円	0
					合計	0	円	1,999,999

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
観光客	人	広報掲載	回
視聴率	%		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	観光客	人	目標値				
実績値						100	
目標達成率						100.0%	
視聴率	%	目標値				6	
		実績値				3	
		目標達成率				50.0%	
		目標値				6	
		実績値				5	
		目標達成率				83.3%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	広報掲載	回	計画値				
実績値							
			計画値				
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
県内の視聴者にこの町の魅力を発信することは、町外から人を呼び込むだけでなく、町民にとっても町の新たな魅力の再発見につながり、影響が大きいと思われる。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	拡充	拡充	

・ 今後は、テレビ、ラジオ等を通じて、より積極的に町のPRを行うべき。
 ・ 婚活イベントや地元紹介などテレビを通じた宣伝効果は非常に高いので、そのようなテレビ番組の招致の向けた方策も探してみる価値があると考え。
 ・ 町の活性化を図るため、今後も積極的に広報をする必要がある。
 ・ 高鍋を、発信するために必要と考える

評価表

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	162	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	たかなべ未来づくり事業					
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	住民参画によるまちづくりを進めるため、町民自らが企画提案した公共性の高い事業に対して補助金を交付し、提案した町民による事業の実施を支援する。なお、対象事業の審査についても、町民からの公募委員で構成する「たかなべ未来づくり事業検討委員会」において選考を行う。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	5-1 町民との協働の推進	-	(1) 町民参画によるまちづくりの推進	-	協働のまちづくりの推進
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●町民の自発的な活動を支援し、「人間力」「地域力」を生かした協働のまちづくりを推進します。 ●住民活動団体の活動支援や各団体間の連携を促進するための協働推進体制を構築します。 ●協働によるまちづくりの推進を担う人材の育成に努めます。 ●「協働のまちづくり指針」に基づき協働事業を推進します。 ●町民の積極的な参加を促すため、審議会等委員公募制度の充実を図ります。
	主要な成果	町民の参画によるまちづくりの推進と協働意識の醸成が図られた。

決算額	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	細目	企画費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬	— 円		13,750 円	原材料費	— 円		0 円
	賃金	— 円		0 円	公有財産購入費	— 円		0 円
	給料	— 円		0 円	備品購入費	— 円		0 円
	職員手当等	— 円		0 円	負担金補助・交付金	— 円		1,287,000 円
	共済費	— 円		0 円	扶助費	— 円		0 円
	報償費	— 円		0 円	貸付金	— 円		0 円
	旅費	— 円		0 円	補償補填・賠償金	— 円		0 円
	公債費	— 円		0 円	償還金・利息・割引料	— 円		0 円
	需用費	— 円		0 円	投資及び出資金	— 円		0 円
	役務費	— 円		0 円	寄附金	— 円		0 円
	委託料	— 円		0 円	積立金	— 円		0 円
	使用料・賃借料	— 円		0 円	公課費	— 円		0 円
	工事請負費	— 円		0 円	繰出金	— 円		0 円
					合計	0 円		1,300,750 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
採択事業数	事業	検討委員会開催数	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	採択事業数	事業	目標値	4	4	4	
			実績値	4	3	3	
			目標達成率	100.0%	75.0%	75.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	検討委員会開催数	回	計画値	2	2	2	
			実績値	2	2	2	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
<p>「第五高鍋町総合計画」の基本目標の1つに掲げる「町民が主役のまちづくり」をすすめていくためには、ボランティアやNPO等は重要な役割を担っており、それらの支援を行うことで「高鍋町協働のまちづくり指針」で示す町民参画の促進されることとなる。</p> <p>「たかなべ未来づくり事業」は、協働事業の1つの形態として、町民がまちづくりに関心を持ち、自ら目的を思考し、主体となって行動するきっかけづくりとなるものである。</p>		事業	コスト
		拡充	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・現状を維持する中で周知を図りながら様々な可能性を実現できるような事業展開が図れればよいと思われる。
 ・事業継続は3か年を期限としているので、新たな団体の申請が待たれる。..
 ・高校生の参加はできないか。
 ・提案事業の内容を精査をする必要がある。
 ・内容のマンネリ化があるのでは

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

162

事務事業名		たかなべ未来づくり事業					
補助事業 1	補助事業名	たかなべ未来づくり事業補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	町内の公益活動団体・NPO法人・町民グループ			補助金要綱	たかなべ未来づくり事業補助金交付要綱	
	補助の性質	臨時的補助	今年度補助額	2,000	千円	終期	28
	前年度 決算	交付団体への補助額	1,287	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	1,655	千円	◎未来づくり事業補助金の見直しを検討(H25) ◎たかなべ未来づくり事業補助金については廃止(H25) ◎事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。(H25) H26 9号補正で696千円減		
		交付団体の決算総額に占める割合	77.8	%			
		交付団体の繰越額決算	0	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる					
	町民の理解を得られるか	得られる					
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	163	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	企業立地奨励事務				
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	高鍋町企業立地奨励条例に基づき、工場等を新設又は増設する者に対して奨励措置を講ずることにより、企業立地の促進及び雇用機会の拡大を図る。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-2	活気があふれ、いきいきと働けるまち	(1)	就業機会の確保	企業立地の促進
	4-2	活気があふれ、いきいきと働けるまち	(1)	就業機会の確保	既存企業の育成
	4-2	活気があふれ、いきいきと働けるまち	(1)	就業機会の確保	起業・創業への支援

●企業誘致活動を積極的に推進します。
 ●企業の立地に適した候補地の確保に努めます。
 ●用地の確保や各種規制の手続きなどがスムーズに進むよう関係各課が連携して取り組める体制の整備を図ります。
 ●既存企業との情報交換による企業ニーズの把握と地場産業の活性化に努めます。
 ●新分野進出や事業拡大を支援します。
 ●起業・創業のための各種支援措置や経営相談等について、県や商工関係団体等と連携し、効果的な情報提供に努めます。
 ●窓口機能の充実を図ります。
 ●農商工・観光連携による新産業の振興を支援します。

企業立地奨励条例に定める優遇措置の適用企業の指定について、申請者からの工場・設備等の新・増設に関する事業計画を基に審議を行った。
 ○審議会開催:1回 ○申請/指定企業:3/3社

決算額	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	細目	活性化推進事業費
		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬	-	19,250 円		原材料費	-	0 円
		賃金	-	0 円		公有財産購入費	-	0 円
		給料	-	0 円		備品購入費	-	0 円
		職員手当等	-	0 円		負担金補助・交付金	-	0 円
		共済費	-	0 円		扶助費	-	0 円
		報償費	-	0 円		貸付金	-	0 円
		旅費	-	0 円		補償補填・賠償金	-	0 円
		公債費	-	0 円		償還金・利息・割引料	-	0 円
		需用費	-	0 円		投資及び出資金	-	0 円
		役務費	-	0 円		寄附金	-	0 円
		委託料	-	0 円		積立金	-	0 円
		使用料・賃借料	-	0 円		公課費	-	0 円
		工事請負費	-	0 円		繰出金	-	0 円
					合計	0 円	19,250 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
奨励措置指定件数	件	奨励審議会開催数	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	奨励措置指定件数	件	目標値	2	2	2	
			実績値	0	2	3	
			目標達成率	0.0%	100.0%	150.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	奨励審議会開催数	回	計画値	1	1	1	
			実績値	0	1	1	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		すでに協働を行っている	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						
主管課(局)による評価							
この事務事業に対する考え						今後の方針	
条例に基づく奨励措置の適用にあたっては、事業計画の確実性や将来性などについて、町の判断だけではなく審議会において有識者等による検討を経て、総合的に判断する必要がある。また、企業には奨励措置を行うことにより積極的な設備投資や雇用拡充が期待できる。 なお、企業誘致を働きかけする立地場所等の町の現状から、現条例の奨励内容を見直す必要がある。						事業	コスト
						拡充	拡充
内部評価	判定結果		コメント	・企業誘致は今や自治体施策のトレンドである。地方創生の観点からも推進すべき。 ・とにかく、企業誘致に向けて制定した条例内容となっているので、誘致企業の業種に合わせた改正が必要と思われる。 ・現状の立地条件に合った奨励にし促進する必要がある。			
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
	拡充	拡充					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	168	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	スポーツ合宿補助事業				
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	学生団体が町内で宿泊を伴うスポーツ合宿を実施する場合に、その宿泊経費に対して助成を行うことにより町内宿泊施設への複数泊滞在を促し、滞在期間中の町内での経済効果の波及を図る。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	1-2 生きがいを持って学び、やる気を活かせるまち	(2) スポーツ・レクリエーション活動の振興	スポーツ交流の推進

●野球の春季キャンプ誘致を継続して実施するとともに、その他の競技のキャンプ・合宿についても県や関係団体と連携しながら誘致を進めていきます。
 ●全国・九州・県レベルのスポーツ大会の誘致に努めていきます。
 ●広域連携によるキャンプ・合宿誘致を検討していきます。
 ●東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、合宿の受入等について県と連携しながら進めていきます。

スポーツ合宿団体(6団体)に対して合宿補助金を支給した。
 ・鹿児島県立加世田高校硬式野球部 (31人) 8/10~12 (延べ62泊)
 ・宮崎大宮高校バスケットボール部 (36人) 8/7~9 (延べ95泊)
 ・名古屋商科大学硬式野球部 (73人) 2/7~13 (延べ360泊)
 ・桐蔭横浜大学硬式野球部 (74人) 3/3~13 (延べ740泊)
 ・同朋大学硬式野球部 (54人) 3/13~18 (延べ274泊)
 ・札幌第一高校硬式野球部 (50人) 3/28~31 (延べ200泊)

決算額	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	細目	活性化推進事業費
		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬	-	0		原材料費	-	0
		賃金	-	0		公有財産購入費	-	0
		給料	-	0		備品購入費	-	0
		職員手当等	-	0		負担金補助・交付金	-	1,231,000
		共済費	-	0		扶助費	-	0
		報償費	-	0		貸付金	-	0
		旅費	-	0		補償補填・賠償金	-	0
		公債費	-	0		償還金・利息・割引料	-	0
		需用費	-	0		投資及び出資金	-	0
		役務費	-	0		寄附金	-	0
		委託料	-	0		積立金	-	0
		使用料・賃借料	-	0		公課費	-	0
		工事請負費	-	0		繰出金	-	0
					合計	0	1,231,000	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
合宿受入団体数	団体	合宿相談件数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	合宿受入団体数	団体	目標値	5	5	5		
			実績値	2	5	5		
			目標達成率	40.0%	100.0%	100.0%		
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	合宿相談件数	件	計画値	10	10	10		
			実績値	5	8	6		
				計画値				
				実績値				
				計画値				
			実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は困難	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						
主管課(局)による評価							
この事務事業に対する考え						今後の方針	
事業効果に関しては、外部との交流による町民の活気増大など数値化による検証が難しい部分もあるが、様々な分野に波及しているものとする。事業拡充がそのままコストの拡充につながるが、結果的に滞在期間中の町内での消費行動にもつながっており一定の効果が生まれているものとする。						事業	コスト
						拡充	拡充
内部評価	判定結果		コメント	・ただし、受入体制がきちんと整うことが条件 ・拡充できるうちはよいが、春のキャンプは受け入れ一杯と思われるので、総合体育館を利用した室内競技の誘致が求められる。 ・屋内スポーツの積極的な合宿誘致が必要である。			
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
	拡充	拡充					

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

168

事務事業名		スポーツ合宿補助事業							
補助事業 1	補助事業名	スポーツ合宿補助金			補助区分	町単独による補助事業			
	補助対象	町外からのスポーツ合宿団体			補助金要綱	高鍋町スポーツ合宿補助金交付要綱			
	補助の性質	臨時的補助	今年度補助額	300	千円	終期	28		
	前年度決算	交付団体への補助額	1,231	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額	27,461	千円	事業拡充:コスト拡充(H25) ・練習場も確保できたので、有効誘致を図っていただきたい。(H23) ・グラウンドを利用した誘致には限りがあるので、総合体育館も利用したキャンプ誘致を進めていただきたい。(H23) ・スポーツキャンプによる町内の経済に与える波及効果は大きいため、今後も宿泊キャンプの誘致を積極的に展開してもらいたい。(H23) ・キャンプの受入窓口を観光協会に委ねていく方向も必要と考える。(H23) ◎積極的な誘致活動が、望まれる。(H25) ◎JFE硬式野球部に替わる社会人チームの誘致を進めてもらいたい。室内競技はキャンプのメリットが少ないらしいが、総合体育館のバスケットゴールも購入した効果を期待したい。(H25)				
		交付団体の決算総額に占める割合	4.5	%					
		交付団体の繰越額決算	0	千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる							
	町民の理解を得られるか	得られる							
補助事業 2	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか								
	町民の理解を得られるか								
補助事業 3	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか								
	町民の理解を得られるか								
補助事業 4	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか								
	町民の理解を得られるか								

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	41	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名		臨床心理士定期観察事業										
担当課(局)・係		福祉課	わかば保育園	記入者	上杉真理							
事業期間		H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり						
事業の内容		発達に問題を抱える児童への適正な支援を行うため、1回/月、臨床心理士が児童の姿を観察。 観察において、支援が必要な児童を適切に把握し、保育園での支援(保育)の在り方についての助言、 また、家庭においても適切に支援がなされるよう保護者に対しての助言を求める。										
補助事業の有無		補助事業無し										
第五次高鍋町総合計画(後期)	基本目標	大分類	中分類	施策方向								
		3-1 人にやさしいまち	(1) 子育て支援の充実	子育て支援サービスの充実								
		-	-	-								
		-	-	-								
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者が心のゆとりを持って子育てができ、育児と仕事等の社会的活動が両立できる環境づくりのため、放課後児童クラブの拡充に努めます。 ●就労形態の多様化に対応する保育環境を維持するため、特別保育を実施します。 ●障がい児の通所支援事業所を町内に確保するよう努めます。 ●問題を抱える児童の早期療育に繋がる保育サービスの検討を行います。 											
主要な成果	臨床心理士という専門家から、子どもの発達の状態や子どもの育ちに対しての支援の要否について説明してもらうことで、保護者の理解が得やすく、専門機関の受診、早い段階での療育に繋がるケースがあった。											
決算額	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費	細目	保育費				
	予算区分		平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分		平成25年度決算		平成26年度決算	
	報酬		- 円		0 円		原材料費		- 円		0 円	
	賃金		- 円		0 円		公有財産購入費		- 円		0 円	
	給料		- 円		0 円		備品購入費		- 円		0 円	
	職員手当等		- 円		0 円		負担金補助・交付金		- 円		0 円	
	共済費		- 円		0 円		扶助費		- 円		0 円	
	報償費		- 円		120,000 円		貸付金		- 円		0 円	
	旅費		- 円		22,320 円		補償補填・賠償金		- 円		0 円	
	公債費		- 円		0 円		償還金・利息・割引料		- 円		0 円	
	需用費		- 円		0 円		投資及び出資金		- 円		0 円	
	役務費		- 円		0 円		寄附金		- 円		0 円	
	委託料		- 円		0 円		積立金		- 円		0 円	
	使用料・賃借料		- 円		0 円		公課費		- 円		0 円	
	工事請負費		- 円		0 円		繰出金		- 円		0 円	
						合計		0 円		142,320 円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
保護者の理解	%	発達検査	回／延
問題の解決	%	定期観察	回／延
		保護者への指導助言	回／延

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	保護者の理解	%	目標値		38	50	臨床心理士の助言・指導を受けた保護者のうち子どもの状況について理解を得られた割合(17人中15人)
			実績値		38	88	
			目標達成率		100.0%	176.0%	
問題の解決	%	目標値		38	50	臨床心理士の助言・指導を受けた保護者のうち子どもの状況について理解をし、受診等を行った割合(15人中8人)	
		実績値		42	53		
		目標達成率		111.2%	106.0%		
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	発達検査	回／延	計画値		1	1	
			実績値		1	17	
	定期観察	回／延	計画値		6	12	
			実績値		6	12	
	保護者への指導助言	回／延	計画値		1	10	
実績値				2	17		

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
発達等に問題を抱える子どもが増加している状況の中、臨床心理士による観察、その観察に基づき保護者等へ子育てに対する助言等を行うことで、子どもの発達に対し早期に適切な対応をとることができる。この事業の実施により、発達障害等の早期診断・療育に繋がるケースもあり、障害の発見が遅れることによる2次障害(解離性障害等)の抑制につながるものとする。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント ・公立保育園だけでなく私立保育園でも同様の事業が展開されるべき。 ・公立保育園のみの実施だが、私立保育園・幼稚園の対応はしなくても良いか。 ・継続して効果をみる必要がある。コストに対して効果があれば私立保育園等にも拡充を。 ・拡充の必要性は認められるが専門的な人材確保についての課題解決が必要
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	2	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	---	--------	----	------------	---

事務事業名	保育の質向上委員会事業									
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗						
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし					
事業の内容	高鍋町内の全ての保育園、幼稚園の園長を委員とした委員会を開催し、職員の質の向上を目指し研修会を実施する。 ※町単独事業									
補助事業の有無	補助事業無し									
基本目標	大分類	中分類	施策方向							
	3-1 人にやさしいまち	(1) 子育て支援の充実	子育て支援サービスの充実							
	-	-	-							
第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者が心のゆとりを持って子育てができ、育児と仕事等の社会的活動が両立できる環境づくりのため、放課後児童クラブの拡充に努めます。 ●就労形態の多様化に対応する保育環境を維持するため、特別保育を実施します。 ●障がい児の通所支援事業所を町内に確保するよう努めます。 ●問題を抱える児童の早期療育に繋がる保育サービスの検討を行います。 								
	主要な成果	町内保育園の職員の職員の研修等を職種に応じて実施することで、保育園での保育力の向上が図られた。 ・平成26年度からは、私立幼稚園にも声をかけ、委員会・各種研修に参加してもらった。 ・委員会においては、各園間の情報共有や町への要望、子ども・子育て支援新制度に関する質疑応答など、充実した会を行うことができた。 ・各種研修においては、園職員の要望に応じた研修を開催している(発達障がいに関する講義、先進地視察研修など)。								
決算額	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	細目	児童福祉総務費		
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	
	報酬	-		0円		原材料費	-		0円	
	賃金	-		0円		公有財産購入費	-		0円	
	給料	-		0円		備品購入費	-		0円	
	職員手当等	-		0円		負担金補助・交付金	-		0円	
	共済費	-		0円		扶助費	-		0円	
	報償費	-		80,000円		貸付金	-		0円	
	旅費	-		0円		補償補填・賠償金	-		0円	
	公債費	-		0円		償還金・利息・割引料	-		0円	
	需用費	-		0円		投資及び出資金	-		0円	
	役務費	-		0円		寄附金	-		0円	
	委託料	-		0円		積立金	-		0円	
	使用料・賃借料	-		0円		公課費	-		0円	
	工事請負費	-		0円		繰出金	-		0円	
						合計	0円		80,000円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
委員会の設置	団体	委員会の開催	回
研修会参加人数	人	各種研修会の開催	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	委員会の設置	委員会	団体	目標値	1	1	
実績値				1	1	1	
目標達成率				100.0%	100.0%	100.0%	
研修会参加人数	研修会	人	目標値	150	150	150	
			実績値	178	174	153	
			目標達成率	118.7%	116.0%	102.0%	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	委員会の開催	回	計画値	5	5	5	
実績値			5	5	5		
各種研修会の開催	回	計画値	7	7	6		
		実績値	8	7	6		
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
町内の公立私立保育園が同等なレベルでの保育が求められるため、継続して意見交換会や研修が必要である。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・保育士のネットワークの場として必要。
 ・現在の事業形態で一定の効果は挙げている。現状維持。
 ・わかば保育園の今後の在り方をどこに求めるのか、町内全体でまとまった方向性は纏められないか。
 ・継続して行い、保育の質を高めてもらいたい。
 ・「保育の質向上」については保育士のスキルアップだけでなくとどまらず、幼少期の教育機会の充実等、トータルとしての事業拡充が必要になるのではないかと
 ・現状の委員会運営だけで良ければ「維持・維持」

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
プール開設数	1		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	プール開設数	1	目標値			1	
			実績値			1	
			目標達成率			100.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
			計画値				
			実績値				
			計画値				
			実績値				
			計画値				
実績値							

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目		自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性		すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
・地域に根ざしたプール運用により利用者の利便性の向上と児童用プールの管理に係る経費の削減を図ることが出来る。 ・事業経費(委託料)は主に水道代に充てられているが、消費税率の増に伴い今後、事業費が不足することが見込まれているためコスト拡充としている。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・ある程度の拡充はやむを得ないが、受益者負担の観点からも応分の負担は今後もお願いしたい。
 ・プールの利用状況などを勘案すると維持が適当(委託料の中で水道代を支払っているのはどうだろうか。)
 ・事務事業評価に馴染まないのではないかと。
 ・施設の維持管理に対しては、当然しなければならないことであり計画的にすること。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	12	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	放課後児童クラブ委託事業				
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	学校や幼稚園または保育園で、学校の就業時間後または土曜日、夏休み期間に午後6時半ごろまで親の代わりに児童の見守りを行う。 ○事業実施園等：高鍋幼稚園、にっしん保育園、なでしこ児童館、東小学校、西小学校				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(1) 子育て支援の充実	-	子育て支援サービスの充実
	-	-	-	-	-

●保護者が心のゆとりを持って子育てができ、育児と仕事等の社会的活動が両立できる環境づくりのため、放課後児童クラブの拡充に努めます。
 ●就労形態の多様化に対応する保育環境を維持するため、特別保育を実施します。
 ●障がい児の通所支援事業所を町内に確保するよう努めます。
 ●問題を抱える児童の早期療育に繋がる保育サービスの検討を行います。

下校時間の早い小学校低学年が放課後を安全に過ごすことができた。
【事業実績】
 対象児童クラブ数・・・5クラブ
 開設日数・・・293日(台風による臨時休会あり)
 年間登録児童数・・・197(月平均)
 長時間開設加算・・・5クラブ(長期休暇分)
 障害児受入推進加算・・・4クラブ

款	民生費		項	児童福祉費		目	児童措置費		細目	放課後児童健全育成	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
決算額	報酬	-	円	0	円	原材料費	-	円	0	円	
	賃金	-	円	0	円	公有財産購入費	-	円	0	円	
	給料	-	円	0	円	備品購入費	-	円	0	円	
	職員手当等	-	円	0	円	負担金補助・交付金	-	円	0	円	
	共済費	-	円	0	円	扶助費	-	円	0	円	
	報償費	-	円	0	円	貸付金	-	円	0	円	
	旅費	-	円	0	円	補償補填・賠償金	-	円	0	円	
	公債費	-	円	0	円	償還金・利息・割引料	-	円	0	円	
	需用費	-	円	0	円	投資及び出資金	-	円	0	円	
	役務費	-	円	0	円	寄附金	-	円	0	円	
	委託料	-	円	24,428,000	円	積立金	-	円	0	円	
	使用料・賃借料	-	円	0	円	公課費	-	円	0	円	
	工事請負費	-	円	0	円	繰出金	-	円	0	円	
						合計	0	円	24,428,000	円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
町内の実施施設数	箇所	職員の配置状況	人
登録児童数(延べ)	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	町内の実施施設数	箇所	目標値			
実績値			5	5	5	
目標達成率					100.0%	
登録児童数(延べ)	人	目標値			216	
		実績値	204	213	227	
		目標達成率			105.1%	
		目標値				
		実績値				
		目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	職員の配置状況	人	計画値			
実績値					25	登録児童数40人につき最低2人を配置
			計画値			
			実績値			
			計画値			
			実績値			

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
<p>・共働き家庭における子育てサポート事業として大きな役割を果たしている。 ・平成27年度は、子ども・子育て支援新制度への移行に伴い「高鍋町子ども・子育て支援事業計画」に基づいて実施するものとし、国の「子ども・子育て支援交付金」を活用することとしている。 ・今後は、国の「放課後子ども総合プラン」や「高鍋町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、高鍋町教育委員会と連携のうえ放課後子ども教室との一体型の開設を目指すなど、質・量の拡充を図っていく必要がある。</p>		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
拡充		拡充	

・ニーズの増嵩が期待されている。地方創生の観点からも大事な事業である。
 ・経費の負担割合も決まっており、町負担分を考慮できないならば、事務事業評価に馴染まないのではないか。
 ・対象年齢を引き上げたが、利用者が少ない。放課後子ども教室との一体型の開設については、慎重な検討を要す。
 ・子育て支援として、今後も必要な事業

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	14	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	一時預かり保育事業								
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗					
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし				
事業の内容	<p>子ども・子育て支援法第55条規定の市町村が行う子育て支援必須事業 保育園に入園していない児童で、保護者が社会的事由等により家庭で児童を保育できない場合、その児童を一時的に保育所で預かる私立保育所に対して、事業を実施するための保育士の賃金費用等の一部を補助する。 ○実施保育園:わかば保育園、にっしん保育園、やまばと保育園、明倫保育園、なでしこ保育園、ももの木保育園、一真持田保育園</p>								
補助事業の有無	補助事業有り		※別紙附表を作成してください						
基本目標	大分類	中分類	施策方向						
	3-1 人にやさしいまち	(1) 子育て支援の充実	子育て支援サービスの充実						
	-	-	-						
第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者が心のゆとりを持って子育てができ、育児と仕事等の社会的活動が両立できる環境づくりのため、放課後児童クラブの拡充に努めます。 ●就労形態の多様化に対応する保育環境を維持するため、特別保育を実施します。 ●障がい児の通所支援事業所を町内に確保するよう努めます。 ●問題を抱える児童の早期療育に繋がる保育サービスの検討を行います。 							
主要な成果	<p>専業主婦家庭等の育児疲れの解消や習い事、出産、急病、学校行事の参加に伴うものから、就労形態の多様化に伴う断続的な保育など、一時的なニーズに応じた保育サービスを提供することで、児童福祉の増進を図ることができた。</p>								
決算額	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	細目	次世代育成支援事業	
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算			
	報酬	-	0円	原材料費	-	0円			
	賃金	-	0円	公有財産購入費	-	0円			
	給料	-	0円	備品購入費	-	0円			
	職員手当等	-	0円	負担金補助・交付金	-	7,365,000円			
	共済費	-	0円	扶助費	-	0円			
	報償費	-	0円	貸付金	-	0円			
	旅費	-	0円	補償補填・賠償金	-	0円			
	公債費	-	0円	償還金・利息・割引料	-	0円			
	需用費	-	0円	投資及び出資金	-	0円			
	役務費	-	0円	寄附金	-	0円			
	委託料	-	0円	積立金	-	0円			
	使用料・賃借料	-	0円	公課費	-	0円			
	工事請負費	-	0円	繰出金	-	0円			
					合計	0円	7,365,000円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
町内実施園数	園	事業担当保育士の配置(一園あたり)	人
利用児童数(延べ)	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	町内実施園数	園	目標値	7	7	
実績値			7	7	7	
目標達成率			100.0%	100.0%	100.0%	
利用児童数(延べ)	人	目標値				
		実績値	1,097	924	904	
		目標達成率				
		目標値				
		実績値				
		目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	事業担当保育士の配置(一園あたり)	人	計画値			
実績値					2	
			計画値			
			実績値			
			計画値			
			実績値			

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
・保護者の需要に応じた施設体制が整備されており、本事業により就労と育児の両立支援を推進している。 ・国の「保育緊急確保事業補助金」を活用して国の基準額と同額を補助した(負担割合:国・県・町1/3)。 ・平成27年度は、子ども・子育て支援新制度への移行に伴い「高鍋町子ども・子育て支援事業計画」に基づいて実施するものとし、国の「子ども・子育て支援交付金」を活用することとしている。 ・平成27年度からは新たに、幼稚園が実施する一時預かり事業についても国交付金の対象となることから、町内2園(高鍋幼稚園、高鍋カトリック聖母幼稚園)への補助を実施することとしている。そのため、事業・コストとも拡充とした。	事業	コスト	
	拡充	拡充	

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
拡充	拡充	・ニーズの増嵩が期待されている。地方創生の観点からも大事な事業である。 ・受け入れ施設の追加はコストの増加となるが、事業そのものは拡充となるのか? ・ニーズがあれば、幼稚園での一時預かり事業の拡充。	

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

14

事務事業名		一時預かり保育事業				
補助事業 1	補助事業名	一時預かり事業補助金		補助区分	町の実施と負担が義務付けられている補助事業	
	補助対象	町内の私立保育所		補助金要綱	高鍋町私立保育園一時預かり事業実施要綱	
	補助の性質	国県補助	今年度補助額	4,500 千円	終期 29	
	前年度決算	交付団体への補助額	7,365 千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	11,465 千円	・利用者があり、子育て支援の立場からも、継続すべき事業である。(H23) ○利用者があり、また、国県の補助事業でもあるので継続すべき事業である。(H26) ○子育て支援の推進上必要。(H26) ○子ども子育て支援事業の必須事業。(H26) ○就労と子育ての両立のためには必要。(H26)。(H26) 事業の成果が分かりにくい。(H26)指標の見直しが必要ではないか。(H26) H26 7号補正で4,338千円増 H26 9号補正で1,473千円減		
		交付団体の決算総額に占める割合	64.2 %			
		交付団体の繰越額決算	0 千円			
	事務事業評価		自己評価			
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる			
		町民の理解を得られるか	得られる			
補助事業 2	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
	公益性	不特定多数の利益につながるか				
		町民の理解を得られるか				
補助事業 3	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
	公益性	不特定多数の利益につながるか				
		町民の理解を得られるか				
補助事業 4	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
	公益性	不特定多数の利益につながるか				
		町民の理解を得られるか				

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	17	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

子育て短期支援事業						
担当課(局)・係	福祉課 子ども支援係 記入者 北川 茂麗					
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度 事務事業評価 評価対象 主要な成果報告 掲載なし					
事業の内容	<p>子ども・子育て支援法第55条規定の、市町村が行う子育て支援必須事業 保護者が病気や仕事により家庭における児童の養育が困難な場合、育児不安や育児疲れ、慢性疾患児の看病疲れ等の身体的・精神的負担の軽減が必要な場合で、児童福祉施設で一時的に養育することにより、児童及びその家庭の支援を図る。 ○委託業者:じゅうじの家</p>					
補助事業の有無	補助事業無し					
基本目標	大分類	中分類	施策方向			
	3-1 人にやさしいまち	(1) 子育て支援の充実	安心して子育てができる地域環境の充実			
	-	-	-			
	-	-	-			
第五次高鍋町総合計画(後期) 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間等との協働による子育て支援を実施するため、子育て支援ネットワーク会議の支援・充実を図ります。 ● 児童虐待などに迅速かつ適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会の適正な運用に努めます。 ● 高鍋明倫みまもり隊など地域の人材を活用した支援事業を推進します。 ● ファミリーサポートセンター事業や子育て短期支援事業の利活用により、育児疲れ等の精神的・身体的負担の軽減を図ります。 ● 発達障がい等の問題を抱える児童の早期発見・早期療育に繋がる診療・療育機関との連携に努めます。 ● 「子ども・子育て支援新制度」に対応する新たな相談体制の整備を図ります。 					
主要な成果	<p>利用者実数は2人であるが、保護者の就労により夜間・休日に保護者が不在となる家庭の児童を預かることで、子育て支援を図ることができた。</p>					
決算額	民生費	児童福祉費	児童措置費	次世代育成支援事業		
	項	目	細目			
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	0 円
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円
	公債費	— 円	0 円	償還金利子・割引料	— 円	0 円
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円
	委託料	— 円	48,000 円	積立金	— 円	0 円
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円
				合計	0 円	48,000 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用施設数	箇所	短期入所生活援助	箇所
ショートステイ利用	日	夜間養護	箇所
トワイライト事業利用	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	活動指標	利用施設数	箇所	目標値	1	1	
実績値				1	1	1	
目標達成率				100.0%	100.0%	100.0%	
ショートステイ利用		日	目標値			1	
			実績値			0	
			目標達成率			0.0%	
トワイライト事業利用		人	目標値	70	70	70	
			実績値	71	64	64	
			目標達成率	101.4%	91.4%	91.4%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	短期入所生活援助	箇所	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
	夜間養護	箇所	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
			計画値				
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性		協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・共働き家庭における子育てサポート事業として大きい役割を果たしている。 ・母子を保護する施設は町内には他にない。 ・国の「保育緊急確保事業補助金」を活用した(負担割合:国・県・町1/3)。 ・平成27年度は、子ども・子育て支援新制度への移行に伴い「高鍋町子ども・子育て支援事業計画」に基づいて実施するものとし、国の「子ども・子育て支援交付金」を活用することとしている。 		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・主管課の評価どおり。
・利用者は少ないが、制度があることにより安心が得られることから継続。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	18	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	要保護児童対策協議会事業					
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	要保護児童対策協議会において代表者会議、実務者会議、個別ケース会議を実施し、要保護児童の対応を検討する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(1) 子育て支援の充実	-	安心して子育てができる地域環境の充実
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間等との協働による子育て支援を実施するため、子育て支援ネットワーク会議の支援・充実を図ります。 ● 児童虐待などに迅速かつ適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会の適正な運用に努めます。 ● 高鍋明倫みまもり隊など地域の人材を活用した支援事業を推進します。 ● ファミリーサポートセンター事業や子育て短期支援事業の利活用により、育児疲れ等の精神的・身体的負担の軽減を図ります。 ● 発達障がい等の問題を抱える児童の早期発見・早期療育に繋がる診療・療育機関との連携に努めます。 ● 「子ども・子育て支援新制度」に対応する新たな相談体制の整備を図ります。
----------------	------	---

主要な成果	<p>代表者会議、実務者会議を合同開催で1回、個別ケース検討会議を20回開催するなど、要保護児童に対する対応を検討し要保護児童の家庭に対して適正支援が図られた。</p>
-------	--

決算額	民生費		児童福祉費		児童措置費		次世代育成支援事業	
	款	項	目	細目	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算
	報酬	-	13,750	原材料費	-	0		
	賃金	-	0	公有財産購入費	-	0		
	給料	-	0	備品購入費	-	0		
	職員手当等	-	0	負担金補助・交付金	-	0		
	共済費	-	0	扶助費	-	0		
	報償費	-	0	貸付金	-	0		
	旅費	-	0	補償補填・賠償金	-	0		
	公債費	-	0	償還金・利息・割引料	-	0		
	需用費	-	0	投資及び出資金	-	0		
	役務費	-	0	寄附金	-	0		
	委託料	-	0	積立金	-	0		
	使用料・賃借料	-	0	公課費	-	0		
	工事請負費	-	0	繰出金	-	0		
				合計	0	13,750		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
協議会の設置	団体	協議会の開催	回
対応数	件	ケース会議の開催	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	協議会の設置	団体	目標値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
			目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
対応数	件	目標値			8		
		実績値	4	8	9		
		目標達成率			112.5%		
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	協議会の開催	回	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
	ケース会議の開催	回	計画値			8	
			実績値	1	8	20	
			計画値				
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		過少である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
ネグレクト等児童虐待の事案が毎年増加している。各関係機関と連携を取り事故の起こらないように取り組む必要がある。 本事業について専門的な知識を有する職員がいないことから、今後は、専門的研修の受講や先進地視察などを取り入れる必要があると感じる。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	非適合		
	事業	コスト	

・要保護児童の人権を守り、高鍋町の教育、保育の充実を図ることは極めて重要。拡充すべき。
 ・虐待の内容や件数の増加に伴い、委員の確保も難しいので先進地研修等行っていることは理解するが、事業そのものは事務事業評価に馴染まないと思う。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	19	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	子育て応援フェスティバル事業					
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	町及び町内の団体や企業が、子育て家庭のために実施している事業を紹介するイベントを開催する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(1) 子育て支援の充実	-	子育て中の家庭への支援体制の整備
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画（後期）
基本方針
 ●児童手当や乳幼児医療費助成などによる子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。
 ●乳児家庭訪問などのきめ細かいサービスを通して、育児相談や子育て支援情報の提供を行い、子育て家庭の不安軽減を図ります。
 ●妊産婦、乳幼児の健康増進を図るため、妊婦及び乳幼児健診等を実施します。また、年齢に応じた保健指導を充実し、健やかな子育てを支援します。

主要な成果
 児童福祉施設、NPO団体、事業所などを含む実行委員会を組織のうえ、毎年10月の第4日曜日に開催している。
 平成26年度においても、家庭における子育ての参考となる情報の提供ができた。
【開催内容】
 ・手作りひろば(多目的ホール)・・・手作りでおもちゃなどを親子で作成
 ・あそびのひろば(ロビー)・・・人形劇、エレクトーンの演奏など
 ・あかちゃんひろば(畳の部屋)・・・赤ちゃんハイハイ競争、読み聞かせなどを実施
 ・ちびっこひろば(屋外駐車場)・・・ミニカーレースの開催、絵本販売、交通安全コーナー、フードコーナーの設置など
 ・食育コーナー(研修室)・・・手作り料理の試食、食育に関するアンケートの実施
 ・歯のコーナー(診察室)・・・フッ素無料塗布

決算額	款	民生費		項	児童福祉費		目	児童措置費		細目	次世代育成支援事業	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-	0	0	原材料費	-	0	0	原材料費	-	0
賃金		-	0	0	公有財産購入費	-	0	0	公有財産購入費	-	0	0
給料		-	0	0	備品購入費	-	0	0	備品購入費	-	0	0
職員手当等		-	0	0	負担金補助・交付金	-	0	0	負担金補助・交付金	-	0	0
共済費		-	0	0	扶助費	-	0	0	扶助費	-	0	0
報償費		-	36,000	36,000	貸付金	-	0	0	貸付金	-	0	0
旅費		-	0	0	補償補填・賠償金	-	0	0	補償補填・賠償金	-	0	0
公債費		-	0	0	償還金・利息・割引料	-	0	0	償還金・利息・割引料	-	0	0
需用費		-	108,197	108,197	投資及び出資金	-	0	0	投資及び出資金	-	0	0
役務費		-	0	0	寄附金	-	0	0	寄附金	-	0	0
委託料		-	0	0	積立金	-	0	0	積立金	-	0	0
使用料・賃借料		-	0	0	公課費	-	0	0	公課費	-	0	0
工事請負費		-	0	0	繰出金	-	0	0	繰出金	-	0	0
					合計	0	144,197	144,197				

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
フェスティバルの開催	回	実行委員会の開催	回
来場者数	人	来場者へPR集の配布	部

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	フェスティバルの開催	回	目標値		1	1	
実績値				1	1	1	
目標達成率				100.0%	100.0%	100.0%	
来場者数	人	目標値		2,000	2,000	2,100	
		実績値		2,000	1,800	1,800	
		目標達成率		100.0%	90.0%	85.7%	
				目標値			
				実績値			
				目標達成率			
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	実行委員会の開催	回	計画値	4	4	4	
実績値			4	4	4		
来場者へPR集の配布	部	計画値	300	300	300		
		実績値	300	300	300		
				計画値			
				実績値			

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目		自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	民間でも可能		町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
・町内の保育園、幼稚園、子育て支援団体や企業の取り組み等を町民に紹介することで、広く周知を図ることが出来る。 ・毎回、開催内容に関するアンケートを実施しているが、大変好評であり今後も継続して実施していくことで子育てに対する意識の高揚が図られると考えている。	事業	コスト	
	維持	維持	

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・本町の子育てを象徴するイベントである。拡充すべき。
 ・フェスティバル参加者は増加しているので、周知はされてきた。経費も余りかからず結構だが、今後はフェスティバルが如何に子育てに貢献できるかを判断する成果や、その指標があると解り易いと思う。
 ・単なるイベントとならないよう。
 ・内容の検討

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	27	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	乳幼児医療費助成事業					
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	乳幼児期における疾病等の治療を容易にし、乳幼児の福祉の向上と健全な発育の促進を図るため、就学前(6歳に達する日以降の最初の3月31日まで)の乳幼児に対し、一診療報酬明細あたり350円の自己負担を控除した額を助成する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(1) 子育て支援の充実	-	子育て中の家庭への支援体制の整備
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

●児童手当や乳幼児医療費助成などによる子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。
 ●乳児家庭訪問などのきめ細かいサービスを通して、育児相談や子育て支援情報の提供を行い、子育て家庭の不安軽減を図ります。
 ●妊産婦、乳幼児の健康増進を図るため、妊婦及び乳幼児健診等を実施します。また、年齢に応じた保健指導を充実し、健やかな子育てを支援します。

乳幼児期における疾病等の治療を容易にし健全な発育の促進を図ることができた。
【県・町の自己負担基準(平成26年度)】
 ○県基準
 入院は1診療報酬明細書につき350円、入院外は3歳未満は1診療報酬明細書につき350円、3歳以上小学校入学前までは1診療報酬明細書につき800円
 調剤は入院外に含まれる
 ○町基準
 小学校入学前の1診療報酬明細書につき一律350円
 調剤は自己負担なし

決算額	款	民生費	項	児童福祉費	目	母子福祉費	細目	母子福祉費		
		予算区分		平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬		-	0円		原材料費		-	0円
		賃金		-	0円		公有財産購入費		-	0円
		給料		-	0円		備品購入費		-	0円
		職員手当等		-	0円		負担金補助・交付金		-	0円
		共済費		-	0円		扶助費		-	31,393,960円
		報償費		-	0円		貸付金		-	0円
		旅費		-	0円		補償補填・賠償金		-	0円
		公債費		-	0円		償還金・利息・割引料		-	0円
		需用費		-	0円		投資及び出資金		-	0円
		役務費		-	1,604,200円		寄附金		-	0円
		委託料		-	0円		積立金		-	0円
		使用料・賃借料		-	0円		公課費		-	0円
		工事請負費		-	0円		繰出金		-	0円
						合計		0円	32,998,160円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
町負担金	円	助成件数(現物給付)	人
県負担金	円	助成件数(申請払い)	人
受給者数	人	高額医療費戻入件数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	町負担金	円	目標値			
実績値			18,250,717	14,772,941	18,483,160	
目標達成率					96.6%	
県負担金	円	目標値			17,667,000	対象医療費に対し、一律の負担(県の基準額に応じた負担)
		実績値	15,163,000	16,566,000	14,515,000	
		目標達成率			82.2%	
受給者数	人	目標値			1,400	対象医療費に対し、一律助成
		実績値	1,329	1,379	1,340	
		目標達成率			95.7%	
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	助成件数(現物給付)	人	計画値			
実績値			18,715	17,302	18,206	
助成件数(申請払い)	人	計画値				
		実績値	81	210	98	
高額医療費戻入件数	件	計画値				
		実績値	15	15	4	

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
<ul style="list-style-type: none"> 子育ての負担軽減に大きく貢献している。 少子化対策の一環として重要な事業である。 町が負担する医療費助成、審査支払手数料に対して県補助がある。 県内の状況を鑑みると、対象年齢の拡充等の検討が必要である。 平成27年10月より、対象年齢を小学校卒業までに拡充する(小学生に係る自己負担:1,000円/1診療報酬明細)。 		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・条例に基づき拡充
 ・長年の懸案事項でようやく実施となったが、周りの市町村は当町以上に助成範囲を拡大しているため、要求はまだあると思われる。一方で、町長が言うとおりの幼児段階から身体を鍛えて元気な子供を育てる方策に力を入れる必要があると考える。
 ・27年度対象者拡充。さらなる拡充については、近隣市町村の事業内容から要検討。
 ・周辺町が実施しているから拡充では安易。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	37	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	幼稚園就園奨励費事業					
担当課(局)・係	福祉課	子ども支援係	記入者	北川 茂麗		
事業期間	H26 年度 ~	年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	幼稚園の入園料、保育料の一部又は全部を世帯の所得に応じて減免し、その経済的負担の軽減及び公私立間の保護者負担の較差の是正を図ることにより、幼児の幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の振興に資する。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	1-3 次代を担う気概のある子どもを育てるまち	-	(1) 学校教育の充実	-	教育内容の充実
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用しながら学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに基本的な学習態度・習慣を定着させ、確かな学力の定着を目指します。 ● 子どもたちの教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要となる教育振興備品の整備を推進します。 ● 社会の変化の中でも特に教育に大きな影響を与えると考えられる、国際化、情報化、科学技術の発展、環境の問題に対応する教育を充実させます。 ● 障がいのある子ども一人ひとりの学びのニーズに応じた教育を実現するために、乳幼児期から卒業までの連続性のある支援、指導者の実践的指導力の向上、支援体制や教育環境等の整備及び保護者や住民に向けての理解啓発などを推進します ● 学校教育の充実には、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きいことから、積極的な研修への参加を促すなどして、教職員の資質能力向上を図ります。
----------------	------	--

主要な成果	<p>幼稚園に幼児を就園させている世帯の経済的負担を軽減することができ、幼稚園教育の振興に資することができた。</p> <p>補助基準額については、国が定める額の一律90%で設定(年次的に補助率を上げている)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象園数 7園(町内2園、町外5園) ・対象児童数 186名 ・実績額 22,190千円
-------	---

決算額	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費	細目	教育振興費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-	0 円	原材料費		-	0 円
	賃金		-	0 円	公有財産購入費		-	0 円
	給料		-	0 円	備品購入費		-	0 円
	職員手当等		-	0 円	負担金補助・交付金		-	22,190,000 円
	共済費		-	0 円	扶助費		-	0 円
	報償費		-	0 円	貸付金		-	0 円
	旅費		-	0 円	補償補填・賠償金		-	0 円
	公債費		-	0 円	償還金・利息・割引料		-	0 円
	需用費		-	0 円	投資及び出資金		-	0 円
	役務費		-	0 円	寄附金		-	0 円
	委託料		-	0 円	積立金		-	0 円
	使用料・賃借料		-	0 円	公課費		-	0 円
	工事請負費		-	0 円	繰出金		-	0 円
					合計		0 円	22,190,000 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
実施施設数	園	対象児童数	人
国基準額との批准	%		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	実施施設数	園	目標値			
実績値					7	
目標達成率					100.0%	
国基準額との批准	%	目標値	75	85	90	
		実績値	75	85	90	
		目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
		目標値				
		実績値				
		目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	対象児童数	人	計画値			
実績値					186	
		計画値				
		実績値				
		計画値				
		実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価			
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり			
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である			
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は困難			
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している			
	すでに目標を達成していないか								
主管課(局)による評価									
この事務事業に対する考え						今後の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度から、担当が健康福祉課子ども支援係となった(平成25年度以前は教育総務課) 国(文部科学省)の幼稚園就園奨励費補助を活用して事業を実施している。 平成27年度においては、国基準額の100%で補助することとしているためコスト拡充としている。 平成27年度からは、子ども・子育て支援新制度に移行する(施設型給付を受ける)私立幼稚園は対象外となるため、対象児童数は10名を見込んでいる。 						事業		コスト	
						維持		拡充	
内部評価	判定結果		コメント ・主管課の評価どおり。 ・奨励費の基準額が他市町村より低かった時期があるが、年次的に引き上げてきた結果、現在は差が無い状況だと思うので、この事業そのものは事務事業評価対象としても良いと思う。 ・27年度に奨励率拡充。						
	事務事業評価適合性								
	適合								
	事業	コスト							
	維持	維持							

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

37

事務事業名		幼稚園就園奨励費事業							
補助事業 1	補助事業名	幼稚園就園奨励費補助金			補助区分	町の実施と負担が義務付けられている補助事業			
	補助対象	保育料等の減免を実施する私立幼稚園			補助金要綱	高鍋町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱			
	補助の性質	国県補助	今年度補助額	22,190	千円	終期	29		
	前年度決算	交付団体への補助額	7,538	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額	7,544	千円	・国の補助基準は理解するが、予算措置は徐々に追いつくしかない。(H23) ・隣接市町村が取り入れている階層ごとの補助率も参考に検討してみようか。(H23) ・近隣市町村市の均衡をとることが必要である。(H23) ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。 H25 6号補正で608千円増 ○子ども子育て支援制度との関連で、補助額、率を決める必要あり。(H26) ○制度改正の内容の検討を。(H26) ※平成26年度より子ども支援係へ H26 9号補正で4,400千円増				
		交付団体の決算総額に占める割合	99.9	%					
		交付団体の繰越額決算	0	千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる						
		町民の理解を得られるか	得られる						
補助事業 2	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							
補助事業 3	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							
補助事業 4	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	473	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	社会福祉協議会運営補助事業					
担当課(局)・係	福祉課	地域福祉係	記入者	阿萬 純江		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	社会福祉協議会の活動の円滑化を図り地域福祉の向上を目指すため、社会福祉協議会の運営・活動に対し助成を行う。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(4) 地域福祉活動の推進	-	地域福祉活動の推進
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画（後期）
基本方針
 ●地域福祉に対する理解と意識の高揚を図るため、研修会の開催や広報を通じて啓発活動を推進します。
 ●地域に密着した福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会機能の充実強化に向けた取り組みを支援します。
 ●地域福祉の充実のため、民生委員・児童委員や地区公民館などの連携強化を図り、誰もが地域で安心して生活できる体制づくりに努めます。

主要な成果
 社会福祉協議会や関係機関・団体との連携を図り、地域福祉活動を推進し、住民ニーズ・福祉課題の把握及び質の高い福祉サービスの提供など、効果的な事業の展開を図ることができた。

決算額	款	民生費		項	社会福祉費		目	社会福祉総務費		細目	社会福祉総務費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算			
	報酬		-	円		0	円	原材料費	-	円	0	円
賃金		-	円		0	円	公有財産購入費	-	円	0	円	
給料		-	円		0	円	備品購入費	-	円	0	円	
職員手当等		-	円		0	円	負担金補助・交付金	-	円	6,802,000	円	
共済費		-	円		0	円	扶助費	-	円	0	円	
報償費		-	円		0	円	貸付金	-	円	0	円	
旅費		-	円		0	円	補償補填・賠償金	-	円	0	円	
公債費		-	円		0	円	償還金・利息・割引料	-	円	0	円	
需用費		-	円		0	円	投資及び出資金	-	円	0	円	
役務費		-	円		0	円	寄附金	-	円	0	円	
委託料		-	円		0	円	積立金	-	円	0	円	
使用料・賃借料		-	円		0	円	公課費	-	円	0	円	
工事請負費		-	円		0	円	繰出金	-	円	0	円	
							合計		0	円	6,802,000	円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
職員数	人	有資格者の雇用	人
実施事業(相談支援)	事業	独自事業の実施	事業
実施事業(福祉全般)	事業	福祉関係団体の支援	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	成果指標	職員数	人	目標値	47	50	50
実績値				47	50	51	
目標達成率				100.0%	100.0%	102.0%	
実施事業(相談支援)		事業	目標値	4	5	5	高齢者等相談支援、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、居宅介護支援、特定相談支援
			実績値	4	5	5	
			目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
実施事業(福祉全般)		事業	目標値	18	19	20	新規事業:社協塾(県モデル事業委託)
			実績値	18	19	21	
			目標達成率	100.0%	100.0%	105.0%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	有資格者の雇用	人	計画値	17	17	20	介護支援専門員10、介護福祉士7、保健師6、准看護師6、社会福祉士6、精神保健福祉士1、相談支援専
実績値			17	17	42		
独自事業の実施	事業	計画値	9	10	10		
		実績値	9	10	11		
福祉関係団体の支援	件	計画値	6	6	6		
		実績値	6	6	6		

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
地域における問題やニーズが多様化・複雑化しており、その課題解決に取り組む社会福祉協議会の役割はより重要なものになっているが、比例して負担も非常に大きくなっている。更には生活困窮者自立支援制度が27年度から本格的に実施となるので、地域福祉活動の推進により一層の支援が必要になる。今後作成していく地域福祉計画・地域福祉活動計画を通して更なる見直しも必要となっていると考える。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・拡充すべきかどうかは生活困窮者自立支援制度の全体像がある程度明確になっていから判断すべき。
 ・生活困窮者自立支援制度が27年度から本格的に実施となることだが、事業の実施主体は県となるので社協の運営補助の中で取り扱おうと、補助期限終了後に事業継続の考え方等に影響がある。(いつの間にか済崩して補助せざるを得ない状況となる可能性がある。)
 ・何のコストが増額するのか不明。
 ・町と社協の、地域福祉に関する制度の高い協議が必要

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

473

事務事業名		社会福祉協議会運営補助事業					
補助事業 1	補助事業名	高鍋町社会福祉協議会補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	社会福祉協議会			補助金要綱	有	
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	6,802	千円	終期	28
	前年度決算	交付団体への補助額	6,802	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	8,304	千円	※普通交付税措置(単位費用) ◎地域福祉の実践からも更なる充実が必要。(H25)		
		交付団体の決算総額に占める割合	81.9	%	◎協議会内部の(デイ等)の事業収益の減少もあり、利益の無い事業が増えている現状もあるので、補助については維持が妥当ではないかと思う。(H25)		
		交付団体の繰越額決算	0	千円	◎デイサービス、介護保険事業など社会福祉協議会が行う事業の拡大を図っていくこと。(H25)		
	事務事業評価		自己評価		◎社会福祉協議会をふれあいセンター内に移すことはできないか。(H25)		
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる		◎地域福祉の充実のため事業は拡充は必要だと考えるが、金額の増額は、実施事業の内容により検討する必要がある。(H26)		
		町民の理解を得られるか	得られる		◎自助努力の検討。(H26) ◎社会福祉協議会の在り様を整理していかないと、今後の方向性も明らかに		
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	476	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	民生委員児童委員協議会運営支援事業					
担当課(局)・係	福祉課	地域福祉係	記入者	阿萬 純江		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	地域住民の相談窓口として様々な事案に対応する民生委員・児童委員の個別活動、連携強化や識見向上の取組みを支援するため、民生委員児童委員協議会に対し助成を行う。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(4) 地域福祉活動の推進	-	地域福祉活動の推進
		-		-	
		-		-	

●地域福祉に対する理解と意識の高揚を図るため、研修会の開催や広報を通じて啓発活動を推進します。
 ●地域に密着した福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会機能の充実強化に向けた取組みを支援します。
 ●地域福祉の充実のため、民生委員・児童委員や地区公民館などの連携強化を図り、誰もが地域で安心して生活できる体制づくりに努めます。

民生委員・児童委員の献身的な活動を支えるとともに、定例会や研修会を通して知識・技術・人格の向上を図ることで、地域住民の様々な悩み・問題等に対して助言・援助を行い支援することができた。

款	民生費		社会福祉費		目	社会福祉総務費		細目	社会福祉総務費			
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算					
	決算額	報酬	-	0		原材料費	-		0	賃金	-	0
	給料	-	0	備品購入費	-	0	職員手当等	-	0	負担金補助・交付金	-	4,612,000
	共済費	-	0	扶助費	-	0	旅費	-	0	貸付金	-	0
	報償費	-	0	貸付金	-	0	公債費	-	0	補償補填・賠償金	-	0
	需用費	-	86,703	償還金・利息・割引料	-	0	需用費	-	86,703	投資及び出資金	-	0
	役務費	-	0	投資及び出資金	-	0	役務費	-	0	寄附金	-	0
	委託料	-	0	寄附金	-	0	委託料	-	0	積立金	-	0
	使用料・賃借料	-	130,000	積立金	-	0	使用料・賃借料	-	130,000	公課費	-	0
	工事請負費	-	0	公課費	-	0	工事請負費	-	0	繰出金	-	0
				繰出金	-	0				合計	0	4,828,703

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
調査・実態把握件数	件	活動延日数	日
相談・支援件数	件	訪問延回数	回
研修会等回数	回	研修会等参加延人数	人

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	調査・実態把握件数	件	目標値	3,414	3,353	3,400	
			実績値	3,414	3,353	3,450	
			目標達成率	100.0%	100.0%	101.5%	
相談・支援件数	件	目標値	2,817	2,737	2,800	高齢者に関すること: 844件 障害者に関すること: 86件 子供に関すること: 907件 その他: 477件	
		実績値	2,817	2,737	2,314		
		目標達成率	100.0%	100.0%	82.6%		
研修会等回数	回	目標値	32	37	35		
		実績値	32	37	30		
		目標達成率	100.0%	100.0%	85.7%		

活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	活動延日数	日	計画値	6,500	6,500	6,500	
			実績値	6,494	6,423	6,319	
	訪問延回数	回	計画値	6,000	6,000	6,000	
実績値			6,967	5,951	6,046		
研修会等参加延人数	人	計画値	850	850	850		
		実績値	769	837	878		

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
地域における民生委員児童委員の役割は大きなものがある。今後、生活困窮者や災害時要支援者等の増加に伴い、民生委員がその役割を最大限発揮できるように環境整備を進め、町財政では対応できないきめ細やかな地域福祉ニーズにより一層対応していく必要がある。補助としては報酬ではなく活動費への援助であり、今後も継続を要すると考える。	事業	コスト	
	拡充	拡充	

内部評価	判定結果		コメント ・事業の性質上事業は維持。コストも拡充する狙いがよく分からない。 ・委員のなり手も少ない状況であり、業務に見合う支援もある程度必要と思われる ・26年度補助金を増額しているということなので、経過をみて維持。 ・年次的な、改善が必要
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

476

事務事業名		民生委員児童委員協議会運営支援事業					
補助事業 1	補助事業名	民生委員児童委員協議会補助金		補助区分	特定財源のみの補助事業		
	補助対象	高鍋町民生委員児童委員協議会		補助金要綱	有		
	補助の性質	国県補助	今年度補助額	4,612	千円	終期	28
	前年度 決算	交付団体への補助額	4,612	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	4,641	千円	・民生委員のなり手を探すのも困難な中これ以上の経費節減は難しいと考える。(H23) ※起案書・査定の場にて協議済 ※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討 ○26年度に増額している。(H26)当面はそのまま。(H26) ○他の町が増加したからといって、単純に増加とは言えない。(H26)		
		交付団体の決算総額に占める割合	99.4	%			
		交付団体の繰越額決算	23	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる					
	町民の理解を得られるか	得られる					
補助事業 2	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	481	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	各種団体補助事業(保護司会)					
担当課(局)・係	福祉課	地域福祉係	記入者	阿萬 純江		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	犯罪や非行をした人等の立ち直りを地域で支える保護司会の研修、犯罪予防活動、関係機関との連絡調整、広報活動などの組織的な活動を支援するため助成を行う。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(4) 地域福祉活動の推進	-	地域福祉活動の推進
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)

基本方針

- 地域福祉に対する理解と意識の高揚を図るため、研修会の開催や広報を通じて啓発活動を推進します。
- 地域に密着した福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会機能の充実強化に向けた取り組みを支援します。
- 地域福祉の充実のため、民生委員・児童委員や地区公民館などの連携強化を図り、誰もが地域で安心して生活できる体制づくりに努めます。

主要な成果

保護司活動を支援することで、保護司の識見向上、触法者の更生・社会復帰、犯罪・非行の未然防止、環境浄化を図ることができた。

決算額	民生費		社会福祉費		社会福祉総務費		社会福祉総務費	
	款	項	目	細目	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	160,000 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	0 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円		
				合計	0 円	160,000 円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
広報・啓発活動	回	社明運動・その他啓発活動等	回
研修会の参加	回	高鍋東小中学校区情報交換会	回
		研修会の参加	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	広報・啓発活動	回	目標値	6	6	6	社明運動、早朝広報
			実績値	5	6	5	
			目標達成率	83.3%	100.0%	83.3%	
研修会の参加	回	目標値	6	6	6	薬物乱用等	
		実績値	6	6	6		
		目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	社明運動・その他啓発活動等	回	計画値	5	5	7	社明運動の取組み3回 早朝広報2回
			実績値	4	7	5	
	高鍋東小中学校区情報交換会	回	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	0	
	研修会の参加	回	計画値	6	6	6	
実績値			6	6	6		

◎事務事業評価

	項目	自己評価		項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
保護司活動は、触法者の更生、地域生活への定着支援や社会復帰に繋ぐ重要な役割を担っている。安心・安全なまちづくりに不可欠なものであり公益性も高い。今後も多様化・複雑化した問題に速やかに対応するには更なる識見向上が必要なため、拡充が必要である。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・事業の性質上事業は維持。近隣町の状況や会の運営上の課題が顕在化しているのならばコストは拡充すべき。
 ・近隣町村と比較し、町の補助金は少ない状況であり少しづつでも引上げが必要かと考える。
 ・研修等の事業費用が不足ならば、その事業内容によって要検討。
 ・年次的な、改善が必要

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

481

事務事業名		各種団体補助事業(保護司会)				
補助事業 1	補助事業名	児湯地区保護司会高鍋支部補助金		補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	児湯地区保護司会高鍋支部		補助金要綱	有	
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	160	千円 終期 28	
	前年度決算	交付団体への補助額	160	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額	269	千円	※H24にH25県外研修のための多額積立 ◎研修活動等への何らかの支援策を検討する必要がある。(H25)	
		交付団体の決算総額に占める割合	59.5	%	◎保護司の活動について、費用面で国の支援が望めないのであれば 研修費用等の支援の拡充が必要と考える。ただし、町として増額するための明確な理由付けが必要。(H25)	
		交付団体の繰越額決算	31	千円	◎制度維持のための提言が必要では。業務の大変さ困難さが理解できるが、 国において改善すべき事項と考える。(H25)	
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる				
	町民の理解を得られるか	得られる				
補助事業 2	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか					
	町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか					
	町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか					
	町民の理解を得られるか					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	490	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋町総合福祉センター管理運営事業					
担当課(局)・係	福祉課	地域福祉係	記入者	阿萬 純江		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉など、町民福祉の充実を図るため設置する総合福祉センターを指定管理者に委託し、適切な管理及び運営を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(4) 地域福祉活動の推進	-	地域福祉活動の推進
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉に対する理解と意識の高揚を図るため、研修会の開催や広報を通じて啓発活動を推進します。 ●地域に密着した福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会機能の充実強化に向けた取り組みを支援します。 ●地域福祉の充実のため、民生委員・児童委員や地区公民館などの連携強化を図り、誰もが地域で安心して生活できる体制づくりに努めます。
----------------	------	---

第五次高鍋町総合計画(後期)	主要な成果	適切な管理運営により、地域福祉の充実を図ることができた。
----------------	-------	------------------------------

決算額	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉館費/福	細目	老人福祉館費/福祉
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-		0	原材料費	-	
賃金		-		0	公有財産購入費	-		0
給料		-		0	備品購入費	-		0
職員手当等		-		0	負担金補助・交付金	-		0
共済費		-		0	扶助費	-		0
報償費		-		0	貸付金	-		0
旅費		-		0	補償補填・賠償金	-		0
公債費		-		0	償還金・利息・割引料	-		0
需用費		-		1,618,645	投資及び出資金	-		0
役務費		-		275,120	寄附金	-		0
委託料		-		2,351,000	積立金	-		0
使用料・賃借料		-		0	公課費	-		0
工事請負費		-		0	繰出金	-		0
					合計	0		4,244,765

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用団体数	件	利用者説明会議	回
利用者数	人	施設管理	-
避難所の開設	回	福祉避難所としての機能整備	-

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	利用団体数	件	目標値	1,000	1,000	950	
			実績値	909	957	1,015	
			目標達成率	90.9%	95.7%	106.8%	
利用者数	人	目標値	17,000	17,000	17,000		
		実績値	17,484	16,321	14,713		
		目標達成率	102.8%	96.0%	86.5%		
避難所の開設	回	目標値	-	-	-		
		実績値	0	0	0		
		目標達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	利用者説明会議	回	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
	施設管理	-	計画値	-	-	-	
			実績値	-	-	-	
	福祉避難所としての機能整備	-	計画値	-	-	-	
			実績値	-	-	-	

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目		自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
高鍋町内の高齢者・障害者等の各種団体の活動を支える拠点施設として、果たす役割は非常に大きいと考えられる。現在、施設の老朽化等が進み、修繕費等の経費負担が増加しているため、施設立替も含めてどう賄っていくかが大きな課題となっている。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・センターの機能や整備の具体的な方向性が定まるまでは、現行予算の範囲内で軽微な修繕等を継続することで対応できないか。
 ・指定管理者制度を導入した意味から、社会福祉協議会が事業を拡充するのは結構だが、コストが増加することは指定管理者にした意味が無くなる。
 ・計画的な修繕を。
 ・長期に、わたつての管理計画が必要な時期に来ている

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	492	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	シルバー人材センター運営補助事業				
担当課(局)・係	福祉課	地域福祉係	記入者	阿萬 純江	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	高齢者の能力を活かした活力ある地域づくりを行うため、高齢者の働く場を確保・提供している高鍋町シルバー人材センターへ運営費の助成を行う。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(2) 高齢者福祉の充実	-	生きがいづくり支援
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

●高齢者同士の交流を図るため、高齢者クラブの活動を支援します。
 ●スポーツや文化活動を通して、高齢者の能力や経験が生かされる地域づくりに努めます。
 ●ふれあい交流センターを活用し、高齢者から子供、健常者から障がい者(児)までが気軽に集える環境づくりに努めます。
 ●シルバー人材センターと連携し、高齢者の能力を活かした就業機会の確保を図ります。

高齢者の能力を活かした活力ある地域づくり、高齢者の生きがいづくりが図られた。

決算額	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	細目	シルバー人材センター
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-		0	原材料費	-	
	賃金	-		0	公有財産購入費	-		0
	給料	-		0	備品購入費	-		0
	職員手当等	-		0	負担金補助・交付金	-		2,150,000
	共済費	-		0	扶助費	-		0
	報償費	-		0	貸付金	-		0
	旅費	-		0	補償補填・賠償金	-		0
	公債費	-		0	償還金・利息・割引料	-		0
	需用費	-		0	投資及び出資金	-		0
	役務費	-		0	寄附金	-		0
	委託料	-		0	積立金	-		0
	使用料・賃借料	-		0	公課費	-		0
	工事請負費	-		0	繰出金	-		0
					合計	0		2,150,000

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
会員数	人	就業機会の拡大(公共)	件
就業延人員数	人	就業機会の拡大(民間)	件
受注件数	件	配分金の増強	円

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	成果指標	会員数	人	目標値	200	200	
実績値				147	142	141	
目標達成率				73.5%	71.0%	94.0%	
就業延人員数		人	目標値	36,000	36,000	22,500	
			実績値	21,138	21,339	20,257	
			目標達成率	58.7%	59.3%	90.0%	
受注件数		件	目標値	1,800	1,800	1,350	
			実績値	1,241	1,280	1,307	
			目標達成率	68.9%	71.1%	96.8%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	就業機会の拡大(公共)	件	計画値	78	78	100	
実績値			78	94	71		
就業機会の拡大(民間)	件	計画値	1,163	1,163	1,250		
		実績値	1,163	1,186	1,236		
配分金の増強	円	計画値	100,000,000	100,000,000	100,000,000		
		実績値	98,252,085	103,385,675	113,057,857		

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
団塊世代の高齢化等により高齢化社会が進む中、少子化等による生産年齢世代の減少及び年金給付年齢の引き上げ等により高齢者の技能活用や労働力が必要となってきた。また、働くことにより高齢者の健康増進にも繋がりが、住民ニーズも高まっている。今後ますます進んでいく高齢化社会に対応するためには、シルバー人材センターの役割がより重要となっていくと考えられる。	事業	コスト	
	拡充	拡充	

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・事業の性質上事業は維持。コストも人件費補助の性質であれば維持が適当
 ・受注高は順調に伸びているが、新規に請負う業務を拡大した結果コストが増大する理屈はあるが、事業は維持のままコストの拡充はなぜ生じるのか不明である。
 ・27年度補助金増額している。
 ・27年度増額しているので、業務内要を見ながら、進めること
 ・27年度予算増

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

492

事務事業名		シルバー人材センター運営補助事業					
補助事業 1	補助事業名	シルバー人材センター補助金		補助区分	町単独による補助事業		
	補助対象	高鍋町シルバー人材センター		補助金要綱	有		
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	2,150	千円	終期	29
	前年度決算	交付団体への補助額	2,150	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	121,408	千円	・補助金が減額となった場合に運営できないかどうかが判然としないが、少々の減額は可能だと思われる。(H23)		
		交付団体の決算総額に占める割合	1.8	%	・今後法人組織として運営方針を転換し、その時点で事業事業評価対象外とするべきである。(H23)		
		交付団体の繰越額決算	4	千円	・法人化するまでは現行通りでよいのでないか。(H23)		
	事務事業評価		自己評価		・各年度によりセンターの経営状態が左右されるため運営費補助として必要である。(H23)		
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる		・黒字になった場合の補助金返還や補助金額の見直しなど検討が必要である。(H23)		
		町民の理解を得られるか	得られる		※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討 H26予算で増額要望有り。増額の280万?		
補助事業 2	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	56	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	緊急通報システム事業					
担当課(局)・係	健康保険課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本生代		
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	概ね65歳以上の高齢者のみの世帯で慢性疾患等により常時注意を必要とする方や、障がい者のみの世帯で日常生活に不安のある方の安全確保と精神的不安を解消するために緊急通報装置を貸与し、利用者の世帯の状況に応じた利用料を負担する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(2) 高齢者福祉の充実	-	地域支援体制の充実
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括支援センターの充実を図り、在宅福祉等の相談やサービスが総合的に提供できる体制づくりを推進します。 ●地域包括ケアシステムの構築に努めます。 ●一人暮らし高齢者等を、地域全体で支え合っていく体制の確立に努めます。 ●日常生活自立支援事業や成年後見制度など高齢者の権利擁護を周知し、利用促進を図ります。 ●地域で安心して日常生活が送れるよう、緊急通報システムの普及を図ります。 ●認知症サポーター養成講座を開催するとともに、介護マークの普及に努めます。 ●認知症介護者のつどいを毎月開催し、介護者の心のケアに努めます。 ●閉じこもり、うつ、認知機能の低下等の可能性のあるひとり暮らし高齢者の早期発見、早期対応に努めます。
----------------	------	--

	主要な成果	<p>高齢者のみの世帯で、慢性疾患等により常時注意を必要とする方や、身体障害者のみの世帯で日常生活に不安のある方に緊急通報システムを設置することにより、日常生活の不安を軽減することができた。</p> <p>1月に救急車要請1件あり、体調不良の通報から早期の対応ができた。</p> <p>平成27年3月末時点の設置者数19人(うち2人休止中)</p>
--	-------	--

決算額	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	細目	老人福祉費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		- 円		0 円	原材料費		- 円
賃金		- 円		0 円	公有財産購入費		- 円	0 円
給料		- 円		0 円	備品購入費		- 円	0 円
職員手当等		- 円		0 円	負担金補助・交付金		- 円	0 円
共済費		- 円		0 円	扶助費		- 円	0 円
報償費		- 円		0 円	貸付金		- 円	0 円
旅費		- 円		0 円	補償補填・賠償金		- 円	0 円
公債費		- 円		0 円	償還金・利息・割引料		- 円	0 円
需用費		- 円		0 円	投資及び出資金		- 円	0 円
役務費		- 円		0 円	寄附金		- 円	0 円
委託料		- 円		311,482 円	積立金		- 円	0 円
使用料・賃借料		- 円		0 円	公課費		- 円	0 円
工事請負費		- 円		0 円	繰出金		- 円	0 円
					合計		0 円	311,482 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
設置者数	人	事業の広報回数	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	設置者数	人	目標値	33	33	28		
			実績値	28	25	24		
			目標達成率	84.8%	75.8%	85.7%		
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	事業の広報回数	回	計画値	1	2	2		
			実績値	1	2	2		
				計画値				
				実績値				
				計画値				
			実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
高齢者の増加に伴い本事業を必要とする高齢者も増加することが見込まれる。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント	
	事務事業評価適合性			<ul style="list-style-type: none"> ・前回の結果を踏まえ検討していただきたい。 ・総合計画でも普及することとされ、昨年度の外部評価でもこれからのニーズの増嵩による拡充が期待されている。さらには、将来的な地域包括ケアシステムを補完する事業となる。 ・使用料を払えず止む無く貸与を受けない高齢者もいるようだが、貸与を必要とする世帯にできるだけ対処できるよう貸与条件等の見直しを行べきと考える。 ・内容の検討を。 ・必要に応じて、制度の内容を、考えること ・前年度外部評価の要請に応えるためにも事業拡充に向け早期の対象者基準確立を要する
	適合			
	事業	コスト		
拡充	拡充			

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	64	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	高齢者等多世代交流拠点施設運営事業					
担当課(局)・係	健康保険課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本生代		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	町民の幅広い活動と交流を推進するため、高齢者等多世代交流拠点施設の管理、運営を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-1 人にやさしいまち	-	(2) 高齢者福祉の充実	-	生きがいがづくり支援
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者同士の交流を図るため、高齢者クラブの活動を支援します。 ●スポーツや文化活動を通して、高齢者の能力や経験が活かされる地域づくりに努めます。 ●ふれあい交流センターを活用し、高齢者から子供、健常者から障がい者(児)までが気軽に集える環境づくりに努めます。 ●シルバー人材センターと連携し、高齢者の能力を活かした就業機会の確保を図ります。
----------------	------	--

第五次高鍋町総合計画(後期)	主要な成果	高齢者や障がい者、子どもから高齢者まで、世代間の交流や生きがいがづくりを推進することができた。
----------------	-------	---

決算額	款	民生費		項	社会福祉費		目	高齢者等多世代交		細目	高齢者等多世代交流	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-		0円	原材料費	-		0円	公有財産購入費	-	
賃金		-		0円	備品購入費	-		0円	負担金補助・交付金	-		0円
給料		-		0円	扶助費	-		0円	貸付金	-		0円
職員手当等		-		0円	補償補填・賠償金	-		0円	償還金・利息・割引料	-		0円
共済費		-		0円	投資及び出資金	-		0円	寄附金	-		0円
報償費		-		0円	積立金	-		0円	公課費	-		0円
旅費		-		0円	繰出金	-		0円	繰出金	-		0円
公債費		-		0円	合計	0円		5,401,607円				
需用費		-		1,730,768円								
役務費		-		506,704円								
委託料		-		2,590,295円								
使用料・賃借料		-		573,840円								
工事請負費		-		0円								

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用者数	人	開館日数	日

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	利用者数	人	目標値		2,900		2,900
			実績値		1,468		2,460
			目標達成率		50.6%		84.8%
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	開館日数	日	計画値		294		297
			実績値		227		297
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は可能	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						
主管課(局)による評価							
この事務事業に対する考え						今後の方針	
災害時の避難場所としての機能も有しており、常に良好な状態に管理する必要がある施設である。陶芸体験や宿泊も可能な施設であり、利用者増に向けた取り組みを検討する必要がある。						事業	コスト
						維持	維持
内部評価	判定結果		コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の目的や具体的な活動をもっと明確にし、併せて指定管理者制度の活用を検討した上で、内容が充実するまでは現状維持とすべき。 決算額に見合う効果が上がっているとは思えないので、指定管理者の方向性を探ること。 地域に開放するなど利用者増の検討をすべき 利用の在り方を検討していくこと。 管理の在り方の、検討もしていくことも、必要 利用が停滞していることの課題整理が必要 			
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
維持	維持						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	88	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	健康づくりセンター保健施設管理運営事業					
担当課(局)・係	健康保険課	健康推進係	記入者	上杉 悦子		
事業期間	H26 年度 ~	H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	子どもから大人までの心身の健康づくりに役立てるため、自主運営による3B体操・太極拳・バレエ・子供会など各種団体に保健施設を貸し出し、時間外や休日の貸し出しに係る管理運営を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-2 健康に暮らせるまち	-	(1) 生涯にわたる心身の健康づくり	-	健康づくりの推進
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病の予防のため、町民の誰もが手軽に実践できる運動や健康教室等を実施し、町内全域に定着させます。 ●健康づくりセンター内プールを活用した健康づくりに努めます。 ●小児から高齢者まで一貫した健康づくり体制が重要であるため、幼少期から食事や運動をはじめとする生活習慣づくりの推進を図ります。
----------------	------	---

主要な成果	
-------	--

決算額	款	衛生費	項	保健衛生費	目	健康づくりセンター費	細目	健康づくりセンター費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-	円	0	原材料費	-	円
	賃金	-	円	0	公有財産購入費	-	円	0
	給料	-	円	0	備品購入費	-	円	112,320
	職員手当等	-	円	0	負担金補助・交付金	-	円	4,000
	共済費	-	円	0	扶助費	-	円	0
	報償費	-	円	0	貸付金	-	円	0
	旅費	-	円	0	補償補填・賠償金	-	円	0
	公債費	-	円	0	償還金・利息・割引料	-	円	0
	需用費	-	円	1,311,971	投資及び出資金	-	円	0
	役務費	-	円	776,081	寄附金	-	円	0
	委託料	-	円	2,481,928	積立金	-	円	0
	使用料・賃借料	-	円	66,737	公課費	-	円	0
	工事請負費	-	円	0	繰出金	-	円	0
					合計	0	円	4,753,037

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
施設利用回数	回	施設利用団体数	
施設利用人数	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	施設利用回数	回	目標値				管理人:275回 時間内:53回
			実績値	293	312	328	
			目標達成率				
施設利用人数	人	目標値				無料:大人3,089人 小人1,247人 有料:大人1,634人 小人307人	
		実績値	6,684	6,180	6,277		
		目標達成率					
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	施設利用団体数		計画値				管理人:27団体 時間内:36団体
			実績値	38	71	63	
				計画値			
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は可能
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
各種検診(健診)・保健指導の場として、また健康づくりの拠点として、本センターの果たす役割は大きい。今後さらに、利用者を増やし、健康づくり・介護予防に役立ていくため、施設のPR、運動教室・認知症予防教室等の拡充に努める必要がある。		事業	コスト
		拡充	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
拡充	維持		

・貸出だけではなく健康増進の拠点として発信するような取り組みも検討いただきたい。
 ・健康づくりは大切。ニーズもあるようなので、コストをかけずに事業を拡充できるのであればベスト。
 ・健康増進事業で行っている教室等のPRを通して町内に浸透させること、並びに医療費削減にどれだけ効果があったのか指標化できないか。
 PRを行い、事業内容の充実を。
 ・事業の評価方法を、考えること
 ・利用者の増加だけを指標とするのではなく、保健施設としてのあり方を整理することも必要

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	89	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	プール運営事業				
担当課(局)・係	健康保険課	健康推進係	記入者	上杉 悦子	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	プール等を利用した子どもから大人まで心身の健康づくりを推進する。 ①プールの安全な管理運営を行う。 ②水中運動普及員の研修会を行い、プール運動効果についての普及活動につなげる。委託先や普及員と連携し、無料開放イベントの開催や各種教室の充実を図り、継続利用へつなげる。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	3-2 健康に暮らせるまち	-	(1) 生涯にわたる心身の健康づくり	-	健康づくりの推進
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病の予防のため、町民の誰もが手軽に実践できる運動や健康教室等を実施し、町内全域に定着させます。 ●健康づくりセンター内プールを活用した健康づくりに努めます。 ●小児から高齢者まで一貫した健康づくり体制が重要であるため、幼少期から食事や運動をはじめとする生活習慣づくりの推進を図ります。
----------------	------	---

主要な成果	<利用者の状況> ○総数:34,259人(町内:26,698人 町外:7,561人) ○1日平均利用者数:115人 ○年代別 (10代以下): 5,673人 (20代): 518人 (30代) : 1,483人 (40代): 1,670人 (50代) : 3,051人 (60代):13,969人 (70代以上): 7,895人 ○教室(水中運動) : 968人 (水泳教室) :1,564人 (フロアー運動): 339人 (子供水泳教室):3,945人(幼児1,585人、小学生2,360人) ○無料開放時のプール利用者:146人(うち新規4人) <プール利用者アンケート結果(延人数)> 対象者:フリーパス券利用者80人 ・仲間ができた(37)・体重が減った(31)・体が引き締まった(29) ・生活リズムができた(27) ・ストレス解消(25)・関節痛の改善(23)・食事がおいしく感じる(18)・眠れるようになった(16) ・気持ちが明るくなった(16) ・血圧が下がった (12)・血液データの改善(12) ・病院・整骨院の受診回数が減った(11)
-------	---

決算額	款	衛生費	項	保健衛生費	目	健康づくりセンター費	細目	健康づくりセンター費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-	0	原材料費		-	0
	賃金		-	0	公有財産購入費		-	0
	給料		-	0	備品購入費		-	0
	職員手当等		-	0	負担金補助・交付金		-	0
	共済費		-	0	扶助費		-	0
	報償費		-	15,000	貸付金		-	0
	旅費		-	0	補償補填・賠償金		-	0
	公債費		-	0	償還金・利息・割引料		-	0
	需用費		-	11,148,659	投資及び出資金		-	0
	役務費		-	315,144	寄附金		-	0
	委託料		-	17,431,200	積立金		-	0
	使用料・賃借料		-	54,000	公課費		-	0
	工事請負費		-	0	繰出金		-	0
					合計		0	28,964,003

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用者数(延)	人	無料開放プールイベント	回
利用者数(実){大人・小人}	人	水中運動普及員研修	回
<アンケート調査結果>心身の健康状態の改善	%	事故件数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	利用者数(延)	人	目標値	30,000	30,000	
実績値			29,442	33,488	34,259	
目標達成率			98.1%	111.6%	97.9%	
利用者数(実){大人・小人}	人	目標値			470	フリーパス券250人、子供水泳教室378人
		実績値		450	628	
		目標達成率			133.6%	
<アンケート調査結果>心身の健康状態の改善	%	目標値			95	
		実績値		93	98	
		目標達成率			102.6%	
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	無料開放プールイベント	回	計画値	1	1	
実績値			1	1	1	
水中運動普及員研修	回	計画値	5	6	5	
		実績値	6	6	5	
事故件数	件	計画値	0	0	0	
		実績値	0	0	0	

◎事務事業評価

項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない	
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性 協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性 整合している
	すでに目標を達成していないか		

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え	今後の方針
町民の健康に大きく役立てる施設として設置された経緯もあり、健康づくりセンター本体と併せて、町民の健康づくりの拠点である。1日平均100人程度の利用者があるものの、利用者が60代・70代の常連の方が多い。今後は、さらに利用者の増やし、収益を上げるため、プールのPR及び教室等の拡充を図る必要がある。	事業
	コスト
	拡充
	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
拡充	維持		

・施設の適正な管理に努め、幅広い層の利用につながる事業展開をお願いする。
 ・利用者も増えている。プールが本町の健康づくりの中核を成す施設であることを考えると、コストを拡充してもよいのではないか。
 ・利用者増となっており、教室等拡充を図るべき
 ・プールのPRを。
 ・環境整備の検討
 ・利用者の安全確保のための適正な施設の管理・整備が必要

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	294	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	美しい農地景観形成活動補助金				
担当課(局)・係	産業振興課	産業企画係	記入者	有村 真樹	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	環境保全型農業の推進や農地景観の向上を行う農業者に対し、種子代の補助を行うことで農家の負担の軽減し活動の継続を支援する。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください
---------	--------	----------------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-1 自然環境や景観を大切にす ま	(2) 美しい景観の整備	景観形成の推進
	4-1 活力ある産業が育つま	(1) 活力ある農林水産業の振興	環境保全型農業の推進

第五高高鍋町総合計画(後期)

基本方針

- 景観条例や景観計画に基づく良好な景観への規制・誘導を図ります。
- 町民や事業者に対して景観条例や景観計画の周知に努め、連携した取り組みを進めます。
- 町民が主体的に行う景観づくり活動を支援します。
- 城下町高鍋としての歴史的・文化的な景観の保全を図ります。
- 農地景観を保全する活動(ひまわりやコスモス植栽など)への支援を行います。
- 耕畜連携における環境保全型の農業の推進に努めます。
- 農業用廃プラスチックの適正処理及び排出抑制の推進に努めます。
- 家畜排せつ物の適切な処理の指導を行います。

主要な成果

環境保全型農業の推進や農地景観の向上の活動を行っている、農家(染ヶ岡・坂本地区耕作者)にひまわり種子代の補助を行うことができた。(ひまわりは農地景観及び緑肥として使用。きゃべつ畑のひまわり祭開催。)
・平成26年度 むらづくり部門 内閣総理大臣賞受賞

決算額	農林水産業費			農業費			農政企画費		
	款	項	目	目	細目	細目	目	細目	目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円			
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円			
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円			
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	2,415,000 円			
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円			
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円			
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円			
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円			
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円			
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円			
	委託料	— 円	0 円	積立金	— 円	0 円			
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円			
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円			
				合計	0 円	2,415,000 円			

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
作付面積	ha	現地確認	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	作付面積	ha	目標値				染ヶ岡地区および坂本地区の一部に作付
			実績値			約80	
			目標達成率				
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	現地確認	回	計画値				ヒマワリの作付状況確認
			実績値			3	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
口蹄疫復興に寄与しているきゃべつ畑のひまわり祭りを継続させるためにも事業継続が必要と考える。 ひまわりの作付面積の拡大が考えられるため、予算の増額が必要と考える。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・名物イベントとして定着している。ネームバリューを活かしピーター確保するためにも安全面や運営面で必要な経費は拡充しても良いと思う。
 ・あくまで種子代として補助するのであれば、維持が適当
 ・元々は緑肥にするためにヒマワリを植えたことから始まったが、補助金名にあるように趣旨がイベント補助になっている。緑肥は毎年施肥する必要はないと思うが、逆に連作障害は発生しないのか。
 ・観光に貢献しているので維持すべき。
 ・「ひまわり～」が代表的なイベントとなっている現状から補助事業としての位置付けを再考する必要があるのではないか。

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

294

事務事業名		美しい農地景観形成活動補助金							
補助事業 1	補助事業名	美しい農地景観形成活動補助金			補助区分	町単独による補助事業			
	補助対象	対象農業者等			補助金要綱	高鍋町美しい農地景観形成活動補助金交付要綱			
	補助の性質	臨時的補助	今年度補助額	2,520	千円	終期	27		
	前年度 決算	交付団体への補助額	2,415	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額	3,576	千円	H25 当初予算による新規 3号補正で390千円増額 H26 9号補正で105千円減				
		交付団体の決算総額に占める割合	67.5	%					
		交付団体の繰越額決算	0	千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる						
		町民の理解を得られるか	得られる						
補助事業 2	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							
補助事業 3	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							
補助事業 4	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	295	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	農村イベント開催費補助金					
担当課(局)・係	産業振興課	産業企画係	記入者	有村 真樹		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	都市と農村の交流促進及び農村の魅力発信に資するイベントを開催する者に対し補助を行うことで、運営に関する経費の負担軽減を図り、イベントの継続を支援する。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-3 観光交流のまち	-	(1) 観光交流の振興	-	観光イベント等の推進
		-		-	
		-		-	

●NPO法人高鍋町観光協会をはじめとする観光関係団体の支援を行います。
 ●観光に携わる人材や団体の育成を推進します。
 ●観光関係団体と連携し、観光イベントの開催や誘客促進・各種メディアを活用したPR活動を積極的に推進します。
 ●イベントに会場した人を、町内観光施設や商店街につなげる手法を検討します。

主要な成果
 都市と農村の交流促進及び農村の魅力発信に資するイベントとして開催した、四季彩のむら田植えイベント、きゃべつ畑のひまわり祭り、四季彩のむら彩りリレーマラソンに補助を行うことができた。
 (四季彩のむら田植えイベントについては、田植え及び稲刈りを行う予定だったが雨天のため開催できなかった。しかし、四季彩のむらの人が後日、田植え、稲刈りを行った。)

款	農林水産業費		農業費		目	農政企画費		細目	農政企画費	
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
	決算額	報酬	-	0		原材料費	-		0	
賃金		-	0	公有財産購入費	-	0				
給料		-	0	備品購入費	-	0				
職員手当等		-	0	負担金補助・交付金	-	1,008,580				
共済費		-	0	扶助費	-	0				
報償費		-	0	貸付金	-	0				
旅費		-	0	補償補填・賠償金	-	0				
公債費		-	0	償還金・利息・割引料	-	0				
需用費		-	0	投資及び出資金	-	0				
役務費		-	0	寄附金	-	0				
委託料		-	0	積立金	-	0				
使用料・賃借料		-	0	公課費	-	0				
工事請負費		-	0	繰出金	-	0				
				合計	0	1,008,580				

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
四季彩のむら田植えイベント参加者数	人	イベント打合せ	回
きゃべつ畑のひまわり祭り来場者数	人		
四季彩のむら彩りレーマソン参加者数	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	四季彩のむら田植えイベント参加者数	目標値	人			
実績値					0	
目標達成率						
きゃべつ畑のひまわり祭り来場者数	目標値	人				8/16.17の2日間イベント開催
	実績値				約14,500	
	目標達成率					
四季彩のむら彩りレーマソン参加者数	目標値	人				35チーム参加
	実績値				238	
	目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	イベント打合せ	回	計画値			
			実績値			14
			計画値			
			実績値			
		計画値				
		実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
イベント開催に対し補助を行うことで運営に関する経費の負担軽減を図ることができ、イベントの継続を支援するためにも事業の継続が必要と考える。また、きゃべつ畑のひまわり祭りについては、平成26年度はむらづくり部門で内閣総理大臣賞を受賞することができ、今後、宮崎県のイベントとしても大きく注目を集めると考えられるため、今まで以上の支援が必要であり予算の増額が必要と考える。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・農村イベントとして定着していることは評価できるが、何が足りないのか、何を増やすのが今後の方向性が分かりにくかった。
 ・町の観光イベントの中核の担っている。拡充を図ってほしい。
 ・実績が上がっているが、そこから波及した効果がどのようなものか不明である。
 ・予算は幾らでもかけることができるが、イベント参加業者からの収入確保も努めるべき。
 ・何の費用がいるのか現段階では不明なのでコスト維持。
 ・開催内容の検討が必要 町民皆に知ってもらうことが必要

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

295

事務事業名		農村イベント開催費補助金							
補助事業 1	補助事業名	農村イベント開催費補助金			補助区分	町単独による補助事業			
	補助対象	対象事業者			補助金要綱	高鍋町農村イベント開催補助金交付要綱			
	補助の性質	臨時的補助	今年度補助額	1,107	千円	終期	27		
	前年度 決算	交付団体への補助額	1,009	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額	4,391	千円	H25 当初予算による新規				
		交付団体の決算総額に占める割合	23	%					
		交付団体の繰越額決算	0	千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる							
	町民の理解を得られるか	得られる							
補助事業 2	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか								
	町民の理解を得られるか								
補助事業 3	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか								
	町民の理解を得られるか								
補助事業 4	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
公益性	不特定多数の利益につながるか								
	町民の理解を得られるか								

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	297	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	食育・地産地消推進事業					
担当課(局)・係	産業振興課	産業企画係	記入者	有村 真樹		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	フードランナー、児湯農協女性部の協力を得て、「たかなべ食彩工房」等を活用した郷土料理教室やパン教室等を開催することで、地産地消を推進する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	地産地消の推進
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画（後期）
 基本方針
 ●土づくりを基本とした農法の導入による有機農産物の生産拡大を図ります。
 ●農産物加工施設を有効に利用し、特産品開発による地元農産物の消費拡大を図ります。
 ●地元農産物を使用した料理の紹介や料理教室の開催による消費拡大を図ります。

主要な成果
 フードランナー、児湯農協女性部等の協力を得て、「たかなべ食彩工房」等を活用した料理教室やパン教室等を開催することができた。
 ・旬の野菜を楽しむ料理教室
 ・パン教室
 ・米粉料理教室
 ・そば打ち
 ・冬休み料理教室
 ・高鍋どれキャベツを使った料理教室

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農政企画費	細目	農政企画費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		— 円		0 円	原材料費		— 円
賃金		— 円		0 円	公有財産購入費		— 円	0 円
給料		— 円		0 円	備品購入費		— 円	0 円
職員手当等		— 円		0 円	負担金補助・交付金		— 円	0 円
共済費		— 円		0 円	扶助費		— 円	0 円
報償費		— 円		154,500 円	貸付金		— 円	0 円
旅費		— 円		0 円	補償補填・賠償金		— 円	0 円
公債費		— 円		0 円	償還金・利息・割引料		— 円	0 円
需用費		— 円		134,003 円	投資及び出資金		— 円	0 円
役務費		— 円		0 円	寄附金		— 円	0 円
委託料		— 円		0 円	積立金		— 円	0 円
使用料・賃借料		— 円		0 円	公課費		— 円	0 円
工事請負費		— 円		0 円	繰出金		— 円	0 円
					合計		0 円	288,503 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
料理教室等回数	回	参加者とりまとめ及び講師依頼	回
参加人数	人	料理材料等買い出し事務	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	料理教室等回数	回	目標値				
			実績値			22	
			目標達成率				
参加人数	人	目標値					
		実績値			245		
		目標達成率					
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	参加者とりまとめ及び講師依頼	回	計画値				
			実績値			9	
	料理材料等買い出し事務	回	計画値				
			実績値			20	
			計画値				
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
フードランナー、児湯農協女性部等の協力を得て、「たかなべ食彩工房」を活用し地元獲れのきゃべつ等を材料とした料理教室を行っており、地産地消を推進するためにも事業の継続が必要と考える。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・幅広い層への食育・地産地消のPRを期待したい。
 ・食育や地産地消の意義をもっと広めることを優先的にいき、それが浸透してから事業やコストの拡充を図るべき。
 ・農産物加工施設管理運営事業と一体として評価すべき。
 ・フードランナーやJA女性部以外との町民に大きく広げた連携が必要。
 ・健康づくりセンターとの差別化が欲しい。
 ・地産・地消を町全体に広めてもらいたい。
 ・推進結果の検討が必要 町民に広く周知すること

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	300	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	農業後継者育成対策事業				
担当課(局)・係	産業振興課	産業企画係	記入者	有村 真樹	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	農業後継者育成対策事業の核となる高鍋町SAP会議の活動を支援するとともに、町内のみならず県内の農業後継者との交流の中で会員の知識と技術の向上を図る。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	農業経営基盤の強化
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地や耕作放棄地の解消に努めます。 ●地区単位での農用地の利用集積を図ります。 ●法人化による経営規模拡大、農業経営の安定化を図ります。 ●各種施策を活用し、農業経営に係る経費の負担軽減に努めます。 ●農業後継者や新規就農者への支援を行います。 ●高度な経営管理能力と技術力を備えた人材育成に努めます。 ●有害鳥獣による被害防止対策の支援に努めます。
----------------	------	--

主要な成果	<p>県・郡などのSAP活動に参加し共同学修を行い、農業の発展に即応する能力を育成することができた。</p> <p>また、農業に対する多くの意見を知ることができ、自らの視野拡大や農業に対する意識向上を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度宮日農業技術賞受賞 ・永井克昇氏九州・沖縄地区青年農業者大会で意見発表
-------	---

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農政企画費	細目	農業後継者対策費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬			- 円	0 円	原材料費		- 円
賃金			- 円	0 円	公有財産購入費		- 円	0 円
給料			- 円	0 円	備品購入費		- 円	0 円
職員手当等			- 円	0 円	負担金補助・交付金		- 円	130,000 円
共済費			- 円	0 円	扶助費		- 円	0 円
報償費			- 円	0 円	貸付金		- 円	0 円
旅費			- 円	0 円	補償補填・賠償金		- 円	0 円
公債費			- 円	0 円	償還金・利息・割引料		- 円	0 円
需用費			- 円	0 円	投資及び出資金		- 円	0 円
役務費			- 円	0 円	寄附金		- 円	0 円
委託料			- 円	0 円	積立金		- 円	0 円
使用料・賃借料			- 円	0 円	公課費		- 円	0 円
工事請負費			- 円	0 円	繰出金		- 円	0 円
					合計		0 円	130,000 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
会員数	人	定例会の開催	回
新規会員数	人	意見交換会及び他業種交流等	回
研修会の開催	回		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	会員数	人	目標値	20	20	
実績値			14	14	16	
目標達成率			70.0%	70.0%	100.0%	
新規会員数	人	目標値				
		実績値			3	
		目標達成率				
研修会の開催	回	目標値				
		実績値			2	
		目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	定例会の開催	回	計画値	6	6	
実績値			9	9	10	
意見交換会及び他業種交流等	回	計画値	10	10	15	
		実績値	11	19	13	
			計画値			
			実績値			

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は困難	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
農業後継者の育成は、将来の農業を支える農家の育成として喫緊の課題である。この点からも本事業を継続していく必要がある。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・若手農業従事者のネットワークとして必要であり、他業界団体との連携など取組も評価できる。
 ・現状の取組内容であれば維持が適当。地方創生の推進に寄与できる仕組みが構築できるのであれば拡充すべき。
 ・庁内で新規就農者の情報を共有し、ネットワークを生かす方策も考えるべきか。
 ・会員を勧誘を。
 ・SAP活動は、大事な活動
 ・今後、就農希望者への指導や育成団体としての機能を期待したい

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

300

事務事業名		農業後継者育成対策事業					
補助事業 1	補助事業名	農業後継者育成対策費補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	高鍋町SAP会議			補助金要綱	農業後継者育成対策事業補助金交付要綱	
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	150	千円	終期	28
	前年度 決算	交付団体への補助額	130	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	184	千円	・補助の成果をより明確に報告すること。また、補助金が食糧費に使われていないか十分に注意すること。(H22) ◎会議員の増加に努めて欲しい。(H25) ◎必要性を、成果として表していくことが必要。(H25) ◎必要な事業と判断する。ただし、会員増加に向けてどう指導していくのか不明である。(H25)		
		交付団体の決算総額に占める割合	70.7	%			
		交付団体の繰越額決算	1	千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる				
		町民の理解を得られるか	得られる				
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	商店街にぎわい創生事業				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	商店街のにぎわいを創出するため、商店街等が実施する創意工夫をこらした取り組みに対し補助金を交付する。 【近年の補助事業実績】①タやけ市 ②あかりプロジェクト ③たかなべまちのゼミ ④防犯カメラ設置等				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください
---------	--------	----------------

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	(2) 商工業の振興	商店街の活性化

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●城下町高鍋らしい魅力ある商店街づくりを促進するための支援を行います。 ●商店街の空き店舗対策やイベント等への支援を行います。
	主要な成果	<p>本事業により、城下町高鍋らしい商店街の景観整備、交流人口の増加を目的とした各種イベントの開催に対する支援が行われた。また、平成26年度は新たに防災・防犯機能を強化を図る取り組みが行われた。</p> <p>商店街の景観整備として、平成26年度は新たに6基のあかりオブジェが作成され、町内商店街の店舗に設置されることとなった。また、あかりオブジェの制作は「町の人の目に触れる場所で行いたい」との意向から、舞鶴公園にて公開で行われた。あかりオブジェの設置総数は36基となり、「歩いて楽しめる商店街」の景観形成に向けての前進となった。</p> <p>交流人口の増加を目的としたイベントとして、高鍋町商工会議所連合会の主催するタやけ市のほか、個店の魅力をアピールする「たかなべまちのゼミ」が開催された。また、新たな取り組みとして、高鍋町まちなか商業活性化協議会が主催する「高鍋町商店街歳末大感謝祭」が開催され、抽選会当日はもちろんのこと、抽選券配布期間中も多くの人が商店街を訪れることとなった。</p> <p>また、商店街の防災・防犯機能の強化を目的として、本町一番街商店街の3店舗に防犯カメラが設置され、併せて商店街出店者向けの防犯学習会が開催された。</p>

決算額	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	細目	商工業振興費
		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬	— 円	0 円		原材料費	— 円	0 円
		賃金	— 円	0 円		公有財産購入費	— 円	0 円
		給料	— 円	0 円		備品購入費	— 円	0 円
		職員手当等	— 円	0 円		負担金補助・交付金	— 円	1,205,000 円
		共済費	— 円	0 円		扶助費	— 円	0 円
		報償費	— 円	0 円		貸付金	— 円	0 円
		旅費	— 円	0 円		補償補填・賠償金	— 円	0 円
		公債費	— 円	0 円		償還金・利息・割引料	— 円	0 円
		需用費	— 円	0 円		投資及び出資金	— 円	0 円
		役務費	— 円	0 円		寄附金	— 円	0 円
		委託料	— 円	0 円		積立金	— 円	0 円
		使用料・賃借料	— 円	0 円		公課費	— 円	0 円
		工事請負費	— 円	0 円		繰出金	— 円	0 円
					合計	0 円	1,205,000 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
あかりオブジェ設置数(累計)	基	夕やけ市開催回数	回
商店街における交通量(人)	人	まちゼミ講座数	講座
まちゼミ受講者数	人	あかりオブジェ制作作家誘致数(累計)	人

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	成果指標	あかりオブジェ設置数(累計)	基	目標値	50	50	
実績値				25	30	36	
目標達成率				50.0%	60.0%	102.9%	
商店街における交通量(人)		人	目標値	500	500	300	平成24年度は10月14～15日、平成25年度は9月8～9日にそれぞれ実施。平成26年度における交通量調査は未実施である。
			実績値	168	181		
			目標達成率	33.6%	36.2%	0.0%	
まちゼミ受講者数		人	目標値	300	300	200	各種メディアで取り上げられたこともあり、平成25年度の受講者数から微増した。今後も町内外へのPRを続けるとともに、各講座の磨き上げも必要である。
			実績値	147	123	112	
			目標達成率	49.0%	41.0%	56.0%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	夕やけ市開催回数	回	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
	まちゼミ講座数	講座	計画値	20	30	30	
			実績値	16	20	20	
	あかりオブジェ制作作家誘致数(累計)	人	計画値				
			実績値	25	30	35	

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目		自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	過少である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性		協働は可能
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
<p>当事業により、町及び商店街の魅力をも町内外にアピールし、交流人口の増加に一定の効果を上げることができている。平成25年度に「がんばる商店街30選」に「高鍋町まちなか商業活性化協議会」が選定されて以降、県内はもちろんのこと、県外からの視察・研修を数多く受け入れており、11月に開催された「商店街フォーラムin九州」では「高鍋町まちなか商業活性化協議会」会長の小澤氏が事例発表を行うなど、町外からの注目度も高まっており、今後はこれまで実施してきた事業の継続に加え、その拡充と新たな取り組みが不可欠となる。本事業の継続と併せて、国・県・町の補助事業を組み合わせ、支援を実施していくことが必要である。</p>	事業	コスト	
	拡充	拡充	

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・新たな取り組み内容の具体的な提示がなされないとコスト拡充は厳しいのではないかと。交通量を成果指標としているが、都市圏の商業地域ならやる意義もあるが、現在の商店街でその結果を求めるのは酷な気がする。

・商店街の活性化は自治体の喫緊の課題であり、まち全体の活性化につながるものである。

・事業を拡大し、経営者や団体が自発的に取り組む土壌を築くべきでは(全国の成功事例はほとんどこのパターンである。)

・補助金の補助要綱はどうなっているのか、決算額の詳細を訊く。

・今後の方針は拡充となっているが、活動指標は下がっている…。

・国・県補助金の今後はどうなるのか。(防犯カメラがにぎわい創生対象?)

・イベントで誘客するだけで、商店街が何に向かって活性化しようとしているのか見えない。

国県の補助事業を活用を。商店街そのものの方向を。

目標は、どこにあるのか

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

事務事業名		商店街にぎわい創生事業					
補助事業 1	補助事業名	商工業振興対策補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	町内一定区域において、商業者等が集団形態をとり行う共同事業			補助金要綱	高鍋町商業者等団体補助金交付要綱	
	補助の性質	奨励的補助	今年度補助額	1,800	千円	終期	29
	前年度決算	交付団体への補助額	1,800	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	26,377	千円	・交付金としての支出が可能か検討を実施するべきである。(H23) ・商工会議所も運営に大変苦慮していると考え。政策的な分野が多々あるので、非常に難しい部門であり、今後の方向性は現状維持としたい。(H23) ・商工会議所総体の決算に含まれるため使途が分かるように工夫をしていただきたい。(H23) ○商工業振興を図る事業ということで維持。(H26) ○商工会議所を通じて下部組織の活動に充てられているが実績や効果が分かりづらい。(H26)		
		交付団体の決算総額に占める割合	6.8	%			
		交付団体の繰越額決算	1,556	千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる				
		町民の理解を得られるか	得られない				
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	まちなかチャレンジショップ事業				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	商店街に点在する空き店舗の有効活用を図るため、空き店舗を活用し事業を開始する者に対し補助金を交付する。 ①空き店舗の賃借に要する家賃(月額): 1/2(上限30,000円)、公共・公益性がある事業による家賃は2/3(上限40,000円) ②改装工事費(実費): 1/2(上限50,000円)				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(2) 商工業の振興	-	商店街の活性化
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 城下町高鍋らしい魅力ある商店街づくりを促進するための支援を行います。 ● 商店街の空き店舗対策やイベント等への支援を行います。
----------------	------	--

主要な成果	平成26年度は新たに2店舗が補助対象となり、平成21年度からの累計事業利用店舗数は9店舗となった。町内商店街の空き店舗を使用すること、商店街組織に加入することを補助要件としていることから、空き店舗の解消と商店街組織の強化の双方からの効果が得られている。 事業利用者には町外からの出店者もみられ、町外から人を呼び込むという効果も挙げる事ができた。
-------	---

款	商工費		項	商工費		目	商工業振興費		細目	商工業振興費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
決算額	報酬	-	円	0	円	原材料費	-	円	0	円	
	賃金	-	円	0	円	公有財産購入費	-	円	0	円	
	給料	-	円	0	円	備品購入費	-	円	0	円	
	職員手当等	-	円	0	円	負担金補助・交付金	-	円	1,299,000	円	
	共済費	-	円	0	円	扶助費	-	円	0	円	
	報償費	-	円	0	円	貸付金	-	円	0	円	
	旅費	-	円	0	円	補償補填・賠償金	-	円	0	円	
	公債費	-	円	0	円	償還金・利息・割引料	-	円	0	円	
	需用費	-	円	0	円	投資及び出資金	-	円	0	円	
	役務費	-	円	0	円	寄附金	-	円	0	円	
	委託料	-	円	0	円	積立金	-	円	0	円	
	使用料・賃借料	-	円	0	円	公課費	-	円	0	円	
	工事請負費	-	円	0	円	繰出金	-	円	0	円	
						合計		0	円	1,299,000	円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
新規出店件数(単年度)	件	補助件数	件
空き店舗解消数		稼働店舗数	件
		空き店舗数	件

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	新規出店件数(単年度)	件	目標値		2	2	
実績値				0	6	2	
目標達成率				0.0%	300.0%	100.0%	
空き店舗解消数		目標値					平成24年度は新規出店がなく、また、当事業を利用して創業した事業者が町内の他エリアに店舗移転したことにより、空き店舗解消数がマイナスとなった。新たに設定した指標
		実績値		-1	6	2	
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	補助件数	件	計画値	5	5	6	
実績値			3	5	9		
稼働店舗数	件	計画値	102	104	108		
		実績値	100	106	108		
空き店舗数	件	計画値	22	20	16		
		実績値	24	18	14		

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は困難	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
事業利用者の殆どは商店街組織に定着しており、町内商店街の空き店舗解消、商店街組織の強化に一定の効果をあげている。		事業	コスト
ただ一方で、新規出店に伴う改装工事費の補助額(工事費の1/2、上限50,000円)については増額を望む声が多く、今後検討の必要があると考える。		維持	拡充
「商店街まちなみ景観形成事業」による新築・増改築と併せて、商店街の空き店舗・空き地の解消に今後も取り組んでいく必要がある。			

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体の起業支援とすれば対象要件の見直しを検討されることになるだろうが、元々商店街の空き店舗対策で始めたものであれば商店街の意向に反するため方針転換には整理が必要と思われる。 ・事業拡充により制度をさらに充実させることが必須。コストの拡充はそれから。 ・補助金の上限は一件当たり50,000円であるが、実績は1,299,000円となり計算が合わない。 ・空き店舗対策であるが、創業支援も必要か。 ・一定の効果をあげているので維持。また、対象地域の拡大が必要ではないか。 ・幅広い支援策を、考えて ・創業支援策としての拡充を検討する必要あり 	

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

--

事務事業名		まちなかチャレンジショップ事業						
補助事業1	補助事業名	まちなかチャレンジショップ事業補助金		補助区分	町単独による補助事業			
	補助対象	商店街空き店舗活用事業者		補助金要綱	高鍋町商業者等団体補助金交付要綱			
	補助の性質	臨時的補助	今年度補助額	480	千円	終期	29	
	前年度決算	交付団体への補助額	1,299	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		交付団体の決算総額	2,850	千円	事業維持:コスト維持(H23) ※外部評価 事業維持:コスト維持(H23) ・商店街の活性化のためにも空き店舗の活用は必要であり、有効な事業と判断する。(H23) ・6ヶ月の実績を踏まえて補助していくことから、この事業は空き店舗対策に有効と考える。(H23) H25 1号補正で690千円増額、3号補正で140千円増額、6号補正で△520千円減 ※外部評価の意見については別紙参照 ○空き店舗対策としては必要と考える。(H26)この事業の町外に向けPRが必要では。(H26) ○空室バンクの取組も合わせて行う必要を感じる。(H26)			
		交付団体の決算総額に占める割合	45.6	%				
		交付団体の繰越額決算	0	千円				
	事務事業評価		自己評価					
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながらない					
		町民の理解を得られるか	得られない					
補助事業2	補助事業名			補助区分				
	補助対象			補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期		
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		交付団体の決算総額		千円				
		交付団体の決算総額に占める割合		%				
		交付団体の繰越額決算		千円				
	事務事業評価		自己評価					
	公益性	不特定多数の利益につながるか						
		町民の理解を得られるか						
補助事業3	補助事業名			補助区分				
	補助対象			補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期		
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		交付団体の決算総額		千円				
		交付団体の決算総額に占める割合		%				
		交付団体の繰越額決算		千円				
	事務事業評価		自己評価					
	公益性	不特定多数の利益につながるか						
		町民の理解を得られるか						
補助事業4	補助事業名			補助区分				
	補助対象			補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期		
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		交付団体の決算総額		千円				
		交付団体の決算総額に占める割合		%				
		交付団体の繰越額決算		千円				
	事務事業評価		自己評価					
	公益性	不特定多数の利益につながるか						
		町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	小規模事業者特別融資制度保証料補助事業					
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	町内小規模企業者の事業に必要な資金の融資を円滑にし、小規模企業の振興を図るため、高鍋町中小企業特別融資制度及び高鍋町小口零細企業融資制度利用者に対し信用保証料を補助する。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(2) 商工業の振興	-	経営基盤の強化
		-		-	
		-		-	

●関係機関と連携し、研修会の開催や情報提供などにより、商工業者の人材育成を図ります。
 ●高鍋商工会議所など関係機関との連携による相談体制の充実を図り、経営基盤の強化を支援します。
 ●中小企業の経営改善・安定のため、融資制度等の充実を図り、活用を促進します。

町融資制度利用者のうち設備資金借入者を対象としていた利子補給事業が平成25年度で終了したことから、平成26年度の設備資金借入の利用者は平成25年度の16件に対し4件と大きく減少した。しかし、運転資金借入事業者は平成25年度の4件に対して5件と、ほぼ変わらない利用があったことから、今後も事業を継続し、支援を行っていく必要があると考える。

決算額	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	細目	商工業振興費		
		予算区分		平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬		- 円		0 円		原材料費	- 円	0 円
		賃金		- 円		0 円		公有財産購入費	- 円	0 円
		給料		- 円		0 円		備品購入費	- 円	0 円
		職員手当等		- 円		0 円		負担金補助・交付金	- 円	827,906 円
		共済費		- 円		0 円		扶助費	- 円	0 円
		報償費		- 円		0 円		貸付金	- 円	0 円
		旅費		- 円		0 円		補償補填・賠償金	- 円	0 円
		公債費		- 円		0 円		償還金利子・割引料	- 円	0 円
		需用費		- 円		0 円		投資及び出資金	- 円	0 円
		役務費		- 円		0 円		寄附金	- 円	0 円
		委託料		- 円		0 円		積立金	- 円	0 円
		使用料・賃借料		- 円		0 円		公課費	- 円	0 円
		工事請負費		- 円		0 円		繰出金	- 円	0 円
							合計	0 円	827,906 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
中小企業者特別融資制度新規利用者	件	町融資制度採用金融機関	行
小口零細企業融資制度新規利用者	件		
年度末保証債務残高	円		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	中小企業者特別融資制度新規利用者	件	目標値 実績値 目標達成率	5 8 160.0%	5 5 100.0%	
小口零細企業融資制度新規利用者	件	目標値	20	20	20	
		実績値	25	20	9	
		目標達成率	125.0%	100.0%	45.0%	
年度末保証債務残高	円	目標値	100,000,000	100,000,000	100,000,000	・債務残高内訳 小口零細企業融資 52,540,900円 中小企業者特別融資 12,537,500円
		実績値	81,173,000	79,434,000	65,078,400	
		目標達成率	81.2%	79.4%	65.1%	
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項
	町融資制度採用金融機関	行	計画値			
			実績値	3	3	3
	計画値					
	実績値					
計画値						
実績値						

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
小規模事業者の資金借入に係る負担を軽減し、経営改善・新分野進出・事業拡大等の取り組みを支援するものであり、町以外での実施は困難な事業である。		事業	コスト
<p>現行の融資制度の借入利率、限度額については児湯郡で一律となっているが、見直しの要望が金融機関から寄せられており、利用者の負担軽減と制度の利用増加のため、今後見直しを行っていく必要があると考える。その際、利用増加による保証料の増加が予想されるため、予算と併せて検討を行う。</p>		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・コスト拡充の判断は実績及びニーズ等を踏まえ検討していただきたい。
 ・拡充の意図がよく理解できない。
 ・本来の小規模事業者特別融資制度保証料補助事業の利用者はゼロであるなら、残高はあっても小口零細企業融資制度に一本化すべきではないかと考える。
 ・借入者が少なくなっており、現段階では維持。

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

--

事務事業名		小規模事業者特別融資制度保証料補助事業					
補助事業 1	補助事業名	小規模事業者特別融資制度保証料補助		補助区分	町単独による補助事業		
	補助対象	宮崎県信用保証協会(町内小規模事業者)		補助金要綱	高鍋町中小企業特別融資制度等信用保証料補助金 交付要綱		
	補助の性質	その他補助	今年度補助額	1,000	千円	終期	29
	前年度決算	交付団体への補助額	828	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	828	千円	<small>・小規模事業者にとっては必要な事業と判断する。(H23) ※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討 ○資金力の乏しい小規模事業者にとっては必要な事業である。(H26)</small>		
		交付団体の決算総額に占める割合	100	%			
		交付団体の繰越額決算	0	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる					
	町民の理解を得られるか	得られる					
補助事業 2	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋町商店街まちなみ景観形成事業					
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	商店街に所在する個店の魅力向上と、城下町高鍋らしい統一感のある商店街の景観を維持・形成するため、店舗等の外観改修を行う事業者に対し補助金を交付する。 補助率等：補助対象経費の1/3(上限500,000円)					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(2) 商工業の振興	-	商店街の活性化
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●城下町高鍋らしい魅力ある商店街づくりを促進するための支援を行います。 ●商店街の空き店舗対策やイベント等への支援を行います。
----------------	------	--

主要な成果	平成26年度の事業利用件数は1件であり、平成24年度の事業開始からの累計利用件数は8件となった。 また、審議会において改修予定の店舗や新規出店者の情報が挙げられており、今後も継続的に利用があるものと考えられる。
-------	--

決算額	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	細目	商工業振興費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-	円	0	原材料費	-	円
	賃金	-	円	0	公有財産購入費	-	円	0
	給料	-	円	0	備品購入費	-	円	0
	職員手当等	-	円	0	負担金補助・交付金	-	円	485,000
	共済費	-	円	0	扶助費	-	円	0
	報償費	-	円	0	貸付金	-	円	0
	旅費	-	円	0	補償補填・賠償金	-	円	0
	公債費	-	円	0	償還金・利息・割引料	-	円	0
	需用費	-	円	0	投資及び出資金	-	円	0
	役務費	-	円	0	寄附金	-	円	0
	委託料	-	円	0	積立金	-	円	0
	使用料・賃借料	-	円	0	公課費	-	円	0
	工事請負費	-	円	0	繰出金	-	円	0
					合計	0	円	485,000

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
商店街における交通量(人)	人	事業実施件数	件
事業対象エリアにおける町家風建造物の軒数	軒	補助金額	円

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	商店街における交通量(人)		人	目標値	500	500	300
実績値				168	181		
目標達成率				33.6%	36.2%	0.0%	
事業対象エリアにおける町家風建造物の軒数		軒	目標値				新たに設定した指標であるため、平成27年度より目標値の設定を行う。
			実績値	20	22	24	
			目標達成率				
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	事業実施件数	件	計画値	5	2	2	
実績値			4	2	1		
補助金額	円	計画値	2,500,000	1,000,000	1,000,000		
		実績値	2,000,000	1,000,000	485,000		
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

	項目	自己評価		項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性		協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
『城下町高鍋らしい景観形成』の実現に向けての根幹となる事業である。本事業により商店街のまちなみ景観を維持・形成し、人を呼び込むことは商店街の維持・継続・発展、ひいては地域の発展につながるものであると考える。今後はエリアの拡大と併せて、補助対象となる工事の内容や、補助額の見直しについて検討する必要があると思われる。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・商店街におけるまちなみ景観は進みつつある。現在過渡期にあり、機運がしぼまないよう継続してこそ、統一的なコンセプトに基づいた街並み形成が図られるのではないかとと思われる。
 ・事業、コストともに現状を維持しながら年次的な整備を継続してほしい。
 ・昨年も対象地域の拡大が指摘されているが、補助対象となる商店街はどうなったのか、また、商店街を構成できない個人店舗はどう対処していく予定か。
 ・基本方針に空き店舗対策、まちなかチャレンジショップ事業との違い、整合性はどうなっているのか。
 ・統一感を出すには、後どれくらい店舗・家屋が想定されているのか。
 ・対象地域の拡大が必要では。
 ・幅広い考え方を
 ・対象エリアの拡充については検討が必要

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

事務事業名		高鍋町商店街まちなみ景観形成事業					
補助事業 1	補助事業名	商店街まちなみ景観形成事業補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	店舗等の外観改修を行う事業者			補助金要綱	高鍋町商店街まちなみ景観形成事業補助金交付要綱	
	補助の性質	臨時的補助	今年度補助額	1,000	千円	終期	29
	前年度決算	交付団体への補助額	485	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	3,040	千円	事業維持:コスト維持 ※外部評価 維持 ※H24新規事業 H25 5号補正により733千円追加、6号補正で△1,000千円減 ◎新規事業でもあるので事業実績の精査のため短期間での事業評価が必要。(H25) ◎商店街の町並みが統一されることは良い。(H25) ◎商店街の活性化や集客数の増加に直接つながるか補助効果が見えない。(H25) ◎高鍋らしい景観維持の推進には期待するも、町内全域に拡大する施策が必要。(H25) ◎来年度の終期がきたら、縮小で良いと思う。人の入りが増えたかどうかの実績がわかりにくい。(H25)		
		交付団体の決算総額に占める割合	16	%			
		交付団体の繰越額決算	0	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながらない					
	町民の理解を得られるか	得られる					
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋町PR事業					
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	姉妹都市及び都市圏で開催される物産展等に参加し、高鍋町製品の販売及びPR活動を行う。 可能であれば、たか鍋大使くんも同行し、一緒に高鍋町及び高鍋大師のPRを行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(2) 商工業の振興	-	地場産業の振興
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画（後期）

基本方針

- 地場製品のPR促進を図ります。
- 新商品開発や新規事業進出のための支援を行います。

主要な成果

平成26年度は下記の物産展等に出展し、高鍋町の地場製品のPRを行った。

- ・ご当地グルメコンテストinまつり宮崎(8月23日～24日)
- ・米沢市産業まつり(10月18日～19日)
- ・あさくらぎてみん祭(11月7日～8日)
- ・都城市地場産業まつり(10月25日～26日)
- ・東九州自動車道開通記念イベント(3月21日～22日)

決算額	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	細目	商工業振興費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-		0	原材料費	-	
	賃金	-		0	公有財産購入費	-		0
	給料	-		0	備品購入費	-		0
	職員手当等	-		0	負担金補助・交付金	-		0
	共済費	-		0	扶助費	-		0
	報償費	-		0	貸付金	-		0
	旅費	-		209,940	補償補填・賠償金	-		0
	公債費	-		0	償還金・利息・割引料	-		0
	需用費	-		5,913	投資及び出資金	-		0
	役務費	-		64,560	寄附金	-		0
	委託料	-		0	積立金	-		0
	使用料・賃借料	-		0	公課費	-		0
	工事請負費	-		0	繰出金	-		0
					合計	0		280,413

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
物産展参加回数	回	物産展参加人数	人

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	物産展参加回数	回	目標値	3	3	4	
			実績値	3	3	5	
			目標達成率	100.0%	100.0%	125.0%	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	物産展参加人数	人	計画値	4	6	5	
			実績値	4	6	6	
				計画値			
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は可能	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						
主管課(局)による評価							
この事務事業に対する考え						今後の方針	
物産展等への出店は、町外に向けて高鍋町の地場産品・観光PRを行う機会であるとともに、他市町村との情報交換や、商品をご購入いただいた方の生の声が得られる貴重な機会である。 物産展での売れ行きや商品の評価が、その後の新商品開発や新規事業進出の際に必要な顧客のニーズ・地域ごとの特性の分析・把握の材料となることから、今後も継続して事業を行い、高鍋町地場産業の発展の足掛かりとしたい。						事業	コスト
						維持	維持
内部評価	判定結果		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・参加するだけでなくより効果的なPRの手法について検討していただきたい。 ・PRをすることで具体的にどのような効果が得られるのかが不明瞭。 ・目的や成果が明確に示され、それが本町にとって大きなメリットとなるのであれば拡充でもよいのかも。 ・物産展の開催地と回数は、誰が参加しているのか。 ・地場産業振興対策事業に含める方が効果があるのではないか。 ・H26の地場産業振興対策は拡充の方向だが。 ・PRした結果、地場産品のメリットは何を得られたのかを評価指標とすべき。 ・PR方法の要検討。 ・内容の工夫を複合的な事業展開が望まれる 			
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
維持	維持						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋町観光協会補助事業					
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	観光振興による地域活性化を図るため、NPO法人高鍋町観光協会の運営費・事業費を補助する。 【主要事業】 ①高鍋大師花守山整備事業 ②桜まつり ③高鍋海水浴場・キャンプ村の開設 ④情報誌「高鍋グルメガイド」の発刊 ⑤観光ボランティアガイドの派遣・養成 ⑥観光名刺・絵葉書の製作・販売 ⑦高鍋町の観光案内窓口機能 等					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-3 観光交流のまち	-	(1) 観光交流の振興	-	観光資源の整備
	4-3 観光交流のまち	-	(1) 観光交流の振興	-	観光イベント等の推進
	4-3 観光交流のまち	-	(1) 観光交流の振興	-	広域観光の推進

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「高鍋町観光振興基本計画」を策定し、官民協働による魅力ある観光地づくりを推進します。 ●観光関係施設の適正な維持管理及び保全・整備を図ります。 ●観光客が容易に町内を移動できるよう、わかりやすい案内標識等の設置に努めます。 ●高鍋大師花守山整備事業を推進します。 ●高鍋海水浴場・キャンプ村への誘客を図ります。 ●高鍋湿原や四季彩のむらと連携し、美食温泉めいりんの湯への集客を図ります。 ●持田古墳群・高鍋大師への交通環境の充実を図るとともに、長期的展望にたった持田古墳群の整備に努めます。 ●本町の玄関口として高鍋駅舎の活用方法を検討します。 ●町内の観光資源を巡る散策マップ等の作成に努めます。 ●NPO法人高鍋町観光協会をはじめとする観光関係団体の支援を行います。 ●観光に携わる人材や団体の育成を推進します。 ●観光関係団体と連携し、観光イベントの開催や誘客促進・各種メディアを活用したPR活動を積極的に推進します。 ●イベントに会場した人を、町内観光施設や商店街につなげる手法を検討します。 ●さいとこゆ観光ネットワークの事業を推進します。 ●関係自治体と連携し、交通事業者等と連携し、新たな広域の観光ルートづくりやイベントの開催による誘客促進を推進します。 				
主要な成果	平成26年度は前年度まで主導してきた各種イベント・行事に加え、会の自主財源を確保する新たな試みに取り組み、高鍋大師「開運 勾玉」のサンプル作成、高鍋海水浴場におけるマリンスポーツ場の併設に向けた協議・試運転を行った。 特筆すべきはマリンスポーツ場の開設であり、会の自主財源の確保と併せて新たなレジャー・スポーツによる観光客の誘致・獲得に向けた事業である。設備の整備に係る費用や規則の改正などの問題により平成26年度中の開設は成らなかったが、海水浴場開設期間中に限定的に行ったプレオープンでの反響は上々であり、次年度以降の活動に向けての大きな前進になったといえる。 また、映全編オール宮崎ロケである映画『空と海のあいだ』のロケ地選定に協力し、映画の主な舞台として町内商店街の店舗が使用されるなど、町内外への観光PRにおいても一定以上の成果が得られた。 【平成26年度開催の主なイベント・行事】 <ul style="list-style-type: none"> ・高鍋大師花守山「草刈り大作戦」年度内に5回開催 ・高鍋海水浴場ビーチクリーン(7月13日開催 約2,000名参加) ・高鍋海水浴場・キャンプ村開設(7月19日～8月27日) ・第2回だれじゃーはんたーin蚊口ハマー(7月21日開催 87名参加) ・第4回世界の砂の造形コンクール(8月24日開催 45名参加) 					

決算額	款	商工費	項	商工費	目	観光費	細目	観光費	
		予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算
		報酬		-	0 円	原材料費		-	0 円
		賃金		-	0 円	公有財産購入費		-	0 円
		給料		-	0 円	備品購入費		-	0 円
		職員手当等		-	0 円	負担金補助・交付金		-	8,700,000 円
		共済費		-	0 円	扶助費		-	0 円
		報償費		-	0 円	貸付金		-	0 円
		旅費		-	0 円	補償補填・賠償金		-	0 円
		公債費		-	0 円	償還金利息・割引料		-	0 円
		需用費		-	0 円	投資及び出資金		-	0 円
		役務費		-	0 円	寄附金		-	0 円
		委託料		-	0 円	積立金		-	0 円
		使用料・賃借料		-	0 円	公課費		-	0 円
		工事請負費		-	0 円	繰出金		-	0 円
					合計		0 円	8,700,000 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
舞鶴公園桜まつり来場者数	人	ビーチクリーン活動参加者数	人
海水浴場来場者数	人	高鍋大師花守山草刈り大作戦参加者数	人
たかなべ明倫観光ボランティアガイド実績	回	高鍋大師花守山植樹祭参加者数	人

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	舞鶴公園桜まつり来場者数	舞鶴公園桜まつり来場者数	人	目標値	25,000	25,000	
実績値				24,600	24,300	18,000	
目標達成率				98.4%	97.2%	72.0%	
海水浴場来場者数		人	目標値	10,000	10,000	7,000	
			実績値	4,103	6,631	6,880	
			目標達成率	41.0%	66.3%	98.3%	
たかなべ明倫観光ボランティアガイド実績		回	目標値	24	24	24	
			実績値	15	18	28	
			目標達成率	62.5%	75.0%	116.7%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	ビーチクリーン活動参加者数	人	計画値	600	600	1,000	
			実績値	1,000	2,000	2,000	
	高鍋大師花守山草刈り大作戦参加者数	人	計画値	400	400	400	
			実績値	470	341	420	
	高鍋大師花守山植樹祭参加者数	人	計画値	300	300	400	
			実績値	417	300	362	

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
自主財源が乏しいことによる運営困難は継続しており、町補助金による財政的支援は依然として不可欠である。 桜まつり、海水浴場・キャンプ村開設、花守山整備事業など、各種事業の企画・運営は観光協会が行っており、イベントへの出店者・来場者も増加傾向にある。しかし一方で事業の幅広さに比して人員は不足気味であり、町や高鍋商工会議所との連携が必要なのが現状である。 当町の観光資源の保全・管理に大きく寄与しており、自主財源獲得に向けての取り組みもみられることから、町の支援を拡充して取り組みを後押しするとともに、町・高鍋商工会議所はもちろんのこと、他団体との連携による高鍋町の観光PR・交流人口増加の更なる推進を目指したい。	事業	コスト	
	維持	拡充	

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持	・観光協会本体が実働部隊となっており、人員不足で多忙を極めている様子。イベントの運営よりも観光戦略にシフトして自主財源確保に重点をおいてもよいのでは。 ・今後の観光振興に関して、町と観光協会との関係のあり方の整理が必要であり、その結論を待って本格的に評価(判断)すべき。 ・観光協会の人員不足は否めず町の支援は必要であるが、年々当初予算を上回る決算となっている。協会必須の事業なのか、他団体への委託や協働による事業の取組などコスト拡充を伴わない方向を模索すべき。 ・財源確保の方策を検討していくこと。 ・自己財源の確保を。 ・計画的な運営を期待する	

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

--

事務事業名		高鍋町観光協会補助事業							
補助事業 1	補助事業名	高鍋町観光協会補助金			補助区分	町単独による補助事業			
	補助対象	高鍋地区機械金属工業会			補助金要綱	高鍋町観光協会運営費補助金交付要綱			
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	7,900	千円	終期	29		
	前年度決算	交付団体への補助額	8,700	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額	12,474	千円	・現在の職員体制を維持するのは簡単なことではない。自主運営ができないのであれば縮小するべきである。(H23) ・観光協会の自主財源が確保できる事業展開が望まれる。(H23) ・補助ではなく町からの委託事業など早急な検討が必要である。(H23) ・事務局職員体制と事業の方向性について、公的支援の在り方、あるいは指定管理者制度への移行等、あらゆる角度から検討を加え、24年度は新たな組織体制に移行できるよう取組むこと。(H23) ・事業収益を上げるなどして、自主財源の確保に取り組んでもらい、補助金額が減少するのが望ましい。(H23) H25 1号補正で1,500千円増額 ○自主財源の確保に努められている。(H26)				
		交付団体の決算総額に占める割合	69.7	%					
		交付団体の繰越額決算	188	千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながらない						
		町民の理解を得られるか	得られる						
補助事業 2	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							
補助事業 3	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							
補助事業 4	補助事業名				補助区分				
	補助対象				補助金要綱				
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期			
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		交付団体の決算総額		千円					
		交付団体の決算総額に占める割合		%					
		交付団体の繰越額決算		千円					
	事務事業評価		自己評価						
	公益性	不特定多数の利益につながるか							
		町民の理解を得られるか							

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋駅東側擁壁植栽木消毒管理事業				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	高鍋駅東側(石井十次石碑周辺)植栽木の剪定・消毒作業を高鍋町シルバー人材センターに委託し、管理を行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-3 観光交流のまち	-	(1) 観光交流の振興	-	観光資源の整備
	-	-	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「高鍋町観光振興基本計画」を策定し、官民協働による魅力ある観光地づくりを推進します。 ●観光関係施設の適正な維持管理及び保全・整備を図ります。 ●観光客が容易に町内を移動できるよう、わかりやすい案内標識等の設置に努めます。 ●高鍋大師花守山整備事業を推進します。 ●高鍋海水浴場・キャンプ村への誘客を図ります。 ●高鍋湿原や四季彩のむらと連携し、美食温泉めいりんの湯への集客を図ります。 ●持田古墳群・高鍋大師への交通環境の充実を図るとともに、長期的展望にたった持田古墳群の整備に努めます。 ●本町の玄関口として高鍋駅舎の活用方法を検討します。 ●町内の観光資源を巡る散策マップ等の作成に努めます。
----------------	------	--

主要な成果	<p>高鍋駅東側の擁護壁および植栽木の清掃・剪定を行い、町の顔のひとつである駅ホームの景観保全を行った。また、観光資源保全の観点から、植栽木に対する防虫剤の散布を併せて行った。</p>
-------	--

決算額	款	商工費		目	観光費	
	項	商工費	商工費	細目	観光費	観光費
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
	報酬	-	0 円	原材料費	-	0 円
	賃金	-	0 円	公有財産購入費	-	0 円
	給料	-	0 円	備品購入費	-	0 円
	職員手当等	-	0 円	負担金補助・交付金	-	0 円
	共済費	-	0 円	扶助費	-	0 円
	報償費	-	0 円	貸付金	-	0 円
	旅費	-	0 円	補償補填・賠償金	-	0 円
	公債費	-	0 円	償還金・利子・割引料	-	0 円
	需用費	-	0 円	投資及び出資金	-	0 円
	役務費	-	0 円	寄附金	-	0 円
	委託料	-	40,000 円	積立金	-	0 円
	使用料・賃借料	-	0 円	公課費	-	0 円
	工事請負費	-	0 円	繰出金	-	0 円
				合計	0 円	40,000 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
		業務実施回数	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	業務実施回数	回	計画値	1	1	1	平成26年9月1日から平成26年10月31日までの期間中に実施	
			実績値	1	1	1		
				計画値				
				実績値				
				計画値				
			実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
<p>児湯郡内で特別急行列車が停車する駅は高鍋駅と都農駅の2駅のみであり、平成25年度にはクルーズトレイン「ななつ星in九州」の停車駅となるなど、景観整備の必要性は更に増したと考える。 また、駅ホーム正面には町の輩出した偉人である石井十次氏の生誕100年の記念碑が設置されており、今後は記念碑及びその周辺も事業の対象にすべきであると考えます。</p>		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・事業というにはマイクロすぎる感がある。駅舎一体の観光・交通事業の一部として計上してもらいたい。
 ・評価が困難な事業であるため、とりあえず維持
 ・コスト拡充の目的と積算根拠は何か不明だが、もともとの事業が始まった経緯もはっきりせず、事務事業評価に馴染まない。
 ・植栽地どこの所有か確認を。

評価表

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号		記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	--	--------	----	------------	---

事務事業名	大時計台保守点検事業					
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	高鍋大橋北詰に設置する大時計台の保守点検を宮崎総合通信システムに委託し、管理を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	4-3 観光交流のまち	(1) 観光交流の振興	観光資源の整備
	-	-	-
	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)

基本方針

- 「高鍋町観光振興基本計画」を策定し、官民協働による魅力ある観光地づくりを推進します。
- 観光関係施設の適正な維持管理及び保全・整備を図ります。
- 観光客が容易に町内を移動できるよう、わかりやすい案内標識等の設置に努めます。
- 高鍋大師花守山整備事業を推進します。
- 高鍋海水浴場・キャンプ村への誘客を図ります。
- 高鍋湿原や四季彩のむらと連携し、美食温泉めいりんの湯への集客を図ります。
- 持田古墳群・高鍋大師への交通環境の充実を図るとともに、長期的展望にたった持田古墳群の整備に努めます。
- 本町の玄関口として高鍋駅舎の活用方法を検討します。
- 町内の観光資源を巡る散策マップ等の作成に努めます。

主要な成果

「時間の励行日本一」を目指す高鍋町のシンボルのひとつである高鍋大橋北詰の大時計台の保守点検を行った。点検は年度内に3回実施し、時計部分・太陽光パネルの拭き上げ、基礎部分の雑草の除去、時計部分の防水パッキンの補修作業を併せて行っている。
また、時計台の南側面は観光PRを兼ねた看板を掲示しており、8月には『きゃべつ畑のみまわり祭り』への付け替えを行った。

決算額	商工費			観光費		
	款	項	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	0 円
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円
	委託料	— 円	155,520 円	積立金	— 円	0 円
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円
				合計	0 円	155,520 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
		点検回数	

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	点検回数		計画値	3	3	3	電気時計保守点検 2回/年 外部点検 1回/年
			実績値	3	3	3	
			計画値				
		実績値					
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
昭和62年の完成以降、「時間の励行日本一」を目指す当町のシンボルとなってきた大時計台の保守点検事業である。平成23年度に改修を行っているが、経年による塗装の劣化、金属部分の腐食がみられる。町のシンボルとしての側面のほか、広告塔としての役割も果たしていることから、今後も事業を継続し、時計台の存続に努めたい。また、劣化・腐食部分については、国・県補助金等を活用した補修・改修を視野に入れて検討していく。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・現在の存在意義はかすんでいるが、改修からあまり経っていないため即廃止の判断も悩ましいところだが、方向性を検討しコスト縮減を図ってほしい。
 ・今後の時計台の利活用に関し検討の上、本格的に判断(評価)すべき。
 ・大規模改修が必要となった時は、存続させなければならない施設かどうか十分に協議する必要がある。
 ・時計台の必要性を再度明確にする必要がある。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	324	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	防災ダム事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	宮田川の洪水調整を行う防災ダムを適正に管理するため、草刈・浚渫作業等を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	2-3 災害に強く、生活の安全が守られているまち	-	(3) 治水対策・土砂災害防止対策の推進	-	治水対策の推進
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●宮越樋管に十分な排水能力のあるポンプ場の設置を国土交通省へ要望していきます。 ●主要河川及び小河川の護岸改修や浚渫、水路の整備について国・県との連携により早期の整備に努めます。 ●都市下水路の定期的な浚渫を行い、排水断面の確保に努めます。 ●老朽化した「ため池」の適正な維持管理に努めます。
----------------	------	---

主要な成果	<p>宮田川の洪水調整を行う防災ダムを適正に管理するため、草刈・浚渫作業等を行った。平成26年度は、大雨により宮田川流域に被害がでたが、防災ダムの効果で被害を最小限にとどめることができた。</p>
-------	--

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農村施設費	細目	防災ダム費
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	-	0	原材料費	-	0		
賃金	-	0	公有財産購入費	-	0			
給料	-	0	備品購入費	-	0			
職員手当等	-	0	負担金補助・交付金	-	0			
共済費	-	0	扶助費	-	0			
報償費	-	0	貸付金	-	0			
旅費	-	0	補償補填・賠償金	-	0			
公債費	-	0	償還金・利息・割引料	-	0			
需用費	-	676,748	投資及び出資金	-	0			
役務費	-	663,494	寄附金	-	0			
委託料	-	0	積立金	-	0			
使用料・賃借料	-	919,280	公課費	-	0			
工事請負費	-	0	繰出金	-	0			
			合計	0	2,259,522			

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
下流側の浸水被害数	件	維持管理	回
		ダム本体点検	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	下流側の浸水被害数	件	目標値			0	
			実績値			0	
			目標達成率			#DIV/0!	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	維持管理	回	計画値			2	
			実績値			4	
	ダム本体点検	回	計画値			1	
実績値					1		
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は困難	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						
主管課(局)による評価							
この事務事業に対する考え						今後の方針	
宮田川下流域の防災の観点から、現状の体制で行う必要がある。しかしながら、施設が広大であるため、維持管理費に経費を要するため、予算の上乗せが必要である。						事業	コスト
						維持	拡充
内部評価	判定結果		コメント	<ul style="list-style-type: none"> 必要経費に限り拡充。県補助など財源確保の検討もお願いしたい。 草刈り等の経費が不足していることは理解できたが、県と維持管理経費の点で協議し、適正な維持管理を図ってほしい。 防災面から補助事業の採択など、新たな財源確保をもってコスト拡充を図る。 維持費は台風等天候に左右されるもので、通常経費の増額は無理と思われる。 防災に係るものであるから、経費は、必要に応じて拡充すべきもの。現段階では維持。 補助事業の、取り組みが必要 施設の必要性がある以上は維持管理、設備更新も必要となる。 			
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
維持	維持						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	326	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	農産物加工施設管理運営事業				
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	農産物加工施設(たかなべ食彩工房)を適切に維持管理し、高鍋町産の農産物等を特産品開発拠点施設として活用を図る。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	地産地消の推進
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)
 基本方針
 ●土づくりを基本とした農法の導入による有機農産物の生産拡大を図ります。
 ●農産物加工施設を有効に利用し、特産品開発による地元農産物の消費拡大を図ります。
 ●地元農産物を使用した料理の紹介や料理教室の開催による消費拡大を図ります。

主要な成果
 農産物加工施設(たかなべ食彩工房)を適切に維持管理し、高鍋町産の農産物等を特産品開発拠点施設として活用を図ることを目的に設置されている。利用者数も増加しており、地元農産物を使用した料理教室が開催され地元農産物の消費拡大につながった。

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農村施設費	細目	交流施設費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
	報酬		-		1,441,000	原材料費		-
賃金		-		0	公有財産購入費		-	0
給料		-		0	備品購入費		-	0
職員手当等		-		0	負担金補助・交付金		-	0
共済費		-		0	扶助費		-	0
報償費		-		0	貸付金		-	0
旅費		-		0	補償補填・賠償金		-	0
公債費		-		0	償還金・利息・割引料		-	0
需用費		-		585,983	投資及び出資金		-	0
役務費		-		47,039	寄附金		-	0
委託料		-		557,280	積立金		-	0
使用料・賃借料		-		67,392	公課費		-	0
工事請負費		-		0	繰出金		-	0
					合計		0	2,698,694

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
利用者数	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	利用者数	人	目標値			1,500	
			実績値			1,753	
			目標達成率			116.9%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
			計画値				
			実績値				
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
現在、利用者数は増加してきているが、形のある成果がほしい状況であり、事業としては、追加の方策が必要である。		事業	コスト
		拡充	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
拡充	維持		

・食育、商品開発等の取組は評価できるが、今後の方向性及び財源確保・経費圧縮の検討もしてほしい。
 ・今後の施設の位置付け、活用法の検討をしっかりと行い。有効活用を図る必要がある。
 ・温泉施設の付帯事業として建設せざるを得なかった施設であるが、目標にあるように高鍋の特産品開発が推進されるよう施設のPRを強化し、利用促進を図ること。
 ・この施設は農産物等の特産品開発拠点としているものであり、その目的に沿った事業を行ってほしい。
 ・運営方法の検討が必要
 ・本来の目的である「町産の農産物等を特産品開発拠点施設」としての事業展開が必要

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
温泉水の安全確保	回	施設確認	
		修繕	

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	温泉水の安全確保	回	目標値			2	
			実績値			2	
			目標達成率			100.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	施設確認		計画値			3	
			実績値			3	
	修繕		計画値				
			実績値				
			計画値				
実績値							

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
高鍋町の観光資源として、温泉の存続は重要である。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・修繕など必要経費に限り拡充だが、経営戦略を専門家に依頼するなど中長期的な立て直しの検討しても良いのかもしれない。
 ・施設の経年により費用が嵩んでいくのは仕方がない。年次的・計画的な施設管理のための方針を固めつつ、今後も柔軟な対応を行う必要があるのではないかと。
 ・施設が町内観光拠点の中核のひとつであることを考慮すると、一定の予算の投下が求められる。
 ・現状で投入費用が少ないので、コスト拡充かもしれないが、施設改修に関しては、設備も含めた更新計画を早急に作成し、収支改善目標も作成すること。
 ・運営委員会を通して経営状況の確認と取締役意識付けさせる必要を感じる。

施設の維持管理に対しては、当然しなければならないことであり計画的にすること。
 計画的な管理運営が必要
 事故防止等の観点からも適正な維持管理は必要となる。同時に維持コストについての精査も必要。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	328	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	農村公園・広場管理運営事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	農村公園・広場を適正に維持管理し、地域住民の憩いの場として活用を図る。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	—	中分類	—	施策方向
	2-1 自然環境や景観を大切にす まち	—	(2) 美しい景観の整備	—	公園・緑地の維持管理体制の確立
		—		—	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的な改修・整備を図ります。 ●町が管理する公園については、計画的に維持管理を行います。 ●地域住民との協働による維持管理を推進します。
----------------	------	---

主要な成果	町民が利用しやすい環境整備に努めており、定期的な維持管理をおこなうことで、美しい景観の整備に寄与している。
-------	---

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農村施設費	細目	交流施設費
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	131,000 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	0 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	238,012 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	9,800 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	299,160 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	3,000,000 円	繰出金	— 円	0 円		
				合計	0 円	3,677,972 円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
イベント数	回	草刈回数	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	イベント数	回	目標値			5	
			実績値			5	
			目標達成率			100.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	草刈回数	回	計画値			20	
			実績値			20	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり 過少である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は可能
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
維持管理をおこなっているが、作業が困難なところが多く、作業に苦慮している。機械等の拡充により作業能率を上げたい。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・協働による取組は評価できる。協働のすそ野を民間・業界へ広げられるとよい。
 ・斜面の草刈等管理(作業)が困難な箇所があるのは理解できるが、シルバー人材センターに依頼し複数の公園の作業を一度に行うなど創意工夫に努めてほしい。
 ・南高鍋の農村公園はラグビースクールの利用により併せて整備もしてもらっているので、他の公園も無料で貸出す代わりに管理をしてもらえる団体等の募集も検討してはどうか。
 ・高土手の管理方法を考えてほしい。

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	341	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	農業振興対策事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	町内生産者の資質向上と会員の親睦を図り、高鍋地区の農畜産業の発展に寄与する。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	農業経営基盤の強化
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地や耕作放棄地の解消に努めます。 ●地区単位での農用地の利用集積を図ります。 ●法人化による経営規模拡大、農業経営の安定化を図ります。 ●各種施策を活用し、農業経営に係る経費の負担軽減に努めます。 ●農業後継者や新規就農者への支援を行います。 ●高度な経営管理能力と技術力を備えた人材育成に努めます。 ●有害鳥獣による被害防止対策の支援に努めます。
	主要な成果	資質向上と会員の親睦を図り、高鍋地区の農畜産業の発展に寄与することが出来た。

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	細目	農業振興費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬		- 円	0 円	原材料費		- 円
	賃金		- 円	0 円	公有財産購入費		- 円	0 円
	給料		- 円	0 円	備品購入費		- 円	0 円
	職員手当等		- 円	0 円	負担金補助・交付金		- 円	687,000 円
	共済費		- 円	0 円	扶助費		- 円	0 円
	報償費		- 円	0 円	貸付金		- 円	0 円
	旅費		- 円	0 円	補償補填・賠償金		- 円	0 円
	公債費		- 円	0 円	償還金・利息・割引料		- 円	0 円
	需用費		- 円	0 円	投資及び出資金		- 円	0 円
	役務費		- 円	0 円	寄附金		- 円	0 円
	委託料		- 円	0 円	積立金		- 円	0 円
	使用料・賃借料		- 円	0 円	公課費		- 円	0 円
	工事請負費		- 円	0 円	繰出金		- 円	0 円
					合計		0 円	687,000 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
町内農業者による農業振興	%	各種検討会、研修会の開催達成度	%

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	町内農業者による農業振興	%	目標値	100	100	100	
			実績値	100	100	100	
			目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	各種検討会、研修会の開催達成度	%	計画値	100	100	100	
			実績値	100	100	100	
				計画値			
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
研修会、検討会を通して、農作物の品質向上につながるのももちろんのこと、ベテラン層と若年層の交流にもつながる。しかし、農作物の価格下落、資材の高騰など、生産者を取巻く環境は悪化の一途であり、このような研修会等は縮小傾向をたどり、生産者の意欲減退、横の繋がりの希薄化につながっている。しかるに、町の農業振興のために本事業は必要不可欠である。なお、支援団体は農業のみならず、本町イベント、事業にも多数、参加協力いただいている。また、本事業は木城町及び新富町と共通の事業である。	事業	コスト	
	拡充	拡充	

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・事業そのものは必要と思われるが費用対効果や算定基礎が測れないので、近隣町とのバランスも考慮いただきたい。
 ・本事業を拡充することで、本当に本町の農業振興が果たせるのか。
 ・JA各部会の研修費としての効果があるのか、補助金に見合う事業内容となっているのか不明。
 ・JA児湯管内3町の統一した補助基準を設けることが指摘されてきたが、現在はどうなっているのか。
 ・平成27年度に農協青年部、女性部への補助金拡充。
 ・補助金額の設定について他町の状況も考慮に入れるなど周辺町と統一できないか

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

341

事務事業名		農業振興対策事業				
補助事業 1	補助事業名	農業振興対策事業補助金		補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	児湯農業協同組合、花き生産組合、茶振興会		補助金要綱	農業振興対策事業補助金要綱	
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	717	千円 終期 29	
	前年度 決算	交付団体への補助額	652	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額	4,403	千円	各部署に補助金を出す意義が不明である。(H23)	
		交付団体の決算総額に占める割合	14.8	%	・JA児湯管内3町の統一した補助基準が設けられることを期待する。(H23)	
		交付団体の繰越額決算	11	千円	○3町で検討することで現段階は維持。(H26)	
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる				
	町民の理解を得られるか	得られる				
○高鍋町単独での金額の増額はできない(新富○木城町と協議のうえ決定)。(H26)						
○各農家の方と接する機会はここしかない。(H26)						
○農協も補助金を出している(町以上の金額)。(H26)						
○補助交付にあたっては関係町との協議による判断を要す。(H26)						
補助事業 2	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか					
	町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか					
	町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名			補助区分		
	補助対象			補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円 終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等	
		交付団体の決算総額		千円		
		交付団体の決算総額に占める割合		%		
		交付団体の繰越額決算		千円		
	事務事業評価		自己評価			
公益性	不特定多数の利益につながるか					
	町民の理解を得られるか					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	350	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋町優良雌牛導入事業				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	優良雌牛の導入を奨励することにより、本町和牛の名声を高めるとともに、牛の増頭及び農家経済の向上と価格の安定を図る。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	農業経営基盤の強化
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地や耕作放棄地の解消に努めます。 ●地区単位での農用地の利用集積を図ります。 ●法人化による経営規模拡大、農業経営の安定化を図ります。 ●各種施策を活用し、農業経営に係る経費の負担軽減に努めます。 ●農業後継者や新規就農者への支援を行います。 ●高度な経営管理能力と技術力を備えた人材育成に努めます。 ●有害鳥獣による被害防止対策の支援に努めます。
----------------	------	--

主要な成果	優良なメス牛の増頭及び農家経済の向上と価格の安定を図ることが出来た。
-------	------------------------------------

決算額	款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業費	細目	畜産業費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-	円	0	原材料費	-	円
	賃金	-	円	0	公有財産購入費	-	円	0
	給料	-	円	0	備品購入費	-	円	0
	職員手当等	-	円	0	負担金補助・交付金	-	円	100,000
	共済費	-	円	0	扶助費	-	円	0
	報償費	-	円	0	貸付金	-	円	0
	旅費	-	円	0	補償補填・賠償金	-	円	0
	公債費	-	円	0	償還金・利息・割引料	-	円	0
	需用費	-	円	0	投資及び出資金	-	円	0
	役務費	-	円	0	寄附金	-	円	0
	委託料	-	円	0	積立金	-	円	0
	使用料・賃借料	-	円	0	公課費	-	円	0
	工事請負費	-	円	0	繰出金	-	円	0
					合計	0	円	100,000

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
地域ブランドの確立	頭	優良雌牛としての条件確立	頭

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	地域ブランドの確立	頭	目標値	9	9	9	優良雌牛の価格が跳ね上がり続けており、補助があっても購入を留まる傾向にある
			実績値	4	2	1	
			目標達成率	44.4%	22.2%	11.1%	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	優良雌牛としての条件確立	頭	計画値	9	9	9	
			実績値	4	2	1	
				計画値			
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
優良雌牛の導入を奨励することにより、本町和牛の名声を高めるとともに、牛の増頭及び農家所得向上と価格の安定を図るために必要な事業である。優良雌牛の価格が跳ね上がり続けており、補助があっても購入を留まる傾向にある。しかし、口蹄疫以降の導入牛の更新が始まりつつあり、今後において、特に必要な事業である。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・ある程度の補助は必要と思われるが、公費投入をどこまでするか方よがないようある程度の見極めが必要か。
 ・補助金が特定の畜産農家の資産形成につながっていることに若干の抵抗はあるが、とりあえず現状維持(ただし、補助基準等の見直しは必要)。
 ・考え方として、口蹄疫以降の導入牛の更新が始まりつつあり、今後において特に必要な事業である。とのことだが、口蹄疫以降の更新は今さら新規に飼養を始める農家もいないだろうし、補助実績が低いのであれば補助金の廃止、変更も必要であろう。
 ・今後は一頭当たりの上限を引き上げることは考えられないか。
 ・雌牛が購入価格が高いならそれなりの検討を。
 ・導入促進を図るためには補助内容見直しの余地あり

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

350

事務事業名		高鍋町優良雌牛導入事業					
補助事業 1	補助事業名	優良雌牛導入事業補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	町内在住畜産農家及び畜産経営を予定している農家			補助金要綱	優良雌牛導入事業補助金要綱	
	補助の性質	奨励的補助	今年度補助額	1,200	千円	終期	29
	前年度決算	交付団体への補助額	100	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	770	千円	H25 6号補正で△1,803千円減 ◎口蹄疫からの復興のためにも必要な事業である。(H25) ◎単価を増やせば件数が増えるならば考慮すべきと思うが、現状の単価で受益者負担が十分であるのならば、コスト縮小が良いと思う。(H25) ◎今後の、事業方針はどうするのか。(H25) ◎必要な事業とは判断できるが、予算に実績が伴わないので、予算は減額しても良いのではないか。(H25) ◎継続すべき事業と考えるが、予算に実績が伴っていない。(H26) ◎年間2頭程度(補助対象)で補助の目的を達成できているといえるのか？。(H26) ◎農家所得の向上と価格安定のほか優良牛の確保にも効果が期待できる		
		交付団体の決算総額に占める割合	13	%			
		交付団体の繰越額決算	0	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	354	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	有害鳥獣捕獲班活動支援事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	農林水産物及び地域住民に被害をもたらす有害鳥獣の捕獲・駆除を行う。					

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください				
---------	--------	----------------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	農業経営基盤の強化
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地や耕作放棄地の解消に努めます。 ●地区単位での農用地の利用集積を図ります。 ●法人化による経営規模拡大、農業経営の安定化を図ります。 ●各種施策を活用し、農業経営に係る経費の負担軽減に努めます。 ●農業後継者や新規就農者への支援を行います。 ●高度な経営管理能力と技術力を備えた人材育成に努めます。 ●有害鳥獣による被害防止対策の支援に努めます。
	主要な成果	農林水産物及び地域住民が受けた被害の対象有害鳥獣の一部駆除が出来た。

決算額	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業総務費	細目	鳥獣行政事務費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	— 円		0 円	原材料費	— 円	
	賃金	— 円		0 円	公有財産購入費	— 円		0 円
	給料	— 円		0 円	備品購入費	— 円		0 円
	職員手当等	— 円		0 円	負担金補助・交付金	— 円		0 円
	共済費	— 円		0 円	扶助費	— 円		0 円
	報償費	— 円		240,000 円	貸付金	— 円		0 円
	旅費	— 円		0 円	補償補填・賠償金	— 円		0 円
	公債費	— 円		0 円	償還金利子・割引料	— 円		0 円
	需用費	— 円		0 円	投資及び出資金	— 円		0 円
	役務費	— 円		35,020 円	寄附金	— 円		0 円
	委託料	— 円		0 円	積立金	— 円		0 円
	使用料・賃借料	— 円		0 円	公課費	— 円		0 円
	工事請負費	— 円		0 円	繰出金	— 円		0 円
					合計	0 円		275,020 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
鳥獣被害の軽減	頭	有害鳥獣捕獲	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	鳥獣被害の軽減	頭	目標値	3	3	3	
			実績値	0	1	8	
			目標達成率	0.0%	33.3%	266.7%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	有害鳥獣捕獲	回	計画値	10	10	10	
			実績値	10	8	10	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
町内の農産物の生産基盤の保持のため、必要な事業であると判断する。農林水産物に対する鳥獣被害を防止する有害鳥獣捕獲事業は、農林水産業の保護の一環として非常に公益性の高いものである。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・近隣町の動向や必要経費を的確に補足したうえで不足分に限り拡充していただきたい。
 ・現状において一定の効果が得られているのであれば維持し、有害鳥獣の被害予想に応じて事業、コストの軽重を勘案すべき。
 ・昨年は、内部委員会の維持の方向性である。拡充の場合、何をどのように拡充する考えか。
 ・仕事を持ちながら捕獲に出てもらっているため、報償費の引上げも必要か。
 ・隣接する町の境界付近の連携した取り組みについて連携して欲しいとの意見が多い。
 ・有害鳥獣捕獲に支障がきたすようであれば、拡充だが、現状では維持。
 ・他町村の実施状況を調べる

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

354

事務事業名		有害鳥獣捕獲班活動支援事業					
補助事業 1	補助事業名	有害鳥獣捕獲班活動支援事業補助金		補助区分	特定財源のみの補助事業		
	補助対象	有害鳥獣駆除班が行う有害鳥獣の駆除活動		補助金要綱	有害鳥獣捕獲班活動支援事業補助金要綱		
	補助の性質	国県補助	今年度補助額	51	千円	終期	無し
	前年度 決算	交付団体への補助額	51	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	51	千円	※全て特定財源 H24 4号補正により19千円減額、H25 3号補正で1千円増額 ○全額県費であり、維持。(H26) ○どのくらいの効果があるのか不明。(H26) ○町が実施している事業(マイスター○電柵補助)を充実させる方が効果があるのではないか？。(H26) H26 4号補正で6千円増		
		交付団体の決算総額に占める割合	100	%			
		交付団体の繰越額決算	0	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 2	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名			補助区分			
	補助対象			補助金要綱			
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	361	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	松くい虫薬剤防除委託事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	防風林であり、海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、薬剤防除を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	(1) 適正な土地利用の推進	森林地域の形成
	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「森林地域整備計画」の見直しを随時行いながら適正な森林管理に努めます。 ●松食い虫の被害防止策等による潮害防備保安林の適切な管理に努めます。 ●景観に悪影響を及ぼす枯れ松の伐倒駆除を計画的に行います。 ●町有林等の適切な管理に努めます。
	主要な成果	海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、薬剤防除を行い、松林の適正な管理に努めることが出来た。

決算額	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	細目	松くい虫防除委託事業
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	0 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	0 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	0 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	0 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	0 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	0 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	1,335,960 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	0 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円		
			合計	0 円	1,335,960 円			

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
松くい虫の防除	ha	松くい虫薬剤防除	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	松くい虫の防除	ha	目標値	13	13	13	次年度は調査を行いH27防除必要箇所面積(10ha)に応じた目標設定とする。	
			実績値	13	13	13		
			目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	松くい虫薬剤防除	回	計画値	2	1	1		
			実績値	2	1	1		
				計画値				
				実績値				
				計画値				
			実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
蚊口浜近辺の松林は、防風林潮害保全であると同時に、海岸線の景観に寄与しており、町の財産でもある。松を枯死させる松くい虫の被害は年々増加しており、継続的な薬剤防除が必要である。松林の殆どは町の財産であり、防風潮害保安林としての役目もあることから、公益性は非常に高い。その年の防除必要面積を毎年確認し、適正な防除面積の実施に努める。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・現在でも一定の効果は得られている。拡充するまではないのではないか。
 ・H26内部委員会は維持の方向性。拡充は、どのように進めていくのか。
 ・樹幹注入より広範囲に実施できるが、空中防除はできないので効果は樹幹注入より悪いなら、樹幹注入に変更すべきではないか。
 ・樹幹注入と併せ効果がある方法で行ってもらいたい。
 ・計画的に実施していくことが必要
 ・費用対効果により散布と樹幹注入のバランスを考慮する必要あり

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	363	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	松くい虫薬剤樹幹注入委託事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	防風林であり、海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、樹幹注入による薬剤防除を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	(1) 適正な土地利用の推進	森林地域の形成
	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「森林地域整備計画」の見直しを随時行いながら適正な森林管理に努めます。 ●松食い虫の被害防止策等による潮害防備保安林の適切な管理に努めます。 ●景観に悪影響を及ぼす枯れ松の伐倒駆除を計画的に行います。 ●町有林等の適切な管理に努めます。
	主要な成果	海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、樹幹注入による薬剤防除を行い松林の適正な管理に努めることが出来た。

決算額	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	細目	松くい虫防除委託事業
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	- 円	0 円	原材料費	- 円	0 円		
	賃金	- 円	0 円	公有財産購入費	- 円	0 円		
	給料	- 円	0 円	備品購入費	- 円	0 円		
	職員手当等	- 円	0 円	負担金補助・交付金	- 円	0 円		
	共済費	- 円	0 円	扶助費	- 円	0 円		
	報償費	- 円	0 円	貸付金	- 円	0 円		
	旅費	- 円	0 円	補償補填・賠償金	- 円	0 円		
	公債費	- 円	0 円	償還金・利子・割引料	- 円	0 円		
	需用費	- 円	0 円	投資及び出資金	- 円	0 円		
	役務費	- 円	0 円	寄附金	- 円	0 円		
	委託料	- 円	2,276,000 円	積立金	- 円	0 円		
	使用料・賃借料	- 円	0 円	公課費	- 円	0 円		
	工事請負費	- 円	0 円	繰出金	- 円	0 円		
			合計	0 円	2,276,000 円			

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
松くい虫の防除	本	松くい虫薬剤樹幹注入	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	松くい虫の防除	本	目標値	88	88	130	
			実績値	44	129	92	
			目標達成率	50.0%	146.6%	70.8%	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	松くい虫薬剤樹幹注入	回	計画値	1	2	1	
			実績値	1	1	1	
				計画値			
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
蚊口浜付近の松林は、防風林潮害保安林であると同時に、海岸線の景観に寄与している。松林の殆どは町の財産であり、防風潮害保安林としての役目もあることから、公益性は非常に高い。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・現在でも一定の効果は得られている。拡充するまではないのではないか。
 ・H26の内部委員会は維持の方向性。
 ・薬剤防除委託から樹幹注入へ変更した方が効果があがるのではないか。
 ・計画的に実施していくことが必要
 ・費用対効果により散布と樹幹注入のバランスを考慮する必要あり

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	364	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	蚊口墓地枯れ松伐倒駆除事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり	
事業の内容	枯れて倒木の恐れのある樹高のある松を処分し、近隣住民及び墓利用者の安全・安心を図る。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	-	(1) 適正な土地利用の推進	-	森林地域の形成
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 「森林地域整備計画」の見直しを随時行いながら適正な森林管理に努めます。 ● 松食い虫の被害防止策等による潮害防備保安林の適切な管理に努めます。 ● 景観に悪影響を及ぼす枯れ松の伐倒駆除を計画的に行います。 ● 町有林等の適切な管理に努めます。
----------------	------	--

主要な成果	枯れて倒木の恐れのある樹高のある松を処分し、近隣住民及び墓利用者の安全・安心を図れた。
-------	---

決算額	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	細目	松くい虫防除委託事業	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	
	報酬			- 円	0 円	原材料費		- 円	0 円
賃金			- 円	0 円	公有財産購入費		- 円	0 円	
給料			- 円	0 円	備品購入費		- 円	0 円	
職員手当等			- 円	0 円	負担金補助・交付金		- 円	0 円	
共済費			- 円	0 円	扶助費		- 円	0 円	
報償費			- 円	0 円	貸付金		- 円	0 円	
旅費			- 円	0 円	補償補填・賠償金		- 円	0 円	
公債費			- 円	0 円	償還金・利息・割引料		- 円	0 円	
需用費			- 円	0 円	投資及び出資金		- 円	0 円	
役務費			- 円	0 円	寄附金		- 円	0 円	
委託料			- 円	4,100,000 円	積立金		- 円	0 円	
使用料・賃借料			- 円	0 円	公課費		- 円	0 円	
工事請負費			- 円	0 円	繰出金		- 円	0 円	
					合計		0 円	4,100,000 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
駆除本数	本	被害松の伐倒駆除	本
構築物の破壊	件		
人身事故	件		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	駆除本数	本	目標値		45	31	H24年枯れ松調査時以降に更に枯れ松が増えており、H27年において再度調査し、目標本数の訂正を行う。
			実績値		14	27	
			目標達成率		31.1%	87.1%	
構築物の破壊	件	目標値		0	0		
		実績値		0	0		
		目標達成率		#DIV/0!	#DIV/0!		
人身事故	件	目標値		0	0		
		実績値		0	0		
		目標達成率		#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	被害松の伐倒駆除	本	計画値		45	31	
			実績値		14	27	
				計画値			
				実績値			
			計画値				

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり 適切である
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
枯れ松被害は、薬剤防除・薬剤樹幹注入を行うも、ここ数年で相当本数が被害に遭っている。被害に遭った松は、被害を食い止めるためにも早急に伐倒駆除する必要がある。また、枯れた松は、倒伏しやすく、いつ何時倒伏し、墓石等の破壊や人身事故を巻き起こす可能性がある。今後、できるだけ早く枯れた松の伐倒駆除を行う必要がある。また、H24年枯れ松調査時以降に更に枯れ松が増えており、H27年において再度調査し、今後事業の方針について再度検討する。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・現在でも一定の効果は得られている。拡充するまではしないのではないかと。
 ・倒木による墓石の被害が発生したが、保険で対処できたので助かったが、早めの対応が望まれる。
 ・危険度が高い枯松は、早急に伐倒する必要性あり。
 ・計画的に実施していくことが必要
 ・安全確保のためには必要

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	367	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	小丸川魚種放流委託事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	小丸川へアユの稚魚を放流することにより、小丸川に生息する魚種の生息数の回復を図るとともに環境保護に資することを目的とする。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	水産業の振興
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	●河川や海への稚魚や稚貝の放流による漁量の増加を図ります。
----------------	------	-------------------------------

主要な成果	アユ(稚魚)を放流することによって、小丸川に生育する魚類の生息数の回復を図るとともに環境保護に資することが出来た。
-------	---

決算額	款	農林水産業費		水産業費		目	水産業振興費		水産業振興費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	
	報酬		— 円		0 円	原材料費		— 円		0 円
賃金		— 円		0 円	公有財産購入費		— 円		0 円	
給料		— 円		0 円	備品購入費		— 円		0 円	
職員手当等		— 円		0 円	負担金補助・交付金		— 円		0 円	
共済費		— 円		0 円	扶助費		— 円		0 円	
報償費		— 円		0 円	貸付金		— 円		0 円	
旅費		— 円		0 円	補償補填・賠償金		— 円		0 円	
公債費		— 円		0 円	償還金・利子・割引料		— 円		0 円	
需用費		— 円		0 円	投資及び出資金		— 円		0 円	
役務費		— 円		0 円	寄附金		— 円		0 円	
委託料		— 円		300,000 円	積立金		— 円		0 円	
使用料・賃借料		— 円		0 円	公課費		— 円		0 円	
工事請負費		— 円		0 円	繰出金		— 円		0 円	
					合計		0 円		300,000 円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
放流量(アユ)	kg	放流量(アユ)	kg

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	放流量(アユ)	kg	目標値	70	70	70	
			実績値	70	70	70	
			目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	放流量(アユ)	kg	計画値	70	70	70	
			実績値	70	70	70	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補充の関係にある		適切である
	行政が行うべき事業か	民間でも可能	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
小丸川漁業協同組合も本事業と併せて同量以上の自主放流を実施することで受益者による費用負担も行われており、事業目的からみても町が行う事業として適切と判断できる。小丸川に生息する魚類の生息数回復のために必要な事業と考える。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・小丸川漁業協同組合の意向もある。とりあえず維持で。
 ・地方自治体には内水面漁業振興法第12条により内水面水産資源の放流に努めなければならない。
 ・小丸川漁協も併せて同量以上の自主放流を実施する必要があるため、漁協から拡充の要望があるなら検討すべきである。
 ・効果が明確でないが、継続的に行うべきであろう。
 ・成果はどうか
 ・事業の目的を整理する必要がある

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	368	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	稚貝放流委託事業					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	蚊口浜において、サザエ、アワビ稚貝の放流を委託する。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	-	(1) 活力ある農林水産業の振興	-	水産業の振興
		-		-	
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	●河川や海への稚魚や稚貝の放流による漁量の増加を図ります。
----------------	------	-------------------------------

主要な成果	アワビ・サザエ稚貝を蚊口浜に放流することによって、蚊口浜の資源増加を図るとともに環境保護に資することが出来た。
-------	---

決算額	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	細目	水産業振興費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬		- 円	0 円	原材料費		- 円
	賃金		- 円	0 円	公有財産購入費		- 円	0 円
	給料		- 円	0 円	備品購入費		- 円	0 円
	職員手当等		- 円	0 円	負担金補助・交付金		- 円	0 円
	共済費		- 円	0 円	扶助費		- 円	0 円
	報償費		- 円	0 円	貸付金		- 円	0 円
	旅費		- 円	0 円	補償補填・賠償金		- 円	0 円
	公債費		- 円	0 円	償還金・利息・割引料		- 円	0 円
	需用費		- 円	0 円	投資及び出資金		- 円	0 円
	役務費		- 円	0 円	寄附金		- 円	0 円
	委託料		- 円	150,000 円	積立金		- 円	0 円
	使用料・賃借料		- 円	0 円	公課費		- 円	0 円
	工事請負費		- 円	0 円	繰出金		- 円	0 円
					合計		0 円	150,000 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
放流量(アワビ)	kg	放流量(アワビ)	kg
放流量(サザエ)	kg	放流量(サザエ)	kg

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	放流量(アワビ)	kg	目標値		3	3	
実績値				3	3	3	
目標達成率				100.0%	100.0%	100.0%	
放流量(サザエ)	kg	目標値		40	40	40	
		実績値		40	40	40	
		目標達成率		100.0%	100.0%	100.0%	
				目標値			
				実績値			
				目標達成率			
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	放流量(アワビ)	kg	計画値	3	3	3	
実績値			3	3	3		
放流量(サザエ)	kg	計画値	40	40	40		
		実績値	40	40	40		
				計画値			
				実績値			

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補充の関係にある		適切である
	行政が行うべき事業か	民間でも可能	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
高鍋町カキ生産組合も本事業と併せて同量以上の自主放流を実施することで受益者負担も行われており、事業目的からみても町が行う事業として適切と判断できる。蚊口浜の自然環境保全と沿岸漁業振興のために必要である。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・稚貝の購入価格が高騰した中、事業規模を現状どおり進めるとするとコストは拡充するしかない。
 ・稚貝の価格上昇によりコスト高は致し方ないと判断せざるを得ない。
 ・コスト拡充は、アワビが高騰していることからだが、コスト的には現状維持で。
 ・成果はどうか
 ・事業の目的を整理する必要がある

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	591	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋町農業後継者結婚相談事業				
担当課(局)・係	農業委員会	農地農政係	記入者	三笠 浩三	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	次世代の農業の担い手となる農業青年を結婚へと導くことにより、農業に希望と意欲の持てる環境を構築する。 ・結婚相談員による結婚相談や交流会、お見合いの実施 ・結婚が成就した場合、祝い金(50,000円)、仲介報奨金(10,000円)、結婚奨励金(10,000円)を支給				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	—	中分類	—	施策方向
	4-1 活力ある産業が育つまち	—	(1) 活力ある農林水産業の振興	—	農業経営基盤の強化
	—	—	—	—	—

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地や耕作放棄地の解消に努めます。 ●地区単位での農用地の利用集積を図ります。 ●法人化による経営規模拡大、農業経営の安定化を図ります。 ●各種施策を活用し、農業経営に係る経費の負担軽減に努めます。 ●農業後継者や新規就農者への支援を行います。 ●高度な経営管理能力と技術力を備えた人材育成に努めます。 ●有害鳥獣による被害防止対策の支援に努めます。
----------------	------	--

主要な成果	平成26年度は1組の会員結婚が成立した。推進活動としては染ヶ岡地区環境保全協議会との共催により婚活イベント「ひまわりKON. Ne2014」を開催し、独身男女の交流の場の提供を行った。 ・開催日 平成26年8月16日(土) ・開催場所 染ヶ岡ひまわり畑 ・参加者数 男性19名 女性23名 合計42名
-------	---

決算額	款	農林水産業費		農業費		目	農業委員会費		事務局費		
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		
	報酬	—	円	0	円	原材料費	—	円	0	円	
	賃金	—	円	0	円	公有財産購入費	—	円	0	円	
	給料	—	円	0	円	備品購入費	—	円	0	円	
	職員手当等	—	円	0	円	負担金補助・交付金	—	円	100,000	円	
	共済費	—	円	0	円	扶助費	—	円	0	円	
	報償費	—	円	0	円	貸付金	—	円	0	円	
	旅費	—	円	0	円	補償補填・賠償金	—	円	0	円	
	公債費	—	円	0	円	償還金・利息・割引料	—	円	0	円	
	需用費	—	円	0	円	投資及び出資金	—	円	0	円	
	役務費	—	円	0	円	寄附金	—	円	0	円	
	委託料	—	円	0	円	積立金	—	円	0	円	
	使用料・賃借料	—	円	0	円	公課費	—	円	0	円	
	工事請負費	—	円	0	円	繰出金	—	円	0	円	
						合計		0	円	100,000	円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
結婚の組数	組	お見合い	回
農業者年金の新規加入者数	人	役員研修会	回
		交流会	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	結婚の組数	組	目標値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
			目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
農業者年金の新規加入者数	人	目標値	3	3	3		
		実績値	5	3	4		
		目標達成率	166.7%	100.0%	133.3%		
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	お見合い	回	計画値	1	1	1	
			実績値	2	1	0	
	役員研修会	回	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
	交流会	回	計画値	1	1	1	
実績値			1	1	1		

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合性は低いが高重要性が高い
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
農業後継者は、出会いの場が少なく人生の伴侶の選択肢が非常に少なく婚期が遅れたり、未婚の後継者も多い。農村地域の活性化のためには、農業者の豊かな家庭育成が必要であり農業委員会として取り組むべき事業と考える。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・地方創生の推進のためには拡充すべき事業である。
 ・農家の後継者不足は基幹産業の後退を余儀なくする要因となるので、農家の息子、娘も含めて花嫁・花婿対策が求められると思う。
 ・継続してもらいたい。
 ・農業後継者以外に対象を広げる事業展開の可能性あり

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	125	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋駅前自動車等駐車場管理事業				
担当課(局)・係	建設管理課	管理係	記入者	兒玉博幸	
事業期間	H26年度～	H28年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告 掲載なし
事業の内容	JR高鍋駅利用者の駐輪駐車場の確保及びJR高鍋駅の利用促進を図るとともに、公共交通機関の利用促進と道路交通の円滑化を図るため、高鍋駅前に自動車等駐車場を設置し、利用者の利便性向上と円滑な管理運営を行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	-	(6) 公共交通の充実	-	公共交通機関の利便性の向上
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●地域特性や町民ニーズに即した公共交通の活性化に取り組みます。 ●「地域公共交通総合連携計画」に基づき、効率的で持続可能な公共交通体系の構築に取り組みます。 ●各交通事業者と連携を図り、利用促進に努めます。 ●高鍋駅前自動車等駐車場の適正な管理に努めます。
----------------	------	---

主要な成果	<p>駐車場利用者の利便性向上のため、設備等の適切な維持管理を行うとともに、定期券などの発行業務を行い、路上駐車防止による道路交通の円滑化及びJR高鍋駅利用者の向上が図られた。</p>
-------	--

決算額	款	商工費	項	商工費	目	自動車等駐車場費	細目	自動車等駐車場管理
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-	円	0	原材料費	-	円
	賃金	-	円	0	公有財産購入費	-	円	0
	給料	-	円	0	備品購入費	-	円	0
	職員手当等	-	円	0	負担金補助・交付金	-	円	0
	共済費	-	円	0	扶助費	-	円	0
	報償費	-	円	0	貸付金	-	円	0
	旅費	-	円	0	補償補填・賠償金	-	円	0
	公債費	-	円	0	償還金・利息・割引料	-	円	0
	需用費	1,472,511	円	831,332	投資及び出資金	-	円	0
	役務費	54,345	円	55,525	寄附金	-	円	0
	委託料	1,447,950	円	1,618,920	積立金	-	円	0
	使用料・賃借料	505,380	円	512,606	公課費	-	円	0
	工事請負費	-	円	0	繰出金	-	円	0
					合計	3,480,186	円	3,018,383

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
年間利用者数	人	定期点検	回
定期券発行数	枚	放置自転車確認巡回	回
収入	円	放置自転車撤去台数	台

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	年間利用者数	年間利用者数	人	目標値	24,000	24,000	
実績値				20,490	21,582	18,932	
目標達成率				85.4%	89.9%	78.9%	
定期券発行数		枚	目標値	500	500	500	
			実績値	536	595	526	
			目標達成率	107.2%	119.0%	105.2%	
収入		円	目標値	6,500,000	6,500,000	6,500,000	
			実績値	6,305,010	6,695,170	6,066,900	
			目標達成率	97.0%	103.0%	93.3%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	定期点検	回	計画値	40	24	24	
			実績値	24	24	24	
	放置自転車確認巡回	回	計画値	40	24	24	
			実績値	24	24	24	
	放置自転車撤去台数	台	計画値	12	12	24	
			実績値	24	52	12	

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は可能	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針		
高鍋駅前には他に駐輪場等がなく、これからも駐輪・駐車場利用者とJR高鍋駅利用者の利便性向上を図るため必要である。			事業	コスト
			維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・遊休地の活用などさらなる財源確保を図っていただきたい。
 ・維持としているが、駐車場に対するニーズに対し今の駐車区画(スペース)で対応できないのであれば拡充の方がよい。
 ・駅舎の改修に合わせて機械更新も考えておくこと。
 ・自動車駐車場の拡充の検討を。
 ・内容の検討
 ・設備更新、敷地拡大等に取組む場合には駅舎の改修整備と一体的に検討を図る必要あり

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	129	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	道路維持管理事業(沿道整備)					
担当課(局)・係	建設管理課	管理係	記入者	兒玉博幸		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	町民の安全で快適な利用ができるよう、町道の迅速かつ適切な維持管理を行う。					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	-	(5) 道路環境の整備	-	町道の整備
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	-	(5) 道路環境の整備	-	沿道景観の整備

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区等から寄せられる要望等について優先度を考慮した計画的な整備を推進します。 ●安全で快適な道路整備、維持管理に努めます。 ●国や県の補助事業の積極的な活用を図ります。 ●交通安全対策として、交通事故多発地点の解消や見通しの悪い交差点の改良、歩道の整備促進及びバリアフリー化を推進し、道路環境の改善に努めます。 ●町民との協働による道路環境美化に引き続き取り組み、新たに協働する地域の拡大を図ります。
----------------	------	--

主要な成果	道路を安全に安心して利用できるよう、パトロールにより異常の早期発見に努め維持・補修を行い、より快適な道路機能の維持に寄与することができた。 また、地区が行った道路愛護作業については、住民による道路美化環境意識の高揚と協働によるまちづくりを推進することができた。
-------	---

決算額	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路維持費	細目	道路維持費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-		0	原材料費	727,145	円
	賃金	3,118,750		3,050,000	公有財産購入費	-	円	0
	給料	-		0	備品購入費	-	円	0
	職員手当等	-		0	負担金補助・交付金	-	円	0
	共済費	-		0	扶助費	-	円	0
	報償費	663,250		886,935	貸付金	-	円	0
	旅費	-		0	補償補填・賠償金	-	円	0
	公債費	-		0	償還金利子・割引料	-	円	0
	需用費	4,224,549		5,239,508	投資及び出資金	-	円	0
	役務費	868,157		4,105,160	寄附金	-	円	0
	委託料	-		1,000,000	積立金	-	円	0
	使用料・賃借料	300,000		252,800	公課費	31,600	円	33,600
	工事請負費	10,340,000		2,161,440	繰出金	-	円	0
					合計	20,273,451	円	17,742,903

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
要望箇所道路補修	件	道路パトロール	回
地区における道路愛護作業	地区		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	要望箇所道路補修	件	目標値				予算が限られており、優先順位の高い要望から取り組んでいった。
			実績値	32	39	35	
			目標達成率				
地区における道路愛護作業	地区	目標値				前年度より参加して下さる方が増え、成果が確実にあがっている。	
		実績値	39(4,551戸)	36(4,001人)	41(5,216人)		
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	道路パトロール	回	計画値				囑託員の道路パトロールにより、道路における異常の早期発見に結びつき、成果が見られる。
			実績値	247	247	233	
			計画値				
			実績値				
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
住民の方々が安心して安全に道路を利用してもらえるよう、日々の道路パトロールによる異常個所の早期発見・維持管理は不可欠だ。また、地区で行っていただいている道路愛護作業は年々取り組んでくださる方々や地区も増え、協働のまちづくりを推進していくためにも、継続して行う必要がある。		事業	コスト
		維持	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	拡充	

・道路環境の美化・整備は安全対策の面からも重要。コスト拡充は年次的な計画を踏まえていただきたい。
 ・道路の維持管理はどこまですればよいかという線が引きづらい。拡充すると、どこまでも拡充しなければならぬような気がする。
 ・道路改修工事も全国的には共同で実施している箇所もある。一番多い町民要望と思うので、迅速な対応を期待する。
 ・住民要望は多いことはわかるが、計画的な維持管理を。
 ・整備方針をたてる
 ・維持管理増加は止む無し

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	124	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	景観づくり事業				
担当課(局)・係	建設管理課	建築・都市計画係	記入者	長尾広則	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	将来の景観形成を担う中学生を対象に景観に関する知識の醸成を図るために出前授業を行う。また、町民が景観に関心を持っていただくことを目的に都市景観の日に合わせて景観絵画コンクールや景観写真コンテストを実施し、展示を行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類		中分類		施策方向
	2-1 自然環境や景観を大切にす まち	-	(2) 美しい景観の整備	-	景観形成の推進
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●景観条例や景観計画に基づく良好な景観への規制・誘導を図ります。 ●町民や事業者に対して景観条例や景観計画の周知に努め、連携した取り組みを進めます。 ●町民が主体的に行う景観づくり活動を支援します。 ●城下町高鍋としての歴史的・文化的な景観の保全を図ります。 ●農地景観を保全する活動(ひまわりやコスモス植栽など)への支援を行います。
----------------	------	---

主要な成果	東西中学校に「景観教室」という授業の案内を出したところ、東中においては、町家本店において生徒会役員を対象に、西中においては、2年生93名を対象に授業を行いました。質問もたくさん出て、景観という切り口から自分たちの住んでいる町を考えるよい機会になったと思います。
-------	--

決算額	款	土木費	項	都市計画費	目	景観費	細目	景観費
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算
		報酬	-		0	原材料費	-	
	賃金	-		0	公有財産購入費	-		0
	給料	-		0	備品購入費	-		0
	職員手当等	-		0	負担金補助・交付金	-		0
	共済費	-		0	扶助費	-		0
	報償費	-		15,000	貸付金	-		0
	旅費	-		0	補償補填・賠償金	-		0
	公債費	-		0	償還金・利息・割引料	-		0
	需用費	-		16,146	投資及び出資金	-		0
	役務費	-		241,000	寄附金	-		0
	委託料	-		0	積立金	-		0
	使用料・賃借料	-		0	公課費	-		0
	工事請負費	-		0	繰出金	-		0
					合計	0		272,146

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
景観授業の実施	回数	授業に伴う資料作成	日
写真・絵画の応募数	点	景観絵画コンクール・景観写真コンテストに伴う広報活動	回数

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	景観授業の実施	回数	目標値		2	2	
実績値				2	2	2	
目標達成率				100.0%	100.0%	100.0%	
写真・絵画の応募数	点	目標値		100	100	100	
		実績値		113	81	136	
		目標達成率		113.0%	81.0%	136.0%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	授業に伴う資料作成	日	計画値	5	2	2	
実績値			5	2	2		
景観絵画コンクール・景観写真コンテストに伴う広報活動	回数	計画値	3	3	3		
		実績値	3	3	3		
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		
	行政が行うべき事業か	民間でも可能	町民との協働実現性	協働に向けて検討・協議中
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
将来の高鍋を担う中学生に景観の授業を行うことや町民の皆様が町の風景について絵に描いたり、写真に撮ったりすることで景観に関する意識が高まり、自分たちの住んでいる町について、考えるよい機会になったと思います。		事業	コスト

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・ふるさとの原風景をみつめなおすことで郷土愛の醸成が図られると思う。単なるコンテストではなくテーマがあると付加価値があがるのではないかと。
 ・成果は得られているようである。景観に対する住民需要が今のままであれば、維持が妥当
 ・所管課の方向性は？
 ・内容の検討

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	45	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	----	--------	----	------------	---

事務事業名	都市下水路事業					
担当課(局)・係	上下水道課	下水道係	記入者	芥田賢治		
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし	
事業の内容	市街地の生活環境改善のため、区域内の都市下水路の草刈り浚渫等の維持管理を行う。 【浚渫(しゅんせつ)・・・下水道にたまった土砂などを撤去すること】					

補助事業の有無	補助事業無し					
---------	--------	--	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-2 生活を支える基盤が整っているまち	(4) 下水道の整備	公共下水道の整備と水洗化率の向上
	-	-	-

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●公共下水道については、居住環境の向上と公共用水域の水質保全を目指して今後も普及促進を図り、接続率の向上に向けた取り組みを進めます。 ●効率的な生活排水処理を実現するため、公共下水道事業全体計画の見直しを行います。 ●公共下水道事業計画区域内においては、計画的な雨水排水対策に努めます。
	主要な成果	都市下水路を定期的に適切に浚渫し管理することにより、雨水排水対策が出来ている。

決算額	都市計画費			都市下水路費			都市下水路管理費		
	款	土木費	項	目	細目	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
	報酬	- 円	0 円	原材料費	- 円	0 円	公有財産購入費	- 円	0 円
	賃金	- 円	81,250 円	備品購入費	- 円	0 円	負担金補助・交付金	- 円	0 円
	給料	- 円	0 円	扶助費	- 円	0 円	貸付金	- 円	0 円
	職員手当等	- 円	0 円	補償補填・賠償金	- 円	149,739 円	償還金・利息・割引料	- 円	0 円
	共済費	- 円	0 円	投資及び出資金	- 円	0 円	寄附金	- 円	0 円
	報償費	- 円	0 円	積立金	- 円	0 円	公課費	- 円	0 円
	旅費	- 円	0 円	繰出金	- 円	0 円	繰出金	- 円	0 円
	公債費	- 円	0 円	合計	0 円	7,701,889 円			
	需用費	- 円	0 円						
	役務費	- 円	0 円						
	委託料	- 円	615,600 円						
	使用料・賃借料	- 円	99,900 円						
	工事請負費	- 円	6,755,400 円						

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
浸水家屋	戸	浚渫延長	m

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	浸水家屋	戸	目標値			0	H26年6月4日の大雨で床上浸水6戸の被害があったが、ゲリラ豪雨によるもので都市下水路の浚渫の管理に起因するものではなかった。
			実績値			6	
			目標達成率			#DIV/0!	
			目標値				
			実績値				
			目標達成率				
活動指標	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	特記事項	
	浚渫延長	m	計画値				
			実績値				
				計画値			
			実績値				
			計画値				
			実績値				

◎事務事業評価

	項目	自己評価	項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性 コストに対して成果は認められるか 事業従事人員は適切か	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性	協働は困難
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか			

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
予算の範囲内で、定期的に都市下水路を浚渫し管理することにより雨水排水対策を行っているが、すべてを管理できているわけではなくさらに広範囲に浚渫が必要である。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・防災面・景観・衛生的な面からも拡充はやむを得ないか。
 ・雨水対策のためには事業規模、コストともに拡充すべき(ただし年次の整備とし、単年度で経費が高むことのないように)。
 ・高温時期は臭いも立ちやすく、いくら浚渫しても足りることは無いと思うが、汚泥が堆積する前に計画的に対応できるよう努めてほしい。
 ・予算的には、増額要望は幾ら位か。
 ・計画的に事業実施を。
 ・年次計画で、整備していくこと
 ・維持管理増加は止む無し

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	460	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	宮崎県市町村対抗駅伝競走大会出場補助事業				
担当課(局)・係	社会教育課	社会体育係	記入者	濱本 明俊	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載なし
事業の内容	県内の市町村対抗で行われる駅伝競走大会(宮崎市)に出場する代表チームに対し、補助金を交付し支援を行う。 ○補助団体:高鍋走ろう会 ○大会結果(H25):町村の部第4位(Aチーム)15位(Bチーム)/21チーム中				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	1-2 生きがいを持って学び、やる気を活かせるまち	-	(2) スポーツ・レクリエーション活動の振興	-	スポーツ活動の推進
		-		-	

●スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進活動を積極的に展開し、誰もができる運動をより多くの方に体験してもらうように、スポーツ推進委員のスキルアップを図ります。
 ●総合型地域スポーツクラブを設立し、子どもから高齢者あるいは障がいを持つ人が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる活動の場を提供します。
 ●トップレベルの競技力を身につけるため、県の代表となった選手に対し賞賜金を支払い活動の支援を行います。
 ●地域住民同士の融和と団結を図るために、公民館対抗スポーツ大会をはじめとした各種競技大会を開催します。また、誰もが参加しやすい大会となるよう競技種目について検討を行います。

高鍋走ろう会(高鍋町体育協会加盟団体)に対し、毎年成人の日で開催される市町村対抗駅伝競走大会の補助金を交付した。毎年大会前に走ろう会が選考会を実施し、大会に出場する選手を決定し、県実行委員会との会議については走ろう会も参加していただいている。
 町の代表として、競技成績を上げるために、合同練習会などを開催し相互の競技力向上と連帯感を向上させていた。

決算額	教育費			保健体育費			保健体育総務費		
	款	項	目	細目	目	細目	目	細目	
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算
	報酬	-	0	原材料費	-	0	原材料費	-	0
	賃金	-	0	公有財産購入費	-	0	公有財産購入費	-	0
	給料	-	0	備品購入費	-	0	備品購入費	-	0
	職員手当等	-	0	負担金補助・交付金	-	40,000	負担金補助・交付金	-	40,000
	共済費	-	0	扶助費	-	0	扶助費	-	0
	報償費	-	0	貸付金	-	0	貸付金	-	0
	旅費	-	0	補償補填・賠償金	-	0	補償補填・賠償金	-	0
	公債費	-	0	償還金・利息・割引料	-	0	償還金・利息・割引料	-	0
	需用費	-	0	投資及び出資金	-	0	投資及び出資金	-	0
	役務費	-	0	寄附金	-	0	寄附金	-	0
	委託料	-	0	積立金	-	0	積立金	-	0
	使用料・賃借料	-	0	公課費	-	0	公課費	-	0
	工事請負費	-	0	繰出金	-	0	繰出金	-	0
				合計	0	40,000	合計	0	40,000

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
チーム順位	位	選考会の開催	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	チーム順位	位	目標値	5	3	3	
			実績値		4	5	
			目標達成率	0.0%	133.3%	166.7%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	選考会の開催	回	計画値	0	3	3	
			実績値	0	3	3	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		すでに協働を行っている	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
高鍋走ろう会が協会員でない小中高生の選考会まですることで、世代を超えた交流もでき、また昨年度より参加希望選手が増え、2チーム参加できるようになり、競技力の向上も今後図れるものとする。		事業	コスト
		拡充	拡充

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・平成27年度予算を増額しているため、その予算内で事業が適正に実施できるのかをきちんと検証し、その結果を待って必要に応じてコストを拡充すべき。
 ・ベンチコートのクリーニング代は最低対応すべき。できれば社会教育管理である程度のコートの確保も必要だと感じる。
 ・27年度補助金を増額している。
 ・クリーニング経費等検討
 ・27年度予算増
 ・継続的な選手育成をすすめるのであれば拡充が必要

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

460

事務事業名		宮崎県市町村対抗駅伝競走大会出場補助事業					
補助事業 1	補助事業名	宮崎県市町村対抗駅伝競走大会出場補助事業			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	高鍋走ろう会			補助金要綱	補助金の交付に関する規則	
	補助の性質	奨励的補助	今年度補助額	40	千円	終期	29
	前年度 決算	交付団体への補助額	40	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	44	千円	※新規事業 ◎町の代表として出でらうので、継続した補助はやむを得ないと考える。 (H25) ◎事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。(H25) ◎補助金額としてはそのまま。(H26)必要になった経費等はその時相談。(H26) ◎交通手段の確保○マイクロバスなどを使ったらどうか。(H26) ◎競技者の育成強化のためには継続的な支援が必要。(H26)		
		交付団体の決算総額に占める割合	90.9	%			
		交付団体の繰越額決算	0	千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる					
	町民の理解を得られるか	得られる					
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度 決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
公益性	不特定多数の利益につながるか						
	町民の理解を得られるか						

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	396	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	古文書データ化事業				
担当課(局)・係	社会教育課	図書館	記入者	小澤 宏之	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	すべての古文書修復には、かなりの年月を必要とする事から、劣化、破損等で解読不能になる前に、残りの冊数(約8,600冊)のデータ化を(電子化)行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	1-2 生きがいを持って学び、やる気を活かせるまち	-	(1) 生涯学習の推進	-	生涯学習体制の充実
		-		-	

基本方針
 ●多様化する町民の学習ニーズに対応した生涯学習を総合的に推進するため、関係機関・団体等との一層の連携・協力のもとに、生涯学習推進会議を中心とした推進体制の確立を目指します。
 ●ボランティア募集等の実施により、人材バンクの充実を図ります。
 ●学習成果を発表する機会を提供します。
 ●町民が利用しやすい図書館運営を図ります。
 ●図書館ボランティアの育成に努めます。
 ●図書館において町民の多様化する学習ニーズに応えるため、的確で広範囲にわたる資料の収集・整理・保存と発信に努めます。
 ●古文書等の貴重資料の計画的な修復・保存に努めます。

主要な成果
 貴重資料をデータ化することで、原本を扱わず資料を確認することができ、将来的に解読・保存可能とすることができた。また、ホームページで紹介することにより、町内外に発信することができた。

款	教育費		項	社会教育費		目	図書館費		細目	図書館費	
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分		平成25年度決算	平成26年度決算			
決算額	報酬	-	円	0	円	原材料費	-	円	0	円	
	賃金	-	円	1,869,980	円	公有財産購入費	-	円	0	円	
	給料	-	円	0	円	備品購入費	-	円	0	円	
	職員手当等	-	円	0	円	負担金補助・交付金	-	円	0	円	
	共済費	-	円	0	円	扶助費	-	円	0	円	
	報償費	-	円	0	円	貸付金	-	円	0	円	
	旅費	-	円	0	円	補償補填・賠償金	-	円	0	円	
	公債費	-	円	0	円	償還金・利息・割引料	-	円	0	円	
	需用費	-	円	7,020	円	投資及び出資金	-	円	0	円	
	役務費	-	円	0	円	寄附金	-	円	0	円	
	委託料	-	円	1,362,290	円	積立金	-	円	0	円	
	使用料・賃借料	-	円	0	円	公課費	-	円	0	円	
	工事請負費	-	円	0	円	繰出金	-	円	0	円	
						合計	0	円	3,239,290	円	

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
古文書・古記録の保存	冊	古文書・古記録の電子化	コマ

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	古文書・古記録の保存	冊	目標値	1,700	1,700	1,700	
			実績値	1,218	1,245	1,346	
			目標達成率	71.6%	73.2%	79.2%	
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	古文書・古記録の電子化	コマ	計画値	140,000	1,400,000	150,000	
			実績値	140,895	141,221	150,530	
			計画値				
実績値							
		計画値					
		実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価		項目		自己評価	
必要性	基本方針に合致しているか	合致している		効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり	
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない			事業従事人員は適切か	適切である	
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性		協働は困難	
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性		整合している	
	すでに目標を達成していないか						
主管課(局)による評価							
この事務事業に対する考え						今後の方針	
古文書修復だけでは追いつかないため、後世に残していく手段として、デジタル化と並行して進めているが、今後とも継続していく必要がある。						事業	コスト
						維持	維持
内部評価	判定結果		コメント	・緊急性のある事業ではない。現状を維持し、年次的に推進してほしい。 ・継続して行うこと。 ・データ化は必要			
	事務事業評価適合性						
	適合						
	事業	コスト					
	維持	維持					

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	407	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	秋月墓地及び墓地周辺維持管理事業				
担当課(局)・係	社会教育課	文化係	記入者	松行 弘晃	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	文化財指定地の墓域及び石段・参道の清掃。その周辺の竹木の伐採・除草・清掃等の環境整備。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	1-1 歴史と伝統・文化を活かしたまち	(1) 歴史と伝統・文化の保護と活用	文化財の保存

●文化財を保護・継承するとともに文化財情報等の提供に努めます。
 ●歴史及び民俗資料などの収集・保存・活用を図ります。
 ●文化財や郷土に関する学習機会の充実を図ります。
 ●歴史総合資料館の施設改善やソフト面の充実を図り、魅力ある資料館づくりに努めます。
 ●埋蔵文化財を含めた各種文化財の調査研究に努めます。

彼岸時期等の必要適時とする期日、竹木等の環境状況の悪化時に職員による清掃作業を実施した。
 また姉妹都市等からの来町者や秋月氏縁故者の墓参り等事前に把握した場合には、職員及び囑託員により事前の清掃作業を実施した。
 その他、民間団体が奉仕活動として清掃活動を実施した。
 成果として、指定文化財の保護及び景観について必要最低限度の状態で維持している。

款	教育費		社会教育費		目	文化財保護費		細目	一般文化財保護費	
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算			予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	
決算額	報酬	— 円	0 円		原材料費	— 円	0 円		— 円	0 円
	賃金	— 円	0 円		公有財産購入費	— 円	0 円		— 円	0 円
	給料	— 円	0 円		備品購入費	— 円	0 円		— 円	0 円
	職員手当等	— 円	0 円		負担金補助・交付金	— 円	0 円		— 円	0 円
	共済費	— 円	0 円		扶助費	— 円	0 円		— 円	0 円
	報償費	— 円	0 円		貸付金	— 円	0 円		— 円	0 円
	旅費	— 円	0 円		補償補填・賠償金	— 円	0 円		— 円	0 円
	公債費	— 円	0 円		償還金・利息・割引料	— 円	0 円		— 円	0 円
	需用費	— 円	37,440 円		投資及び出資金	— 円	0 円		— 円	0 円
	役務費	— 円	0 円		寄附金	— 円	0 円		— 円	0 円
	委託料	— 円	0 円		積立金	— 円	0 円		— 円	0 円
	使用料・賃借料	— 円	0 円		公課費	— 円	0 円		— 円	0 円
	工事請負費	— 円	0 円		繰出金	— 円	0 円		— 円	0 円
					合計		0 円			37,440 円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
維持・管理	%	清掃作業	日

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項	
	維持・管理	%	目標値	100	100	100	町指定史跡「秋月墓地」及びその周辺の環境を整備し、良好な状態を維持する。	
			実績値	90	90	90		
			目標達成率	90.0%	90.0%	90.0%		
			目標値					
			実績値					
			目標達成率					
活動指標	清掃作業	日	目標値				秋月墓地の墓域・石段・参道及び付近の草刈・清掃。	
			計画値	24	24	24		
			実績値	27	32	30		
				計画値				
				実績値				
				計画値				
			実績値					

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目		自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト相当の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	相互補完の関係にある		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき	町民との協働実現性		協働は可能
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
指定文化財の管理者が高鍋町であり、今後も町が中心となり維持管理を行っていく必要がある。維持管理について必要最低限度の状態での維持を行っているが、今後も同コストで指定文化財の維持管理と保護・活用を図るために、町としての維持管理を行うほか、民間団体や個人に対して文化財保護への理解を求め、協力・協働を進めることで、事業の質・量の向上を図ることが必要である。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント	
	事務事業評価適合性			・町指定の文化財ではあるが、特に活用を考えていないという担当課の判断もあることから、維持 ・表示看板等の整備が必要 ・案内板等を更新してもらいたい。 ・全体的な、整備方針が必要
	適合			
	事業	コスト		
維持	維持			

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	415	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	-
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	芸能文化活動支援事業				
担当課(局)・係	社会教育課	文化係	記入者	松行 弘晃	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	本町の芸能文化の継承・向上を図るため、高鍋町文化協会への補助、総合文化祭の開催支援等を行う。				

補助事業の有無	補助事業有り	※別紙附表を作成してください			
---------	--------	----------------	--	--	--

基本目標	大分類	-	中分類	-	施策方向
	1-1 歴史と伝統・文化を活かしたまち	-	(2) 芸術文化の振興	-	芸術文化活動の充実
		-		-	

第五次高鍋町総合計画(後期)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術文化などの鑑賞や創作する機会を提供します。 ● 芸術文化団体が発表する機会の提供や活動情報の周知に努めます。 ● 利用者のニーズに即した美術館の整備充実と、その有効活用を図ります。 ● 町民の主体的な文化活動を支援します。 ● NPO法人やボランティアと協働し、魅力ある美術館づくりに努めます。 ● 美術愛好家のニーズを的確に捉え、集客力のある企画展・特別展を開催します。
----------------	------	---

主要な成果	<p>11月1日から3日まで開催した高鍋町総合文化祭において、展示祭と芸能公演を開催して、多くの町民に深い感銘と意識の高揚を図る事が出来た。また、11月7日には、姉妹都市の朝倉市(旧甘木市)で実施された美術展において特別出品を行い、芸術文化活動を深めることが出来た。</p> <p>町民の主体的な文化活動を支援することで、芸術文化に対する町民の意識高揚を図ることができた。</p>
-------	--

決算額	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	細目	一般文化財保護費		
	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算		平成26年度決算		
	報酬	-	円	0		原材料費	-	円	0	円
	賃金	-	円	0		公有財産購入費	-	円	0	円
	給料	-	円	0		備品購入費	-	円	0	円
	職員手当等	-	円	0		負担金補助・交付金	-	円	174,000	円
	共済費	-	円	0		扶助費	-	円	0	円
	報償費	-	円	0		貸付金	-	円	0	円
	旅費	-	円	8,000		補償補填・賠償金	-	円	0	円
	公債費	-	円	0		償還金利子・割引料	-	円	0	円
	需用費	-	円	2,800		投資及び出資金	-	円	0	円
	役務費	-	円	149,904		寄附金	-	円	0	円
	委託料	-	円	0		積立金	-	円	0	円
	使用料・賃借料	-	円	0		公課費	-	円	0	円
	工事請負費	-	円	0		繰出金	-	円	0	円
						合計	0	円	334,704	円

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
高鍋町文化協会活動支援		補助金の交付	回
		高鍋町総合文化祭運営補助	回
		朝倉市特別出品の作品運搬	回

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	高鍋町文化協会活動支援		目標値				
			実績値				
			目標達成率				
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
		目標値					
		実績値					
		目標達成率					
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	補助金の交付	回	計画値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
	高鍋町総合文化祭運営補助	回	計画値			3	
			実績値			3	
	朝倉市特別出品の作品運搬	回	計画値			1	
			実績値			1	

◎事務事業評価

項目		自己評価	項目		自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性	協働は可能
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる	総合計画の政策・施策との整合性		整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
文化協会は、高鍋町民の文化芸術活動を行う団体・個人により構成されている。歴史と文教のまちなかで文化芸術を統括する位置にあり、町として文化活動の基盤形成の支援を行う必要がある。町からの活動支援により、文化協会は結成43年目の伝統に培われ活動を継続している。更に朝倉市との姉妹都市交流においては、永年その主体であり続けている。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
維持	維持		

・現状で一定の効果を得られている。事業を拡充する予定がなければ、維持が適当
 ・地元文化の継承ができるよう支援は必要。
 ・継続して行うこと。

附表

高鍋町事務事業評価表附表

補助事業を含む事務事業の補助事業リスト

事務事業番号

415

事務事業名		芸能文化活動支援事業					
補助事業 1	補助事業名	高鍋町文化協会運営費補助金			補助区分	町単独による補助事業	
	補助対象	高鍋町文化協会			補助金要綱	社会教育関係補助金交付規程	
	補助の性質	運営費補助	今年度補助額	174,000	千円	終期	28
	前年度決算	交付団体への補助額	174	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額	648	千円	基金への積立額が多額であるが、理由書が寄せられ、そのままとなった。(H22)		
		交付団体の決算総額に占める割合	26.9	%	◎補助金については交付団体の決算分析を行い検討が必要。(H25) ◎運営費、総合文化祭、朝倉市との交流事業など予算の検討が必要。(H25) ◎目的があると思うが基金を保有されている、助成金がなくても運営は可能と考える。姉妹都市交流等の工夫が必要。(H25)		
		交付団体の繰越額決算	59	千円	◎事業としては継続が望ましい。パンフ販売分の自主財源を補助金で見るとは難しいので、コストも維持が望ましい。(H25) ◎会としての、運営費の捻出も必要と考える。(H25) ◎成果指標の見直し。姉妹都市文化交流補助事業と重複する部分もあるので、統合するなど検討も必要ではないか。(H25)		
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか	つながる				
		町民の理解を得られるか	得られる				
補助事業 2	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 3	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					
補助事業 4	補助事業名				補助区分		
	補助対象				補助金要綱		
	補助の性質		今年度補助額		千円	終期	
	前年度決算	交付団体への補助額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等		
		交付団体の決算総額		千円			
		交付団体の決算総額に占める割合		%			
		交付団体の繰越額決算		千円			
	事務事業評価		自己評価				
	公益性	不特定多数の利益につながるか					
		町民の理解を得られるか					

評価表

高鍋町総合計画施策別実施計画及び事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業番号	416	記入対象年度	26	事務事業評価実施対象	—
--------	-----	--------	----	------------	---

事務事業名	高鍋湿原管理運営事業				
担当課(局)・係	社会教育課	文化係	記入者	松行 弘晃	
事業期間	H26 年度 ~ H28 年度	事務事業評価	評価対象	主要な成果報告	掲載あり
事業の内容	貴重な動植物が生息する高鍋湿原の自然環境を保全し、その活用を図るための管理運営を行う。				

補助事業の有無	補助事業無し				
---------	--------	--	--	--	--

基本目標	大分類	中分類	施策方向
	2-1 自然環境や景観を大切にす ま	(4) 環境保護の推進	自然保護活動の充実
	4-3 観光交流のまち	(1) 観光交流の振興	観光資源の整備

- 第五次高鍋町総合計画(後期)
- 基本方針
- 学校や地域の活動における自然環境教育・学習の充実に努めます。
 - 国や県と一体となって、貴重な動植物の生息・生育地を保護し、自然とふれあうことができる場の整備を進めます。
 - 県指定天然記念物であるアカウミガメをはじめ、県のレッドデータブックに記載されているような、希少な動植物の保護・調査に努めます。
 - 高鍋湿原やアカウミガメの保護活動に携わる人材育成を推進します。
 - 海岸漂着物を関係機関と連携して処理し、海岸における自然環境を保全します。
 - 「高鍋町観光振興基本計画」を策定し、官民協働による魅力ある観光地づくりを推進します。
 - 観光関係施設の適正な維持管理及び保全・整備を図ります。
 - 観光客が容易に町内を移動できるよう、わかりやすい案内標識等の設置に努めます。
 - 高鍋大師花守山整備事業を推進します。
 - 高鍋海水浴場・キャンプ村への誘客を図ります。
 - 高鍋湿原や四季彩のむらと連携し、美食温泉めいりんの湯への集客を図ります。
 - 持田古墳群・高鍋大師への交通環境の充実を図るとともに、長期的展望にたった持田古墳群の整備に努めます。
 - 本町の玄関口として高鍋駅舎の活用方法を検討します。
 - 町内の観光資源を巡る散策マップ等の作成に努めます。

主要な成果

高鍋湿原ボランティアの協力により、保護活動及び観察ガイドが実施された。年間を通しての維持・管理を行い湿原の形態と動植物が良好に保存できた。また、湿原の一般公開により町内外から多くの来訪者があり、自然保護の大切さを啓発することができた。

決算額	教育費		社会教育費		生涯学習推進費		高鍋湿原費	
	款	項	目	細目	目	細目	目	細目
	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算	予算区分	平成25年度決算	平成26年度決算		
	報酬	— 円	0 円	原材料費	— 円	0 円		
	賃金	— 円	0 円	公有財産購入費	— 円	0 円		
	給料	— 円	0 円	備品購入費	— 円	102,384 円		
	職員手当等	— 円	0 円	負担金補助・交付金	— 円	0 円		
	共済費	— 円	0 円	扶助費	— 円	0 円		
	報償費	— 円	343,640 円	貸付金	— 円	0 円		
	旅費	— 円	132,500 円	補償補填・賠償金	— 円	0 円		
	公債費	— 円	0 円	償還金・利息・割引料	— 円	0 円		
	需用費	— 円	608,822 円	投資及び出資金	— 円	0 円		
	役務費	— 円	21,790 円	寄附金	— 円	0 円		
	委託料	— 円	250,560 円	積立金	— 円	0 円		
	使用料・賃借料	— 円	6,376 円	公課費	— 円	0 円		
	工事請負費	— 円	0 円	繰出金	— 円	0 円		
				合計	0 円	1,466,072 円		

◎指標の設定

この事務事業の成果を数値化したもの……成果指標	単位	この事務事業の業務量を数値化したもの……活動指標	単位
湿原の環境維持	状態率	湿原除草・清掃作業	日
湿原の一般公開	日	観察ガイド活動	回
来場記入者数	人		

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	湿原の環境維持	状態率	目標値		100	100	100
実績値				95	95	95	
目標達成率				95.0%	95.0%	95.0%	
湿原の一般公開	日	目標値		220	220	220	湿原を一般公開し、希少な植物や昆虫類等についての観察の機会を提供する
		実績値		212	219	215	
		目標達成率		96.4%	99.5%	97.7%	
来場記入者数	人	目標値		4,200	4,200	4,200	来場アンケートへの記入者数(来場者数のうち記入者数は、約3割程と推測) 26年度は土日の台風や雨が多かったため、前年度より入場者が減少。
		実績値		5,258	6,098	5,465	
		目標達成率		125.2%	145.2%	130.1%	
活動指標	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	特記事項
	湿原除草・清掃作業	日	計画値		230	230	190
実績値				230	192	196	
観察ガイド活動	回	計画値		30	30	30	
		実績値		17	24	25	
				計画値			
				実績値			

◎事務事業評価

	項目	自己評価		項目	自己評価
必要性	基本方針に合致しているか	合致している	効率性	コストに対して成果は認められるか	コスト以上の成果あり
	他課・他団体の事業と重複しないか	重複しない		事業従事人員は適切か	適切である
	行政が行うべき事業か	行うべき		町民との協働実現性	すでに協働を行っている
有効性	目標に沿った成果が認められるか	認められる		総合計画の政策・施策との整合性	整合している
	すでに目標を達成していないか				

主管課(局)による評価

この事務事業に対する考え		今後の方針	
県の重要生息地に指定されるほどの貴重な動植物が多くみられる湿原であり、町が保護活動の主体となるべきである。また、後世に残していくために、通年にわたる維持管理が必要である。町内外から多くの来訪者があり、自然に触れ合う場としても重要な事業である。		事業	コスト
		維持	維持

内部評価	判定結果		コメント
	事務事業評価適合性		
	適合		
	事業	コスト	
	維持	維持	

・現状でも適正な維持管理ができていことから評価は維持としているが、高鍋湿原は本町の自然環境を象徴する場所であり観光スポットのひとつでもある。積極的な事業展開ができるのであれば拡充でもよいのではないかと考えられる。
 ・湿原の維持をしていくにはボランティアの協力が必要なので、ボランティアの育成にも全力で取り組んで貰いたい。
 ・継続して行うこと。